

第八十一回帝國議院

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案(政府提出)(第四三號)
義務教育費國庫負擔法中改正法律案(政府提出)(第四四號)

昭和十八年二月三日(水曜日)午前十時十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松岡 俊三君

理事高城 憲夫君 理事遠山 暉男君

理事仲井間宗一君 理事松浦周太郎君

伊吹元五郎君

大村 直君

加藤 宗平君

紅露 昭君

竹内 俊吉君

野田 正昇君

一松 定吉君

星 一君

米田 吉盛君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 橋田 邦彦君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院部長 龜山 孝一君

情報局長 奧村喜和男君

文部次官 菊池豊三郎君

文部省總務局長 藤野 惠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案(政府提出)

義務教育費國庫負擔法中改正法律案(政府提出)

○松岡委員長 只今カラ開會致シマス、質問ノ通告順ニ依ツテ順次發言ヲ許シマス

伊吹君

○伊吹委員 決戰段階下ニ於ケル文教政策ノ根本方針ニ付テ、教職員ノ優遇法ハ大イニ下情ヲ御酌取下サツテ其ノ端緒ヲ御開キ下サツタ本案ニ對シテ、私ハ其ノ優遇ト共ニ是等教職員ニ對スル希望ヲ要求セラルル點ヲ承リタイノデアリマス、戰局重大ナル現下ニ於ケル精神的戰力ヲ發揮増強スベキ重大時節ガ訪レテ居ルコトハ皇國臣民ノ四六時中志レルコトノ出來ヌ、又油斷ヲ許サヌコトデアリマス、戰局ガ愈々展開スルト共ニ、思想戰ガ近代戰ニ於テ重大ナル役割ヲナシ、隨テ思想戰ノ重大性ガ益々加重スルノデアリマス、教育者ノ責務モ更ニ倍加スルノデアリマシテ、此ノ戰争ノ長期化ト物資ノ缺乏其ノ他ハ、戰争ニ關聯シテ是ハ當然來ルベキモノデアアル、過去ノ萬國勞動會議及ビ軍縮會議當初ニ於ケル敵性國家ノ惡辣ナル對日思想謀略ニ鑑ミマシテモ、國民思想ノ弱點ハ惡思想ノ温床トナリ、思想謀略ニ乘ゼラレル危險ヲ醸スノデアリマスガ、此ノ思想戰ニ對シマシテ、文教政策上是ガ對策ヲ講ゼラレテ萬遺憾ナカルベキモ、我が國今日ノ世相ヲ見マスト、率直ニ申シマスレバ、尙ホ憂慮スベキモノガアルコトヲ思ハセルノデアリマス、又教育ノ偉大ナル力ニ想ヒテ致シタ時分ニ、私ハ次ノヤウナコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス、先ヅ亦ノ最近ノ動向ニ付テ、一、帝國主義戰團絕對反對ヲロニシテ居ツタ左翼ノ徒ガ、鳴リテ潛メテ之ヲロニセザルノミナラズ、却テ時利レリトナシ、戰争繼續擴大ヲ喜ビ、彼等ノ

理想ヲ實現セントスル傾向ハナイデセウカ、又之ニ對スル教育對策如何ニ、赤化運動ハ昭和八年頃一寸崩壞シマシタガ、其ノ後年年増加ノ傾向ハナイデセウカ、帝大ニテハモウ左翼學生ガ相當數檢學セラレタルモアルヤニ聞キマスガ、是等ハ所謂細鱗ニ過ギズ、外ニ地中深く潜伏セル中核分子ガ、上層ニ動キアル合法的分子ヲ巧妙ニ操リ居ルノデハナカラウカ、此ノ方面ニ於ケル文教政策上ノ對策如何

次ニ歐米文化ニ禍ヒサレテ來タ所ノ生活觀念ノ更正ト云フ教育ノ觀點カラ、統制配給上——戰争ニ勝ツ爲ニ如何ナル苦難ヲモ克服スル勇猛心ガ必要デアアルコトハ言フ俟タナイノデアリマスガ、其ノ配給ノ實施狀況ガ矛盾シ、或ハ不圓滑ノモノガアツテ、其ノ實績ガ擧ラナイトスレバ、自然怨嗟ノ聲ガ出テ來ハヘヌカ、又配給制度ハ國民精神ノ上カラ言ウテ、平等及ビ權利觀念ヲ助長スルヤウナ傾向ハナイカ、例ヘバ今マデ必要デナイ物品モ一律ニ配給ニナルガ故ニ、消費節約トナラズ、却テ獎勵トナルヤウナコトハナイカ、一家ノ長ハ老人ナルガ故ニ配給ガ少イ、子供ハ勞働ニ從事スルカラ多クヲ取ルノハ當然ダト心得、又砂糖ヤ菓子ハ子供ガ自ラ權利呼バハリヲシテ、親ヲビツクリサセルト云フヤウナコトモ聞イテ居ル、女中ハ衣料切符ノ權利ヲ喜ビ、菓子、食物ニ付テモ配給率ダケハ當然實ヲ權利ガアルト云フヤウナコトヲ同輩間ニ私語シテ、我が國ノ長幼ノ別ヲ撤廢シテ、沒道義の平等ヲ喜

ブ傾向ガ濃厚トナツテ居ル、斯クシテ我が國古來ノ美風デアアル家庭制度ガ漸次破壞サレテ行キツツアルノデハナイカ、戰争ガ長期ニ互ツテ愈々人的、物的ニ不足缺乏ガ深刻化スルト共ニ、永年ノ自由主義、個人主義ニ耽リタル人々ハ、戰争終了ノ速カナラシコトヲ希ヒ、或ハ反戰、厭戰ノ氣分ヲ助長スルモノナキヤ、特ニ財閥及ビ文化人方面ニ於テ然ラザルカドウカ時局切迫ト共ニ流言蜚語ヲ生ズルモノデアアルガ、此ノ際指導者、教育者ノヤリ方ニ付テ批判的言論ガ多過ギルコトハ、徒ラニ世人ヲシテ迷ハシテ、又敵ヲシテ秘密攻撃點ヲ知ラシムル不利アルガ故ニ、國民ハ飽クマデ政府當局ヲ信賴シ、國策ニ副ウテ邁進スベキモノデアアルガ、思想ノ動搖ハ兎角生活問題、殊ニ食糧問題ヨリ起ルコト多キハ願慮シテ置クノ要ガアルノデアリマス、ソコデ國民ハ消費節約、綜合配給ノ必要ナルコトハ能ク認識シテ居リ、又生産當局ノ並々ナラヌ努力ニ對シテハ感謝シテ居ルノデアリマスガ、食糧問題トナルト兎角自己本位トナリ、他ヲ顧ミテハ羨望嫉妬シ、殊ニソレガ役人アタリガ自分達ハ食物ニ不自由セヌナドト言フヤウナ噂ヲ聞イテハ、反感ヲ生ズルノミナラズ、物資及ビ食物ニ關スル流言ハ學生アタリマデモ相當範圍ニ擴ガツテ、思想謀略ニ乘ゼラレル危險ナルヲ憂フルノデアリマスガ、其ノ實況ハ如何デアリマセウカ、是ガ爲ニ困苦缺乏ニ耐ヘル傳統的精神鍊成ノ對策ハ、ドウ云フ風ニ戰時下ノ文教政策トシテ織込ンデアリマセ

第七

昭和三十八年二月三日

第三回

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案外一件委員會會議錄

第六類第七號

七

ウカ、之ヲ御伺ヒシタイ

次ハ米英崇拜及ビ米英經濟依存思想ト云フコトニ付テ、第一ニ歐洲大戰ニ於テハ「ドイツ」ガ英國ノ思想謀略ニ乘ゼラレタノハ、米英崇拜及ビ米英經濟依存ノ潜在意識ノ存ニニ基因シタト云フ、或ハ「ロシア」帝國ノ崩壞ガ、教育者ガ其ノ口火ノ點火役デアツタコト等ニ鑑ミマシテ、我が國ニ於テモ文化人ノ知識階級或ハ財閥、實業界ノ人等ニ於テ、米英崇拜、米英經濟依存思想ヲ抱クモノガナイデセウカ、又曠古ノ大戰ニ當リテ日清、日露戰爭當時ノ程ニアノ擊テヤ懲セヤ「ロシア」兵ト云フヤウナ、此ノ種ノ軍歌ガ子供ノ口ニサヘモ上ラヌ、此ノ國民ノ敵愾心ハマダ赤熱ノ度ニ至ラズ、却テ俘虜ニ對シテ吾々婦人モ本當ニコンナコトヲヤツテ何カセスケレバナラヌ際ニ、俘虜ハ可哀サウデス、アレヲ慰問シテヤラウデハアリマセヌカト云フ企テガ、上流婦人間ニハアツタトサヘ聞クノデアリマス、ドウモ斯様ナコトガ果シテアリトスレバ啞然タラザルヲ得ナイ、尤モ是等ハ僅少ナモノデアリマセウガ、家庭教育ト學校教育ノ關係ノ觀點ヨリ、大イニ是ハ考慮ヲ要スベキモノト思ヒマスガ、此ノ種ノ對策ハドンナ風ニナツテ居リマセウカ

次ニ勤勞奉仕等ニ付テモ動トモスレバ依然外來ノ米英デナクテモ、「ヒツトラ」・「ユーン」稱揚ガ盛ンデアリマスガ、列聖ノ諭サセ給フ所ノ例ヲ申上ガマスナラバ、繼體天皇ノ學國勤勞ヲ勸ムル詔、或ハ元正天皇ノ麥禾ヲ植エルノ詔、或ハ今上陛下ガ御自ラ萬民ノ前ニ御教示ヲ賜フ吹上御殿内ノ水田、或ハ 皇后陛下ノ宮中ニ於テ蠶シ給フ有難キ御教ヘハ十分徹底セシメテ、我が國

ノ矜持トスル勤勞精神、即チマツラウ精神コソ、祖先以來生活ノ信條トシテ誇リ來ツタモノデアルカラ、此ノ精神ヲ振作涵養スルコトコソ、物心兩方面ノ戦力増強上緊要無二ノ要件デアルト私ハ信ズルノデアリマス、斯ウ云フ觀點カラ傳統的國民道德ヨリ生マレ來ル思想國防ノ涵養振作ト云フコトニ付テ、對策ハドウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスカ

又次ニ在外邦人ノ教育ニ從事シテ居ル者ニ付テハ、將來内地ノ者同様ニ優遇ヲセラレルヤウナ計畫ガアルノデゴザイマセウカ、モウ一ツハ在外邦人ノ子弟デモウ中等學校ノ教育ヲ受ケル者ハ、ヤハリ母國ニ於テト云フ傳統的ノ精神ニ燃エル結果内地ニヤリマシテ、例ヘバ長崎方面ノ如キハ揚子江流域ノアノ各都市ニ居ル者デ、原籍ハ北ハ北海道方面カラ南ハ九州ノ果マデノ各縣ノ者ノ子弟ガ參ツテ、商業學校或ハ中學校ニ入ツテ居リマス、ソレガ爲ニ寄宿寮等ガ設ケテアリマスガ、是等ノ者ニ對シテハ自然保護デモナサルト云フ御意圖ガアリマスデセウカドウデセウカ、以上ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 戰時下學校教職員ノ覺悟ヲ大イニ促シマシテ、戰時下ニ相應シイ教育ノ實ヲ舉ゲシムルヤウニ致スベキコトハ當然ノコトデアリマスガ、併シ教育ト云フモノハ戰時デアルト戰時タラザルトヲ問ハズ、少クとも我が國ニ於キマシテノ根本ノ方針ト云フモノハ既ニ定マツテ居ルノデアリマス、其ノ根本ノ方針、根本義ハ申スマデモナク教育ニ關スル勅語ノ奉體ノ一點ニ歸スルノデアリマス、之ニ依リマシテ、國體ノ本義ニ透徹シ、我が國ノ使命ヲ能ク自覺

セシムルヤウニ教育ヲ施シテ行クコトガ國ノ教育ノ根本義デアリマス、併シ此ノ戰時下、殊ニ大東亞戰爭ノ完遂、大東亞建設ノ完成ト云フコトニ舉國一致邁進シテ居リマス此ノ戰時下ノ姿ヲ能ク認識スルコトガ、應テ我が國ノ教育ノ方針デアアルモノヲ徹底セシムル最好ノ機會デアアルコトハ言フマデモナイコトデアリマシテ、從來動モスレバ其ノ根本ノ方針ハ定マツテ居リナガラ十分ニ徹シナカツタ憾ノアル事柄ガ、此ノ事變下ニ於キマシテ十分ニ徹底セシムル機會ガ到達シタト云フコトニナリマシタコトハ、教育ノ面ニ於キマシテハ非常ニ一面喜ブベキ事柄デモアルト考ヘルノデアリマス、要スルニ問題ハ學校ノ教職員ガ眞ニ我が國ノ戰時下ノ狀況ヲ能ク國體ノ本義ニ則リナガラ之ヲ見透シテ、眞ニ國民トシテアラネバナラナイ姿ヲ自ラ體得スルコトヲ根本ニ必要ト存ズルノデアリマス、是ハ要スルニ絶エズ申述ベテ居リマスル、又言ハレテ居リマスル師道ノ昂揚ト云フ一語ニ盡クル問題デアリマシテ、具體的ニハ種々ノモノガアリマセウガ、根本ノ方針ハココヘ決ルノデアリマス、之ニ依リマシテ教育ノ實サヘ舉ガレバ、眞ニ國體ノ本義ニ徹シ、皇國ノ使命ヲ自覺スルコトサヘ出來レバ、思想戰ニ對シテノ防戦ガ十分ニ出來得ルト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ最近赤ノ運動ノ動向ニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、國民一般ノ問題ニ付テハ此處デ申述ベルコトハ出來マセヌガ、學生ノ動向ニ付キマシテハ最近數年ノ經過ヲ見マスルト、一時何カ又増加シテ來ルヤウナ傾向ガアツタカニ見エマシタケレドモ、昨年、言換ヘレバ殊ニ大東亞戰爭勃發以來頓ニ其ノ傾向ガ少クナリマシテ、

本年度アタリ幾分ノ檢舉ヲ見タモノモアルヤウデアリマスケレドモ、是ハ極メテ少數ニ相成ツテ居ルコトハ、洵ニ喜ブベキコトト思ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ一面ニ於キマシテ「コミンテルン」ノ指導ニ基イタ或ル合法的ナ動キガ、全然社會一般ニナイノデモアリマセヌノデ、學校教育ナドニ於キマシテモ、此ノ點ハ殊ニ細心ノ注意ヲ拂ヒマシテ、思想動向其ノ他ニ付テハ十分注意シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又戰時下ニ於キマシテ色々社會情勢ガ變化致シマスニ付キマシテハ、從來カラノ考ヘヨマダ能ク轉ズルコトガ出來ナイ者ガ、或ハ不平ヲ言ヒ、或ハ事柄ノ認識ヲ誤ルコトガアリマシテ、動モスレバソレニ依ツテ又惡思想ガ醸サレ得ル可能性ハ、十分考ヘテ行カナケレバナラヌ點ガアリマシテ、政府ト致シマシテモ宜シク其ノ點ハ考究シナガラヤツテ居ル積リデアリマスケレドモ、マダ或ハ部分々々ヲ見マス、十分デナイ點ガアルカトモ思ハレルノデアリマス、此ノ點ハ殊ニ御話ニアリマシタヤウナ家庭教育ト學校教育ト云フコトヲ特ニ密接ナル關係ニ於テ取扱フベキモノデアルト云フ御話、全く同感デゴザイマシテ、文部省ト致シマシテモ家庭教育ノ振興ト云フコトニ付テハ今重要ナルモノト認メマシテ、力ヲ注イデ居ルノデアリマス、殊ニ學制改革ヲ行ヒマシテ學校教育ヲ愈々充實シヨウト云フ際ニ於キマシテハ、從來教育ト云フモノハ學校ニ於テノミヤレバ宜シイト云フヤウナ觀念ガ一部ニアリマシタノヲ能ク徹底セシメマシテ、教育ト云フコトハ學校ニ於テ勿論其ノ根幹ヲ成スモノデアリマスケレドモ、家庭ニ於テモ、社會ニ於テモ教育ト云フモノガ完成

スルノデアルト云フ所以ヲ、能ク國民一般ニ渗透セシメマシテ教育ノ完キヲ期シタイト存ジテ居ルノデアリマス、又現下ノ時局ニ於テ國民ノ敵愾心ガ一般ニ不足シテ居ルト云フヤウニ見エル點ガアルノデハナカラウカト云フ御話デゴザイマシタガ、見方ニ依ツテハサウ云フヤウニ考ヘラレル事態モアラウカト思ハレルノデアリマス、併シ是ハ從來ノ我國ノ行ヒマシタ戰爭ト、今次ノ戰爭トニ於ケル性質ノ相違ナドカラ來ル面モアラウカト思フノデアリマス、併シ既ニ

畏クモ大詔ヲ拜シテ居リマスル今日、大詔ヲ奉體スルコトニ於テ如何ナル意義ヲ今次ノ大戰爭ガ持ツカト云フコトハ、誰シモ認識シテ居ル所デアリマセウシ、又其ノ事態ヲハツキリ認識スルコトニ於キマシテハ、敵愾心ガ唯所謂外形ニ溢レナクモ眞實ニ働キノ上ニ溢レルヤウナコトニ相成ルカト考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナ事柄ニ付キマシテモ、殊ニ國家ノ將來ヲ擔フ青少年學徒ヲ教育スル教育者自身ガ、眞ノ教育者トシテノ立場ヲ獲得スルコトガ是非トモ必要ナノデアリマシテ、若シ教育者ニシテ眞ニ教育者ヲヤツテ居ルト云フヤウナコトニ相成リマシテハ、凡ユルモノノ根本ガ確立シナイコトニ相成ルト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ從來トモ考慮ハシテ居

リマスガ、今後トモ十分ニ考慮致シマシテ、學校教育ト云フモノノ立場、或ハモツト廣ク申シマスタラバ、先ニ申上ガマシタ師道ノ昂揚ト云フコトニ向ツテ力ヲ致シタイト思ツテ居ルノデアリマス、又其ノヤウナ意味カラ申シマシテ國民一般ニ於ケル思想ノ動向ガ、青少年學徒ニ向ツテ影響スル所ガ

非常ニ大ナルモノガアルノデアリマシテ、其ノ點ハ十分ニ注意シナケレバナラヌコトト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ最近ニ於キマシテ、殊ニ大東亞戰爭勃發以來學生ノ士氣ガ昂揚シ、又思想ハ堅實トナツテ參リマシタ、又風教ガ刷新サレテ參リマシタコトハ著シク眼ニ着クノデアリマシテ、中ニハ少數ノ不心得ノ者ガアルコトハ否ミ難イ事實デアリマスケレドモ、併シ殆ド大部分ノモノ、全部ト云ツテモ宜イ程ノ大多數ノモノガ、洵ニ戰時下ニ相應シキ學生トシテノ自覺ヲ感受シツツアル事柄ハ、洵ニ喜バシイ事柄デアリマス、是ハ一面ニ於キマシテハ學校ニ於テハ訓練體制ガ漸次整備サレタ所以モアリマセウシ、又一面ニ於キマシテハ勤勞奉仕ト云フ事柄ガ如何ニ國家的ナ意義ヲ持ツモノデアアルカト云フコトヲ能ク自覺シタト云フヤウナ點モアラウカト思ヒマス、又一面ニ於テハ、殊ニ青年學徒ニアリマシテハ戰場ニアル自分ノ同輩或ハ同年配ノ者等ノ働イテ居ル其ノ姿ニ思ヒラ馳セマシテ、自分自ラヲ鍛鍊シテ居ル點モ非常ニ多イカト思フノデアリマス、併シナガラ教育ノ立場ト致シマシテ、之ヲ以テ満足スベキモノデハナイノデアリマシテ、愈、其ノ方向ヲ助長シテ眞ニ戰時下教育ノ實ノ擧ルヤウニ、凡ユル方面カラノ施策ヲ致シタイト云フコトヲ念願トシテ居ル次第デアリマス

次ニ他ノ問題トシテ在外邦人ノ子弟ヲ教育シテ居リマスル教員ニ付キマシテハ、從來ハ内地ノ教員ト全ク別個ニ取扱フヤウナ傾キモナカッタデハナイト思ヒマスノデ、將來ハ、例ヘバ國民學校ニ致シマス、内地ノ國民學校ノ教員ト十分ニ交流致サセマシテ、外地ニ於テ働イタ者ノ方ハ、寧ロ或

ル點ニ於テ優遇ヲスルコトノ出來ルヤウナ方途ヲ講ジテ、交流ノ實ヲ擧ゲタイト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、又中等教育ハ現地デヤルト云フコトニ相成リマスルカ、内地デヤル方ガ宜イコトニナルカハ、將來ニ付テハマダ是ハ決定シ難イ問題ガアリマスルガ、少クモ當分差當リノ内ハ中等教育ハ内地ニ於テ施スベキモノト云フ方針ヲ政府ノ方デ立テテ居リマスノデ、ソレニ向ツテ十分ナル施設モ考ヘナケレバナリマセズ、又方策モ考ヘ、既ニ其ノ趣意ノ出來上ツテ居ル所ノモノニ向ヒマシテハ、十分ニ從來ノ經驗ナドモ參照致シマシテ、補導シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○藤野政府委員 只今在外邦人ノ教育ニ從事致シマスル者ヲ、内地教員同様ニ優遇スルノ意ガアルカト云フ御尋ネニ對シテ、大臣カラ全般的ニ御答ヘガゴザイマシタガ、一、私カラ事務ノ一部分ニ付テ御答ヘマシ上ゲマス、從來在外邦人ノ教育ニ從事致シマスル者ト、内地ニ於ケル教職員ト間ニ、伊吹委員ノ御承知ノヤウニドウモ待遇上均衡ヲ得ザルモノガアリマシテ、ソレデ關係省トモ色々協議ヲ致シマシテ、今期議會ニ於キマシテ其ノ一部ガ恩給法ノ改正トナツテ提案ヲ致シテアリマスノデ、ソレハ内地ニ居リマシタ教育者ガ外國ニ殊ニ滿洲デゴザイマスガ、外國ニ招聘サレ、若シクハ外國ニ於ケル教育ニ從事致シマスル場合、内地ニ於ケル教職員トシテノ恩給ニ關シマスル在職年數ハ之ヲ通算スルト云フヤウナコトニ致シマシテ、是マデアリマシタ待遇上ノ遺憾ナ點ヲ是正致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、何レ御協賛ヲ得ルヤウナコトニ相成ルト思ヒマス

又第二ニ各種ノ教員ノ優遇ニ關シマスル事項ハ、外國及ビ外地ニ於キマシテハ只今折角其ノ教員ノ爲メノ福祉増進ヲ目的ト致シマスル團體結成ヲ急イデ居リマス、是モ關係省ト連絡ヲ取ツテ逐次團體ノ設立ヲ見ルト云フ運ビニ相成ルト考ヘテ居リマス、此ノ點付加ヘテ置キマス

○伊吹委員 今御説明デ能ク分リマシタガ、例ヲ申上ゲマシタ長崎ノ如キ、揚子江流域ノ各都市ニ居ル在留邦人ノ子弟ノ中等學校ニ入ル者ハ——例ヘバ長崎ノ商業學校トカ、或ハ中等學校ニ來テ居ル者ハ、極ク上流ノ漢口、九江カラ、ズツトアノ沿線ヲ傳ツテ南京、上海ニ至ルマデノ子弟ガヤツテ來テ居ルノデアリマス、是ガ原籍地ヲ見マスルト、先程申シマシタヤウニ北海道カラ九州ノ南ノ涯マデノ全國ニ互ツタ人ノ子弟デアリマス、ソレデ、アソコ東亞寄宿寮ト云フモノヲ造ツテ置キマシテ、ソコノ中ニ入レテ居リマスガ、中々相當ナモノヲ造ツテ便宜ヲ與ヘテヤツテ居ル、又丁度距離カラ申シマシテモ、長崎ガ一番近イモノデアリマスカラ、サウ云フ風デヤツテ來テ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ寄宿寮ト云フヤウナモノハ、將來ノ爲ニモ補助デモヤルト云フ御考ヘハナイカト云フコトヲ伺ツタノデアリマス

○藤野政府委員 御話ノ實情ハ私モ稍、承知ヲ致シテ居リマス、先年長崎縣ノ施設ニ付キマシテハ、帝國教育會等ニ於キマシテ、幾分ノ御助成ヲ申上ゲタコトモアツタカト思ヒマス、仰セノ通りニ、確カニ地理的關係カラ殆ド全國ニ跨リマス在外邦人子弟ガ長崎等ニ蟄集スルト云フ事實モゴザイマセウト思ヒマス、是等ニ付キマシテハ、一般在

昭和十八年二月三日

外邦人ノ子弟教育ニ對シマスル團體等モ、今有力ナモノガ結成サレツツゴザイマス、政府トシテハサウ云フ團體トモ一ツ連繫致シマシテ、今後御示シノヤウナ趣旨ニ基イテ、十分考究致シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○松岡委員長 伊吹君、モウ宜シウゴザイマスカ

○伊吹委員 宜シウゴザイマス

○松岡委員長 星一君

○星委員 私人教育ノ根本方針ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、時間ノ節約上要點ダケ申上ゲルコトニ致シマス

日本ノ法律ハ、何ト云ウテモ自由主義個人主義、資本主義カラ成立ツテ居リマス、隨テ日本ノ教育モ其ノ影響ガアツタト思フノデアリマスガ、國ノ成立ガ各國トモ異ナツテ居リマス、我が日本ハ家族制度デアリマシテ、家族制度中デモ又獨特ナ家族制度ヲ持ツテ居ル國デアリマス、大東亞戰爭開始後ニ於テ、殊ニ私人教育ノ根本方針ニ付テ質問ノ必要ヲ感ジタノデアリ、大「アジア」ハ、「アジア」ノ全部ハ家族制度カラ成立ツテ居リマス、遠ク「アフリカ」ノ「エジプト」、「エチオピア」ノ方マデ行ツテモ家族制度ノ國ト言ウテモ宜カラウト思ヒマス、日本ハ此ノ大東亞戰爭ノ目的ヲ完遂スルコト云フコトハ、大「アジア」ニ家族制度ニ還レト云フコトヲ呼掛ケ、サウシテ此ノ大「アジア」ノ中ニ家族制度ヲ基礎ニシタル政體ヲ建設セシメルト云フコトニナラナケレバナラナイト思フノデアリマスカラ、日本ノ教育ハ、大「アジア」ヲシテ家族制度ニ還ラシメル所ノ働キヲスル人ヲ造ルト云フコトガ、是ガ大切ナコトニナツテ來テ居ルト思フノデア

リマスガ、今日マデノ日本ノ教育ハ、日本人ヲ世界人トシテ教育シテ來タカノヤウナ感ガアリマス、吾々ハ日本人デ又世界人デアルコトハ申スマデモアリマセス、私ノ聴キタイコトハ、何處ニ重點ヲ置クカ、世界人タルコトヲ主トシテ日本人ヲ從トスルカ、日本人ヲ主トシテ世界人タルコトヲ從トスルカ、斯ウ云フコトニ付テ文部省ノ根本方針ニ付テ私ハ極ク簡單デ宜シウゴザイマスカラ承リタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 只今御話ノゴザイマシタ教育ノ根本ノ方針ハ、我が日本ニ於キマシテハ日本獨自ノモノデナケレバナラナイコトハ申スマデモナイコトデゴザイマス、國家ガ家族制度ト云フモノヲ基調トシテ居リマスル以上、教育自體ガ家族制度ト離レルヤウナコトニ相成ツテハナラナイコトハ、是亦當然ノコトト思フノデアリマス、併シ從來教育ノ制度ヲ外國ニ例ヲ取リマシテ勸案シマシタ結果トシテ、又外國ノ文化ヲ急速ニ輸入シナケレバナラナカツタト云フ事情ノ下ニ、我が國ノ教育ノ本來ノ姿ガ外カラ見マシタ所、幾分蔽ハレテ居ツタヤウナ點ガナイデハナイト思フノデアリマス、併シナガラ從來ノ教育ガ悉ク誤ツテ居ツタト云フヤウナコトハ、申スベキモノデハ決シテナイノデアリマシテ、現時我が國ノ國力が充足サレ、現ニ戰ニ勝チツツアリマスルノハ、從來ヤツテ來タ教育ノ結果ナノデアリマスカラ、唯從來ノ教育ガ間違ツテ居ツタ、間違ツテ居ツタト云フコトハ決シテ申スベキモノデハナイデアリマス、併シナガラ從來ノ教育ニ於テ尙ホ我が國ノ教育トシテ徹底シナケレバナラナカツタ點ニ足ラナカツタ點ノアルコトハ否ミ難イコトデアリ

マスカラ、是ハ又十分ニ此ノ機會ニ於テ徹底シテ、眞ノ我が國獨自ノ教育體制ヲ樹立シナケレバナラヌコトハ當然ノ事柄ト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ我が日本ニ於ケル教育ガ日本人ヲ育テ上ゲル教育デアルベキハ當然ノ事柄デアリマス、ソレニ付テ只今日本人ハ一面日本人トシテアリナガラ、一面世界人デアルト仰セラレマシタコトハ全ク其ノ通りデアリマスルガ、ソレハ日本人ト云フモノニ日本人ト云フ部分ガアリ、世界人ト云フ部分ガアルト云フノデアリ、一人ノ日本人ガ日本人デアリ世界人デアルト云フコトニ外ナラナイノデアリマスカラ、教育ヲ致シマス場合ニ、日本人トシテノ方ニ重點ヲ置クトカ、世界人トシテノ方ニ重點ヲ置クトカ云フコトデハ、日本ノ教育ニハナラナイト思フノデアリマス、兩者一體トシテ、日本人トシテ教育サレタ者ガ體ト偉大ナル世界人デアアル、斯ウ云フ建前ニ於テ日本人ノ教育ヲスルノデアリマス、併シ若シソレヲ逆ニ世界人トシテノ教育サヘスレバ日本人ニナレルカト云フト、決シテソレハナリ得ナイ、デアルガ故ニ日本人トシテノ教育ヲ施スコトニ於テ自ラ偉大ナル世界人タルヤウナ教育ヲ施スト云フコトヲ根本ノ方針トスベキデアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○星委員 能ク分リマシタ、其ノヤウナ教育ヲスル上ニハ、ドウシテモ家族制度ニ基礎ヲ置クト云フコトガ、私ハ必要ナコトダラウト思フノデアリマス、若シ日本ノ教育ガ家族制度ニ重キヲ置カナイコトニナツタナラバ、ソレハ日本ノ教育ニハナラナイコトニナラウト思フノデアリマス、ソコデ本當ノ日本人ニシ、其ノ日本人ガ世界人デアアル、

殊ニ現在ニ於テハ家族制度ノ國タル大「アジア」ノ指導者ニナルト云フコトガ、一番重大ナコトダラウト思フノデアリマス、今日日本カラ澤山ノ官吏ガ南方ニ行ツテ居リマスケレドモ、是等ノ人ニモツト深く家族制度ヲ基礎ニシタ教育ヲ行ツテ居ツタナラバ、大キナ功績ヲ擧ゲテ呉レルノデハナイカト云フ感ジラシテ居リマス、ソコデ只今文部大臣ノ御話ノヤウニアルナラバ、茲ニ專門教育ニ就イテ伺ヒタイノデアリマス、過去ノ專門教育ヲ見マスルト、ドウシテモ家族制度ニ基礎ヲ置カレタヤウニハ私ハ感ジラレナイノデアリマス、例ヘバ專門學校ノ入學試験ニ關シテデアリマス、專門學校ノ入學者ニハ資格ガアリマス、其ノ資格ノモ

ノガ入學ヲ希望シテ來タ時ニ、ソレニ競争試験ヲシテ、成績ノ良イ者ヲ學校ニ入學セシムルコトニナツテ居リマシテ、其ノ時ニ家族ト其ノ入學者トノ關係ヲ考慮ノ中ニ少シモ置イテ居ラレナイヤウニ存ゼラレマス、日本ノ教育ガ此ノ美シイ家族制度ヲ永久ニ維持スル爲ノ教育デアラナラバ、入學者ト家族トノ關係ガ考慮ニ入ラレラナケレバナラナイト思ヒマス、ソレヲ徒ラニ自由競争ノ試験ヲシテ、成績ノ良イ者カラ採ツテ入レルト云フコトハ入ミヤツテ居ラレルコトハ考フベキコトデアルト存ジマス、入學試験ヲ全然無視シロト云フノデヤアリマセス、競争試験ニ重キヲ置クヤウナコトデハ、家族制度ノ維持ガ出來ナクナツテ、外國ノヤウナ個人主義ニナツテ行ク虞ガアルト感ジラレマスカラ、家族制度維持ノ上カラ專門學校ノ入學ニハ大イニ考慮ヲ要スルト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテ文部大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 専門學校教育ト家族制度

ト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、入學試験ノ方法等ニ御觸レニナツタ御話ガアリマシタガ無論専門學校ト云フモノニ色々種類ガゴザイマシテソレ々ノ専門ガ分レマス、隨ヒマシテ將來ノ職業人或ハ實務ニ從事スル點ヲ考ヘテ或ル學校ヲ選ンデ來ルト云フヤウナ事柄ハ其ノ家々ノ事情ニモ依リマスコトデアリマス、併シ職業ヲ選ブト云フコトソレ自身ハ、無論家族制度ト云フコトト重大ナ關係ノアルモノデアリマスケレドモ、或ル職業ヲ營ンデ居ル家ニ生レタ者デアルガ故ニ、必ズ其ノ職業ヲ繼ガセナケレバナライト云フ根本理由ハナイカト思フノデアリマス、無論其ノ家ノ業ヲ繼ガシムルト云フコトハ重大ナ問題デアリマスルガ故ニ、昔カラ家代々ノ仕事ヲ子々孫孫ニ遺ス爲ニハ、其ノ家ニ生レタ者ガ不適當デアルト云フ時ニハ、餘所カラ適材ヲ養子ニシテマデモ家業ヲ傳ヘサセルト云フコトハ事例ニ乏シクナイノデアリマシテ、是ハ家ノ業ヲ傳ヘルト云フ意味ニ於テ最モ慎重ナ考慮ヲシタモノデアルト思ヒマス、デアリマスカラ、例ヘバ醫者ノ息子ガ醫者ノ學校ニ入りタイト云フ場合ニ、十分ニ力ガアレバ結構デアリマスガ、力ガナイケレドモ醫者ノ家ノ息子デアアルカラ是非トモ之ヲ醫者ニシテヤラナケレバナラスト云フ事柄ヲ教育ノ方デ考フベキカト云フ事柄ハ、ソコニ大變考ヘナケレバナラス餘地ガアラウト思ヒマス、ソコデ例ヘバ入學試験ノ問題デ、細カイコトデアリマスカラ、是ハ其ノ學校ノ裁量等ニ依ツテモ十分餘地ノアリ得ル點モアリマスケレドモ、例ヘバ入學試験ト云フモノハ何時デモ或ル標準ヲ決メテ選

拔スルノデアリマスガ、其ノ選抜スル際ニ、

是ハドチラヲ採用シタラ宜イカト云フヤウナ殆ド徑庭ノ付ケ難イモノニ對シテノ判斷ヲ入學ノ時ニ、例ヘバ校長ナリ或ハ試験委員ガ困ルヤウナ場合ガ多クアリマス、其ノヤウナ際ニ先ヅドチラヲ選ンダラ宜イカト云フ時ニ、例ヘバ醫者ノ息子ト醫者ノ息子デナイ者ト同ジヤウナ條件デ居ルト云フ時ニ、醫者ノ息子ノ方ヲ先ヅ採擇シテヤルト云フコトハ當然デアルト思ヒマスケレドモ、醫者ノ息子デアアルケレドモ、非常ニ學力ガ足リスト云フ者マデモ醫者ノ息子デアルガ故ニ優先的ニソレヲ採用スルト云フコトハ、入學試験ト云フモノヲヤル點カラ考ヘマシテ、如何カト思ハレルノデアリマス、要スルニ入學試験ハ入學試験デアアル限り、又一般ニ入學スルコトヲ得ル資格ノアル者ニ對シテ施ス試験デアリマスガ故ニ、極メテ公正ヲ期セナケレバナライコトハ申スマデモナイノデアリマス、公正ヲ期スルコトヲ案サナイ範圍ニ於キマシテ、或ル職業ヲ持ツテ居ル者ノ子弟ヲ其ノ職業ニ依然トシテ就カセルト云フ目的ノ爲ニソレニ優先ヲ與ヘルコトモ出來得ルヤウナ措置ガ認メラレル場合ニハ、或ハ其ノ措置ヲ講ジテ宜カラウカト思フノデアリマス

○星委員 今ノ専門學校ノ入學者ハ文部省

ガ與ヘタ資格者デアリマス、其ノ資格者カラ更ニ競争試験ヲ以テ選擇スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、私ハ醫者ノ息子ナリ藥屋ノ息子ダカラソレガ成績ガ悪クテモト云フ考ヘテ言フノデアリマセヌ、入學試験ト云フモノハ極ク最近デハ少イ問題ヲ或ル所ハ二ツ、三ツ位ニシマシトテ、アト人物者査ト云フヤウナ極ク簡單ナモノデ、澤山ナ人ヲ極ク短イ時間ニ試験スルノデアリマスカラ、其ノ試験ガ公平ナ確カナ試験ト云フコトモ出來ナイヤウデアリマス、入學試験ノ時ニ惡イ者モ、入ツテカラ良イ成績ヲ現ハシタト云フ例モアルノデアリマスガ、私ハ家族制度維持ノ爲ニハ、家庭ノ職業ニ重キヲ置クト云フコトニシテ考ヘテ行クノガ當然ダト思フノデアリマス、サモナケレバ、日本ノ教育モサウ出來テ居ナケレバ、是カラ大東亞ヘ出テ行ツテ日本ガ教ヘテ行ク所ノ教育ノ上ニモ大キナ影響ヲ與ヘルト思ヒマス、家族制度ガアツテ日本及アジアノ秩序ガ維持サレルノデアリマスカラ、其ノ秩序ヲ維持スル基礎タル家族制度ニ重キヲ置カレルヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

〔委員長退席、仲井間委員長代理着席〕

次ニ伺ヒタイコトハ、文部省ハ、必勝決戰ノ戰時體制ニ對スル教育上ノ方針ト云ヒマスカ、現今物心一如ト云フコトヲ言ハレテ居リマス、此ノ物心一如ヲ現實化スルニハドウ云フヤウナ教育デ行クガ一番捷徑カ、物心一如ノ現實化ニ對スル文部省ノ覺悟ト云ヒマスカ、方針ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

○橋田國務大臣

物心一如ノ境地ヲ體得スル所ノ目標トシテノ教育ト云フコトハ、我が國ノ教育ト致シマシテハ、或ル一面ノ見方ト致シマシテ、其ノヤウナ境地ヲ獲得サセルヤウニ努メナケレバナライノデアリマス、併シ實ハ其ノ境地ハ中々容易ニ得ラレル境地デハナイノデアリマス、併シソレニ到達致シマス一ツノ段階ト致シマシテハ、從來考ヘラレテ居リマス所謂學問ト云フコトト實際ニ身體ヲ動カシテヤル行ト云フモノ、

○星委員

能ク分リマシタ、最近文部省ガ專門教育局ノ中ニ監理課ト云フモノヲ置カレタノデアリマス、此ノ監理課ヲ置カレタ趣意ハドウ云フコトデアリマスカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○菊池(豊)政府委員

今回ノ行政簡素化ニ伴ヒマシテ、本省ノ機構ヲ各方面全面的ニ改メマシタノデ、從來カラ考ヘテ居リマシタ私立學校ノ方面ノ指導、監督、助成サウ云フ方面ノ行政ヲ強化スル必要ガアル、サウ云フ考ヘカラ課ヲ特設致シマシタ次第デアリ

マス、大體サウ云フ趣意デアリマス

○松浦(周)委員 只今ノ大臣ノ御答辯洵ニ共鳴ヲ覺エタノデアリマス、學ト行ヲ一體トスルト云フ御話ガアリマシタガ、モウ少シ之ヲ廣範圍ニ御考ヘニナツテ、一大改革ヲサレタラドウカト思フノデゴザイマス、何ト云ヒマシテモ今マデノ教育ハ座學偏重デアリマシタ、其ノ結果、其ノ學ヲ修メテ社會ニ出タ人ガ、實際ニ經驗ガ乏シシ、結局其ノ人ガ行政ニ携ハラウト或ハ經濟人ニナラウト、結局經驗ノ付クマデノ間ハ、マア俗ニ言フナラバ、理論ニ、「ペーパープラン」ニ、或ハ抽象的ニ陥リマシテ、實際ノ仕事ガ出來ナイノデアリマス、隨テ從來ヤリ來ツタ人ノ例ヲ見習ツテ、詰リ部下ノ行ツテ來タ實際ノ業務ヲ聽キ取ツテ、サウシテ自分ガ立案シナケレバナラナイト云フヤウナコトデアリマス、日本ノ軍隊強イコトハ、國柄ト云ヒ、其ノ精神力ト云ヒ、強イコトハ當然デアリマスガ、教育其ノモノガ日本ノ軍隊ヲシテ今日世界一ノ軍隊ヲラシメテ居ルト思ヒマス、ソレハ科學教育ト實際訓練、實際演習ト云フモノガ結付イテ居ルカラデアリマス、今後ノ教育モ軍隊ニ於ケルヤウニ、假ニ師範教育ナラバ、今日ノ師範改革ニ依ツテ、師範學校ニ生徒ガ學ブ、ソレガ小學校ヘ出ル、小學校ヘ出テ一二年ナリ三年ナリ小學校教育ヲシテ、軍隊ノ大學ニ入ルヤウニ、其ノ小學校教員ノ中カラ拔擢シテ高等師範ニ入レル、ソレヲ出タ者ガ更ニ師範大學ニ入ルト云フ風ニシテ、其ノ師範大學ヲ出タ者ガ文部行政ニ携ハルト云フコトニシタナラバ、文部行政ニ携ハツテ居ル人全體ガ教員ヲヤツテ來タコトニナル、ソコニ本當ニ活キタ行政ガ行ハレルト思フ

ノデスガ、學ト行トノ一體ニ對シテ積極的ニ今後ヤツテ行カレル方法ヲ御考ヘニナツタラドウカ、是ハ今日日本ノ教育ニ一番缺乏シテ居ル所デアナイカ、言換ヘルナラバ、一小學校ノ教員ハ文部大臣ニナルコトガ出來ル、一農會ノ技術員ハ農林大臣ニナルコトガ出來ルト云フコト、實務ト教育トヲ交互ニヤツテ行ク所ニ日本ノ軍隊ノ強サガアルト思ヒマスガ、今後サウ云フ理念ノ下ニ學ト行ヲ一體ニスルト云フコトニ付テ積極的ニ御研究サレテ、一大改革ヲサレル御考ヘハナイカト云フコトヲ御聽キシタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 只今有益ナル御意見ヲ拜聽致シマシタ、從來ノ教育ガ實際ニ即セザル點ガ多クアリマシタコトハ甚ダ遺憾デアルト思ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ハ今回ノ學制改革ニ於キマシテハ出來ルダケ改メマシテ、所謂實學ヲ體得サセルト云フコトヲ基礎トシテ居ルノデアリマス、デアリマスガ故ニ、科學教育ニ致シマシテモ、科學ト云フモノ自體ガ自己ノ日常ヲ離レタ空論ニナラナイヤウニ、又實際科學的ニ教ヘラレタコト云フコトハ、其ノ科學的ナルモノヲ働カシ、又自分カラガ科學的ニ動くコトガ出來ルト云フ所マデ持ツテ行キタイト云フ理念ノ下ニ今色々教育ノ内容刷新等ヲ致シテ居ルノデアリマス、又教育ノ系統ト致シマシテハ、其ノヤウナ意味カラ申シマシテ、從來餘リ考ヘラレナカッタト思ハレマサウナ、例ハバ師範學校ニ研究科ト云フヤウナ施設ヲ設ケマシテ、國民學校ノ教員等ハ數年ノ内ニ一度ハ必ズ元ノ師範學校ヘ入ツテ更ニ磨キヲ掛ケルト云フヤウナコトモ致サセマシテ、時代ニ遅レサセナイ

ヤウニシヨウト云フ方策ヲ執ツテ居ルノデアリマス、更ニ行政體系ニ付キマシテハ尚ホ考究中デアリマスケレドモ、教育者ノ養成ト云フ此ノ學校體系ハ、他ノ學校體系トハ一應別個ノ體系ヲ整ヘマシテ、眞ニ教育者ト云フモノハ斯クノ如クアルベキモノデアリ、斯クノ如ク養成サレナケレバナラヌモノデアルト云フ事柄ノ基準ダケハ十分ニ示シタイト思ツテ居ルノデアリマス、其ノヤウナモノニ向ヒマシテ、例ハバ入學ノ資格ト云フヤウナモノハ當然今回ノ師範學校制度ノ刷新ニ依リマシテ、師範學校ノ卒業生ハ入學ノ資格ガ與ヘラレル、デアリマスカラ、無論師範學校ノ卒業生、國民學校ノ教員トナルベキ總テノ者ガ上ノ方ニ向フベキモノデアルト云フコトヲ示ス譯デモナイノデアリマスケレドモ、優秀ナ者ニ付キマシテハ、將來偉大ナル教育者トシテ發展シ得ルノ途ヲソコニ開クコトニ是非トモ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、唯、今事例ヲ申サレマシタ通り、小學校ノ一教員カラデモ文部大臣ニナレルヤウナ仕組ミニシタラドウカト云フ御話デアリマシタガ、ナニモ文部大臣ト云フノハ必ズシモ教育者デナケレバナラヌト云フコトモナイ點モアリマセウケレドモ、併シナガラ教育者デアルトノ經驗ヲ持ツタ者ガ又有力ナモノデアルト云フ點モアルカト思フノデアリマス、少クトモ學校ヲ出タ者ハ實際ニ働ケルト云フ者ニ是非トモシナケレバナラズ、又若シ假リニ從來ノ標準ニ比ベテ見マストドウモ學力ガ少シ劣ルト云フヤウニ見エテモ、一兩年ノ内ニハズツト伸ビルト云フ根本ノ潛勢力ヲ持ツタヤウナ教育者ニシナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ

一面ニ於キマシテ殊ニ何カノ方策ヲ講ジナケレバナラヌト思フコトハ、從來ハ學校ヲ出サヘスレバ教育ト云フモノハシナクテモ宜イト云フ考ヘデ社會ガ學校ノ卒業者ヲ引受ケテ居ルノデアリマス、併シナガラ學校教育ト云フモノハドレダケヤツテモ未完成ナモノデアアル、社會デ引受ケル場合ニハ、社會ニ於テソレモ、又適當ナ方法ニ依ツテ其ノ學力、其ノ實力ヲ伸バヌ爲ニ教育シナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ貫ヒタイノデアリマス、例ハバ會社ナドニ使ヒマス場合デモ、唯學校ヲ出タノダカラ是レ位出來ナケレバ駄目デアナイカト云フヤウニ言ハナイデ、出來ルヤウニ教育ヲ或ル程度仕込マナケレバイケナイト思フ、例ハバ會社ノ一番上ノ人ガ、新シク入ツテ來タ學校卒業者ヲ、唯自分ノ思フ通りニ動カナイカラ是ハ力ガナイノダト云フヤウナ批判ヲ下スベキモノデアナイ、若シ足りナイト思ヘバソレヲ十分教育スルト云フコトガ、眞ニ學校デ勉強シタモノヲ伸バシテ行ク所以デアラウカト思フノデアリマス、是ハ少シ餘談ニナルヤウデアリマスケレドモ、「ドイツ」ナドニ於キマシテハ、有數ナ工業會社ニ入リマス、其ノ會社ニ入ツタト云フコトニ依ツテ直ク勉強ガ出來ル立派ナ研究室モアリ、才能ノアル者ハドン／＼勉強ガ出來ル施設ガアル、斯ウ云フ所ニ「ドイツ」ナドノ工業ノ發達スル大キナ所以ガアルト思フノデアリマス、日本ニ於キマシテハ、此ノ頃ハ幾ラカサウ云フ方面ガアリマスケレドモ、從來多クノ場合ニ於キマシテ會社ニ於テ教育シヨウト云フヤウナ方法ガ非常ニ缺ケテ居ツタト思フノデアリマス、其ノヤウナ點ト相俟チマスレバ實際役ニ立ツ人間ヲドン

ドシ學校デモ送出ス、又社會ニ於テモソレ
ヲ十分ニ利用スル途ガ開ケ、ソレニ依ツテ
社會人トシテ活躍スレバ其ノ天分ヲ發揮ス
ルコトモ出來ルヤウニ相成ラウカトモ思フ
ノデアリマシテ、其ノ邊ニ鑑ミマシテ十分
方途ヲ講ジタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デ
アリマス

○星委員 文部次官ノ監理課設置ノコトニ

關聯シテ御尋ネ致シマス、文部省ノ中ニ視
學員ト云フモノガ置カレテアリマスガ、若
シ此ノ監理課ヲ強化スルコトガ出來タナラ
バ視學員ト云フモノハナクテモ宜イト云フ
コトニナルノデアリカトモ考ヘラレマス、
一體文部省ノ中ニ監理課ト云フヤウナ名前
ノ付イタモノヲ造ルト云フコトハ、文部省ニ
トリテ是ガ果シテ適當ナ名前カドウカト私
ハ考ヘルノデアリマス、マルデ商工省ノ中
ニアルヤウナ名前付ケタヤウナモノデア
リマスガ、名ハ其ノ實ヲ示スト言ハレ中々
大切デアリマス、私ハ文部省ニ大切ナ人ガ今
マデ少カツタと思ヒマス、澤山ナ私立専門學
校ガアリ、又官立モ多クデアリマスケレド
モ、ソレニ對スル指導者ト云フモノガ文部
省ニハ足ラナカツタと思ヒマス、其ノ指導者
ガ十分デアラナラバ視學員ガナクテモ宜イ
ノデアリカ、其ノ指導者ヲ置イテ行クナ
ラバ、文部省ハ更ニ立派ナ教育ヲ施スコト
ガ出來ルト思ツテ居リマス、ソレ故ニ監理
課ト云フヤウナ名前デハナシニ、指導トカ
他ノ名前ヲ付ケルノガ是ハ當然デナカツタ
カト思フノデアリマス、其ノ名前ニ依ツテ下
ニ働イテ居ル官吏ガ誤解ヲスルヤウナコ
トガナイトモ限ラヌ、斯ウ思フノデアリ
マス、デアリマスカラ私ハ文部省ニハド
ウシテモ指導員ヲ立派ナ學者ナリ經驗者ヲ

澤山入レテ、サウシテ指導シテ行クト云フ
ヤウニシテ行クナラバ、視學員ハナクトモ
行ケルノデアリカト思フノデアリマスガ、
私ハ文部省ハ此ノ監理課ノ名稱ヲ改メテ、
サウシテ之ヲウシテ強化シテ行クト云フヤ
ウナ御意思ガアルカドウカ、ソレヲ伺ヒタ
イノデアリマス

○菊池(豊)政府委員 監理課ノ名稱ニ付テ

御批判ガゴザイマシタ、是ハ或ハモット良イ
名前ガアルカモ知レマセヌガ、文部省デモ
色々研究致シマシテ、一應斯ウ云フ名稱ニ
致シタノデアリマス、趣意ハ只今アナタノ
御述ベ頂キマシタ指導、監督、助成ト云フ、
サウ云フ行政ノ面ヲ強化スル、從來大事ナ
私立學校ノ教育問題ニ付テ文部省ノ御世話
スル部分ガ割ニ少カツタ、又サウ云フ「スタ
ツ」モ少ウゴザイマシテ行届カナカツタ憾
ミガアリマス、是ヲ是非強化致シタイト云
フ趣意デゴザイマス、ソコデソレヲナスガ
爲ニハ行政ノ面カラ行キマシテモ、又指導
ノ實際ノ專門の面カラ行キマシテモ之ヲ
相當強化シナケレバイケマセヌ、ソコデ私
立學校ノ監督、助成ト申シマシテモ其ノ内
容、實數、種類ト云フヤウニ行政ノ場面ガ
非常ニ廣イノデアリマス、種類モ中々複雑
デアリマス、隨テ今回差當リ考ヘテ居リマ
スヤウナ行政ノ「スタツ」デハマダ足りナ
イ、行政ノ面ダケデモ足りマセヌ、況ヤ其
ノ指導ヲ本當ニ親切ニサウシテ行届イタ、
搔イトコロニ手ガ届クヤウナ指導ガ出來ル
ヤウニナルマデニハ餘程専門のナ知識、經
驗ヲ集メマシテ、サウシテ其ノ實際のナ方
面ニ色々検討シテ參ラナケレバナラヌと思
フノデアリマス、サウ云フ點カラ申シマス
ルト、只今御意見ガアリマシタケレドモ、

今日實行シテ居リマスル視學員等ハ必要デ
アルト思ヒマス、私ハマダ足りナイノデア
リカ、又種類ニ於テモ色々ナ面ニ付テマ
ダ考ヘルベキ點ガアルノデアリカト考ヘ
テ居リマス、唯今後ノ運用ニ付キマシテハ、
只今御所見ガゴザイマシタガ、監理課ト云フ
ノデ何ダカ妙ナ感ジガスルヤウナ、サウ云
フヤウナコトニハ行政ノ實際ニ於テハ十分
注意ヲ拂ヒマシテ、聊モ行政ノ面ニ於テサ
ウ云フ感ジヲ持タセルヤウナコトガナイヤ
ウニ、實行上ニ於テハ細心ノ注意ヲ拂ヒタ
イト思ツテ居リマス

○星委員 私ハ視學員ノ人ハ公職ニアル人

モ、又私ノ職ニアル人モアリマス、視學員
ノアルノハ醫學、齒科、藥學ノ三ツノ學校
デアリマスガ、文部省ガ理想ノ教育方針ニ
進ミ得ルヤウ課、監理課カ、ソレデアルナ
ラバ其レヲ速カニ改良強化シテ貫ヒタイト
希望スルノデアリマス、現在ノ視學員ヲ官
吏トシテ採用シ其ノ任ニ當ラセルコトモ宜
カラウト思ヒマス、希望ヲ申上ゲテ置キマ
ス

ノデアリマス、若シサウ云フ教育ヲ施シマ
シテ、其ノ一年間ニサウ云フヤウナ見學ノ
機會ヲ與ヘマス、ソレニ依ツテ興味ヲ持
ツテ、實地ニ向ツテ自分ノ希望ヲ達シヨウト
シテ學校ニ入ラヌ者モ出來テ來ルコトニナ
ラウト思ヒマス、健康ノ上カラモ總テノ上
カラモ私ハ宜イコトト信ジテ居リマス、ソ
レデアリマスカラ文部省ハ中學校卒業後ハ
全部兵役ト云フ譯ニハ今行カンカモ知レマ
セヌガ、陸軍海軍ト一緒ニナツテ法律ヲ直
シテ、サウシテ軍隊ノ良イ教育ヲ受ケシメ
ツツ、其ノ間ニ自分ノ希望ノ所ヲ見學セシ
メルト云フコトヲ一ツノ課目トスルヤウニ
シ、ソレヲ終ヘナイ者ハ上ノ學校ニ絶對入
學セシメナイト云フヤウナコトニシタラバ
宜カラウト私ハ信ジテ居リマス、此ノ點ニ
付テ文部大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマ
ス

○橋田國務大臣 中等學校ノ卒業生ヲ卒業

後直チニ兵役ニ服セシムルト云フコトハ、
是ハ出來ルカ出來ナイカ餘程考ヘテ見ナケ
レバ分リマセヌガ、併シ軍事的教育、教練
ヲ施スト云フコトニ於テ、一面ニハ軍事的
ナ意義モ持チマセウガ、一面ニ於テ眞ニ國
民教育ト云フモノヲ完成サセルト云フコト
ニ付キマシテハ異論ノナイ所デアリマス、
ソレハ軍教一致ト云フ點ニ於キマシテ何等
カ是マデヨリモモツト能ク徹底シ、又能ク
兩者ガ融和スルヤウニ工作ヲシナケレバナラ
ヌトハ考ヘテ居リマス、今ノ所中等學校
ヲ卒業シテ後一年間兵舎生活ヲシタ者デナ
ケレバ上ノ學校ニ入ラセナイヤウニシヨウト
云フ所マデハ考ヘテ居リマセヌガ、併シ軍
事ト文教トヲ能ク合體セシメテ國民ノ鍊成
ヲ全クセシメヨウト云フ考ヘハ十分時ツテ

居リマス、今後考究致シタイト思ツテ居リマス

○星委員 次ニ伺ヒタイトハ教員ノ停年制デアリマス、今問題ニナツテ居ル國民學校其ノ他ニモ義務停年ガアルノデゴザイマスガ、大學校ニ於ケル停年ナドモ此ノ際延長ヲスル御考ヘガアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 只今ノ所學校職員ニ對シテノ停年制ト云フ制度ハ實ハナイノデアリマス、或ハ中等學校、國民學校等ニ於キマシテハ、地方ノ事情ニ即シテ何等カ内規的ニ一定ノ標準ヲ附ケテ居ル所ハ是ハアラウカト思ヒマス、併シ十年前ニナリマスガ、十五年前ニナリマスカ知リマセウカ、餘程以前ニハ國民學校ノ先生ハ少シ年輩ニナレバ辭メナケレバナラヌト云フヤウナ状態モ來テ居ツタト思ヒマス、併シ最近ニナリマシテハ此ノヤウナ状態ハ漸次又逆ノ方向ヲ取ツテ居リマシテ、今デハ相當古イ人モ依然トシテ國民學校ノ先生或ハ校長トシテ働イテ貰ツテ居ルヤウナ状態ニナツテ來テ居ルト思フノデアリマス、大學ノ停年制ニ至リマシテハ、是ハ全ク大學自體ノ内規デアリマシテ、ソレニ依ツテ一應後進ノ爲ニ途ヲ開クト云フコトヲ考ヘテノ問題デアツタノデアリマス、併シ現時ノ如ク途ヲ開カントシテモ後進ガ居ナイト云フヤウナコトガ若シ假ニアリマス場合ニ、唯停年制ト云フコトニ固執シテ是非トモ辭メナケレバナラヌト云フ事柄ハ當然考ヘラレナイト思ヒマスカラ、其ノ邊ノ問題ニ付キマシテハマダ考究ノ餘地ガ十分ニアルト考ヘテ居リマス

○星委員 父兄ガ朝ニ、晝ニ、晩ニ苦勞シテ居ルコトハ子孫ノ教育デアリマス、サウシテ各人ガ其ノ教育ニ收入ノ大部分ヲ捧ゲテ居ルノデアリマスカラ、國家モ同ジヤウニ教育ニ大キナ資金ヲ支出シナケレバナリマセウカ、戰爭中ハ別トシテ、從來其ノヤウニ行ツテ居ナイノデアリマス、何ト云フテモ一番大切ナコトハ教育デアリマス、ソレニハ先生ヲ優遇スルコト云フコトガ一番大切デアラウト思ヒマス、教員ニハウント大キナ月給ヲ與ヘテ宜イト思ツテ居リマス、之ニハ誰モ反對スル者ガナイノデアリマス、反對シナイノニ、文部省ガ思切ツテ大キナ金ヲ與ヘルコトヲ是マデ議會ニモ提出シテ居ラヌヤウデアリマスガ、是ノコトハ文部省ニウント奮發シテ貰ヒタイト思ヒマス、國民學校ノ教員ナドモ平均月百圓位ヤツタツツソレニ反對スル者ハ私ハ一人モナイト思ヒマス、更ニ國民學校ノ教員デ眞劍ニ長ク其ノ職ニ居リシ者ニ位階勳等ヲ與ヘル途ヲ講ゼラレルコトモ必要デハナイカト思フノデアリマス、殊ニ大東亞戰爭後ハ一層教育、殊ニ國民教育ニ重點ヲ置イテ、其ノ方ニハ思切ツテ費用ヲ出シテ進ムベキデハナイカト考ヘテ居リマスカラ、文部大臣ニハ此ノ際思切ツテ月給ヲ上ゲテ、位階勳等モ他ヨリハ良イモノヲ多クヤツテ貰ヒタイト思フノデアリマス、斯様ナ待遇ヲシテ朝早クカラ夜モ遅クマデ心身ヲ捧ゲテ子弟ノ教育ニ犠牲ニナツテ行クト云フヤウナ考ヘテハ教員ノ人ニ持つテ貰ヘルヤウニ進メテ貰ヒタイト思ツテ居リマス、ソレニ對スル文部大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 只今ノ御話全ク御同感デアリマス、無論教育ト云フヤウナ立場カラ考ヘマスレバ教員ヲドノ位優遇シヨウト誰モ不賛成ハナイト、是ハ教育ノ面カラ考ヘマス、併シナガラ吾々ノ理想トシテ居ル所ガ直グ實現スルコト云フ譯ニハ參ラナイ事情ガ外ニ色々アルノデアリマス、併シ其ノ間ニ處シテ出來ルダケノコトヲ致シタイト考ヘテ居リマス、例ヘバ國民學校ノ教員ノ平均額ト云フモノハ大體百圓少シ上ノ所ヲ狙ツテ居ルノデアリマス、ソレハ今御話ノ通りデアリマス、又精神的ノ問題ニ致シマシテモ目下種々考慮シ方途ヲ研究中デアリマシテ、何カ出來ルダケノコトヲ一ツ實現致サセタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○星委員 最後ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、最近文部省ノ各方面ニ對スル施設ノ進展ニ對シテ敬意ヲ表シテ居リマス、殊ニ橋田文部大臣ガ科學スル心ヲ以テ總テヤツテ來タコトニ對シテハ敬意ヲ表シテ居リマスガ、一ツ茲ニ希望ヲ申シテ置キタイト思ヒマス、今日官廳ニ對シテ、事務アツテ政治ナシト云フ批評ノ聲ガ高イノデアリマス、併シ外ノ官廳ハ直接生産ナリ色々ノ事業ニ關係スルノデアリマスカラ、其ノ事務ニ囚ハレルト云フ弊ガ多イカモ知レマセウカ、併シナガラ文部省ハ外ノ省ニアルヤウナソナ弊ニ陥ラズシテ私行ケル處デアルト思ヒマスカラ、文部省ノ中ニ於テ上ノ考ヘガ下ニ徹底シタイトカ、上ノ考ヘト下ノ考ヘガ違ツタ方向ニ進ムト云フヤウナコトガアルナラバ——又サウ云フ非難モテルノデアリマスカラ、是ハ文部省ハ他ノ省ト違ツテ是正シ得ル役所ト思フノデアリマスカラ、サウ云フコトヲ是正シ、大臣、次官ノ言ハレタ方針ヲラウシテ強化シテ行ケルヨウニ御進行ヲ御願ヒシテ、私ノ質疑ヲ終リマス

○仲井間委員長代理 庄司君

○庄司委員 只今本委員會ニ於テ議題トナツテ居リマス公立學校職員ノ待遇上ノ關係ノ中國民學校教員ノ賞與金、所謂「ポーン」ト云フヤウナ關係ガ從來市町村ノ全額支辨デアツタモノガ、國ノ方ト道府縣ノ方ニ於テソレト、御負擔下サルト云フヤウナコトハ、全國ノ市町村ノ財政ノ上カラモ、洵ニ欣快ニ堪ヘナイコトデアリ、又賞與金等ヲ受ケル所ノ教職員モ非常ニ明朗ナ心境ヲ持ツテ居ルコトト思ヒマス、私ハ端的ニ此ノ點ヲ御伺ヒ申上ゲル次第デアリマス、大體國民學校教員ニハ所謂「ポーン」ト云フモノハ何割位ヲ支給サレル所ノ只今ノ御計畫デアリマスガ、從來市町村ノ國民學校教員諸君ノ年末ノ賞與金或ハ盆前ノ賞與金、サウ云フモノハ極メテ少額デアツタノデアリマス、ソレハ御承知ノ通り市町村ノ支辨デアリマスガ故ニ、市町村ノ財政關係上中々思フヤウナ捧物ガ出來得ナカツタノデアリマス、全國平均ハ約十割位、即チ俸給ノ約一箇月分程度ノ賞與金ト云フモノガ大體ニ於テ出テ居リマシタ、六大都市ノヤウナ方面ノコトハ分リマセウカ、大體町村關係ニ於テハ約十割、然ルニ他ノ諸官廳ニ於テハ或ハ二十五割或ハ三十割、或ハ色んな委員トカ幹事トカノ關係ヲ加ヘルト云フト、約六十割出テ居ルオ役所モアル、ソコデ參考ノ爲ニ御伺ヒ申上ゲテ置キタイトハ、國民學校教職員ノ賞與金ト云フモノハ、大體下ノ程度御出シ下サル所ノ只今ノ御豫定デアリカト云フコトヲ御伺ヒ申上ゲタイト思ヒマス、委員長ト時間ノ御約束モゴザイマスノデ、一問一答ノ形式デナク、青年學校

關係ノ問題ニ付テ御伺ヒシタイ三、四ノ點ヲ大體表題ダケ申上ダマシテ簡單ナ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、全國ノ青少年ヲ教育スル所ノ青年學校ガ昭和十四年ヨリ義務制ガ施行サレマシテ、本年ニ於テ滿四箇年ヲ迎ヘマシタヤウナ次第デアリマス、是等青年學校ノ生徒諸君ハ大體中等學校以上ニ進學シ能ハナイ多クハ其ノ家庭ガ中産階級以下デアリマシテ、農漁山村ニ於テ或ハ都會ニ於テ、經濟的ニ恵マレテ居リマセヌ所ノ家庭ノ子弟ガ收容サレテ居ル學校デアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、即チ勤勞青少年、産業戰士、サウ云フ諸君ガ大部分收容サレテ居ル學校デアリマス、ソコデ此ノ青年學校ト云フモノヲ最モ完成サレテ青年學校ニシナケレバナラナイ、青年學校ノ生徒諸君ニハ完成教育ヲ與ヘナケレバナラナイ、皇國ノ道ニ則ツタ所ノ立派ナ 天皇歸一ノ教育ヲ施行カケレバナラナイ、其ノコトハ御當局ニ於カレマシテモ、既ニ學則ノ上ニ於テ表現サレテ居ル通りデアリマス、然ラバ此ノ青年學校ヨリ完成ナルモノニスル爲ニハ如何ナル方法、如何ナル運営、如何ナル機構ノ下ニ立派ナ青年學校ト云フモノヲ創造シテ行カケレバナラナイカト云フコトニ付テハ、文部御當局ニ於テモ日夜御苦心ヲナサレテ居ルコトデアアルト思フノデアリマス、質問者ノ私自身モ、過去十年ノ間青年教育ノ爲ニ微力ナガラ熱心ニ地方ニ於テモ或ハ中央ニ於テモ微力ヲ捧ゲテ參リマシタ、端的ニ御伺ヒ申上ダゲタイ要點ハ、此ノ青年學校ヨリ良キ立派ナ優秀ナ理想的ナ青年學校教育機關ヲラシムル爲ニハ、ドウシナケレバナラナイカ、其ノ一ツノ方法ハ、

青年學校生徒用ノ國定教科書ヲ國民學校ノ國定教科書同様ニ編纂ヲサレテ、極メテ格安ニ、之ヲ各學校ヲ通シテ生徒諸君ニ配給スルコトデアリマス、餘リ演説ガマシク諄イコトハ申上ダマセヌガ、御承知ノ通り、現在ハモウ青年學校ノ教科書ハバラ／＼ニナツテ居ル、唯文部省ノ認定ガアリマスルカラ、立派ナ教科書ニハ違ヒアリマセヌケレドモ、之ヲ統制シテ文部省ニ於テ編纂ヲシテ國定教科書トシテ各青年學校ニ御配給ヲ願ヒタイモノデアアル、其ノ御用意御所見ガ如何デアアルコト云フ御伺ヒデアリマス

第二ハ青年學校ノ卒業生ニ對シテ一定ノ資格ヲ御與ヘニナル、例ヘバ更ニ希望者ガアツタ場合ハ、師範專門學校或ハ青年學校教員ヲ養成スル新シイ御計畫ノ專門學校等ニ進學シ能フ所ノ受験上ノ資格或ハ陸海軍ノ幹部タリ得ル所ノ資格、判任文官タリ得ル所ノ資格、サウ云フ資格ヲ青年學校ノ卒業生ニ付與シテ戴クコトニ依ツテ、青年學校ノ生徒ハ前途ニ多大ナル光明ヲ希望ヲ持ツノデアリマス、サウ云フ希望ト光明ヲ持ツノデアリマス、其ノ教育教養ニ勤シム勵マシムルト云フコトガ、教育上ノ私ハ理想デアアルト考ヘテ居ルノデアリマス、五箇年間ノ滿十九歳マデノ教育ニ於テ、或ル專門ノ學科ニ付キマシテハ、所謂中等學校ノ卒業生諸君ヨリ非常ニ劣ツテ居ル學科モゴザイマスケレドモ、大體ニ於テ國民學校卒業後ニ於テ五箇年間ノ教育ヲ受ケル所ノ只今ノ青年學校ノ義務制下ニ於テハ、中等學校卒業者ト稍、同等ノ學力ヲ有シ得ルモノデアルト私ハ考ヘテ居リマス、是等ノ卒業生ニ前途ノ光明ヲ與ヘル所ノ資格ヲ付與サル御者ヘガアルカナイカ、願ハクバ左様ニシテ欲シイト云フ信念ノ上カラ御伺ヒ申上ダマス

ソレカラ青年學校ノ專任教長或ハ專任教員ヲモツト殖ヤシテ戴キタイ、御承知ノ通り現在青年學校ノ專任教長ハ全國約二萬ノ青年學校長ニ於テ僅カニ一千二百人ダケデアリマス、又專任教員ハ僅カニ約三萬人デアリ、囑託約二十萬、合計二十三萬ノ青年學校教員ノ中、專任ノ教員ハ僅カニ三萬二千程度デゴザイマスルカラ、一校平均二名ニナツテ居リマセヌ、一・六位ノ程度デアルヤウニ私ハ覺エテ居リマスルガ、專任教員ヲモツト殖ヤシテ戴キタイ、其ノ爲ニハドウシナケレバナラナイカ、青年學校教員養成所ト云フモノガ、現在ノ府縣ノ師範學校ノ片隅ノ方ニ所謂伴食的ニ居候的ニ存在シテ居ル今ノヤウナ状態デアツテハイカナイ、速カニ青年學校教員ヲ養成スル所ノ官立師範專門學校同様ナモノヲ御設置ヲ戴イテ、教員ノ教養ノ上ニ於テ數ニ於テ大々的ノ募集ヲサレテ專任ノ教員ヲ殖ヤシテ戴キタイ、是等ニ對スル御當局ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

最後ニ昭和十四年ニ於テ荒木文部大臣ノ時代ニ青年學校ガ義務制ヲ施行サレマシテ、其ノ場合ニ於テ制定サレマシタル青年學校國庫補助法ト云フ法律、アノ法律ヲ速カニ改正ノ御提案ヲ戴イテ、國民學校同様ニ青年學校教育費ノ國庫負擔法ヲ御制定ヲ御願ヒ申上ダゲタイノデアリマス、私ハ此ノコトハ過去ニ於テモ、本會議ニ於テ三回、委員會等ニ於テモ數回、熱心ニ御當局ニ御要請ヲ申上ダゲテ居ツタノデゴザイマスルガ、現在全國二萬ノ青年學校——三百萬人ノ生徒ヲ收容シテ居ル公立ノ青年學校約二萬、其ノ一箇年ノ教育費ノ概算ハ、文部御當局ガ能ク御承知ノヤウニ、約四千五百萬圓デアリマス、

本年度ハ恐ラク五千萬圓ニ近イ所ノ教育費ヲ要スルデアラウト思フノデアリマス、然ルニ文部御當局ニ於カレテハ、年々補助法ニ依ツテ補助額ハ成程増額サレテ居リマス、昨年ノ八百二十五萬圓ニ對シテ、本年ハ御提出ノ豫算ニ依ルト九百四十九萬圓、即チ百二十三萬圓前年度ニ比較シテ増額デアリマス、前々年度ノ六百五十萬圓ト比較致シマスルト、約三百萬圓ノ増額ニ相成ツテ居リマス、然ルニ只今申上ダゲタヤウニ、全國一萬一千ノ市町村、二萬ノ公立青年學校ノ教育費一箇年最少限度ガ四千五百萬圓、即チ十八年度ノ概算ニ於テ約五千萬圓デアリマス、然ルニ文部省ガ補助法ニ依ツテ町村ニ補助下サル所ノ額ハ、只今申上ダゲタヤウノ九百四十九萬圓デアアル、約一千万圓近イ經費デゴザイマスルガ、ソレデモ青年學校ノ教育費ノ約五分ノ一ニシカ該當シナイコトハ一目瞭然デゴザイマス、即チ現在ハ青年學校ノ職員ノ俸給費ノ大體三分ノ一程度ノ、補助法ニ依ル補助ヲ市町村ニ御交付下サツテ居ルノデアリマス、此ノ爲ニ全國ノ市町村ノ青年學校教育費ノ捻出ノ惱ミト云フモノハ、町村財政ノ上ニ於テ洵ニ困難ヲ來シテ居リマス、先月ノ末ニ、全國ノ市町村長會ノ總會ガ行ハレマシタガ、其ノ總會ニ於テモ國民學校同様ニ、速カニ青年學校ノ教育費ハ、全額國庫ノ負擔ヲ實現シタイト云フコトガ協議事項ニ於テ決議サレマシタ、何トカハ文部御當局ニ於テ御英斷ヲ以テ御解決ヲ願ヒタイ問題デアリマス、御承知ノ通り、町村ノ財政上ノ收入ハ、町村民稅ガ一戸平均四圓デゴザイマス、私ハ多年二千戸ノ町ノ町長ヲ勤メテ居リマスルガ、私ノ町ノ財政カラ言ヒマス、町村民ノ稅ハ約

第六類第七號 公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案外一件委員會會議錄 第三回 昭和十八年二月三日

一五

一万圓シカ取レナイ、一万圓ノ町村民稅ヲ徵收シテ、青年學校ニ其ノ半額五千圓ヲ投ジテ、其ノ五千圓ノ中、前年度ノ御國ノ方ノ補助ハ七百五十圓デアアル、是デハ到底立派ナ青年教育ハ出來ナイ、專任教員ハ私ノ町ノ學校ニ於テハ四名、男女青年學校生徒約三百五十名デゴザイマス、五千圓ヲ要スルノニ七百五十圓ノ國庫補助金ヲ頂戴シテ、ドウシテ青年教育ヲ完成シテ行クコトガ出來ルデアラウカ、仕方ガゴザイマセスカラ、最下部ノ町ノ教育會、外ニ青年學校後援會ト云フ會ヲ作りマシテ、一箇年約一千五百圓程ハ町教育會ト云フ極メテ財政力ノ薄弱ナ會デアリマスガ、是デ補助スル、又青年學校後援會ト云フ俄力作りノ會ヲ作りマシテ、青年教育ニ理解アル町民ヲ會員トシテ、一箇年一人當リ一、二圓ノ會費ヲ頂戴シテ、青年學校教育費ヲ賄ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス全國三百萬人ノ生徒ヲ有シテ居ル青年學校ノ生徒一人當リノ國ノ補助ハ——本年度ノ九百四十九萬圓ノ御補助ノ場合ニ於テハ僅カニ二圓デゴザイマス、是ト比較スルコトガ當ルカ、當ラナイカハ別問題トシテ、帝國大學ノ學生一箇年一人當リ文部省支辨ノ教育費ハ一千四、五百圓デアアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、高等學校、專門學校生徒一人當リ一箇年ノ教育費ハ約一千圓デアアルコトハ、文部當局能ク御承知ノ通りデアアル、道府縣ノ公立中等學校生徒一人當リノ教育費ハ約八十五圓デアアルコトモ能ク御承知ノ通りデアアル、全國ノ國民學校ニ對スル所ノ國家ノ負擔法ニ依ル所ノ御負擔ハ約一億二千萬圓デアアルコトハ能ク御當局モ御承知ノ通りデアアル、然ルニ口ニハ青年教育ノ重大性ヲ說キ、大東

亞戰爭ノ此ノ時局下ニ於テ、又將來ノ大東亞共榮圈建設ノ上ニ於テ青年教育ノ重大性ヲ口ニハサレテ居ルケレドモ、政府ニ於カレマシテ青年教育ノ爲ニ支辨サレテ居ル所ノ教育費ハ、驚ク勿レ生徒一人當リノ計算ニ於テ約三圓デゴザイマス、此ノ青年學校ノ生徒ハ前申上ゲタ通り家庭ノ經濟ニ於テ惠マレテ居リマセヌ、中學校、高等學校、大學等々ニハ到底進學シ能ハヌ所ノ、多クハ貧シイ家庭ノ子弟デアアル、即チソレ等ニ取ツテハ最後ノ學校デアリマス、國民學校卒業後ニ於テ最後ニ學ブ所ノ學ビノ庭デアアル、此ノ教育ニ於テ一人一箇年補助額ガ年々増加シタリト雖モ、未ダニ約三圓ノ補助金、ソレモ生徒ニ對スル補助デハアリマセヌ、專任教員、囑託教員ニ對スル人件費ノ補助デアアル、斯クノ如キ補助額ハ、青年學校經營ヲ直接文部大臣ヨリ御委任ヲ受ケテ居ル管理者トシテノ全國ノ町村長ニ取ツテハ洵ニ迷惑千萬デアリマス、町村長ハ能ク青年教育ノ重大性ヲ理解シテ、御協力申上ゲテ居ルノデアリマスケレドモ、速カニ國民學校負擔法ト同様ニ、青年學校教育費國庫補助法ト云フモノヲ一ツ御廢止下サイマシテ、少クトモ來年ハ、青年學校義務制施行五周年ヲ記念ト致シマシテ、此ノ負擔法ノ御提出ヲ願ヒマス、私ハ此ノ機會ニ俄カニト云フコトハ無理ナコトハ承知シテ居リマス、ドウカ速カニ御調査或ハ大藏省方面ニモ御對策ヲ講ジテ戴キマシテ、國民學校國庫負擔法ト同様ニ負擔法ノ下ニ、少クトモ現在ノ青年學校ノ教職員ノ俸給費約三千万圓ハ、直接國ニ於テ、或ハ道府縣ト御相談ノ上、其ノ分擔金ヲ御決メ下サイマシテ、國庫ノ負擔法ニ改メテ戴キタイ、此ノ事ガ成功セズンバ、

如何ニ口ニ青年教育ノ重大性ヲ說キ、立派ナ青年教育ヲ施シタイト云フ信念ヲ精神的ニ持ツテ居リマシテモ、市町村ノ財政ガ、到底此ノ青年教育、青年學校方面ニノミ之ヲ支辨スルコトガ出來得ナイ現在ノ町村ノ實情デアリマス、今申上ゲタヤウニ、稅ノ收入ハ一戸平均四圓デアアル、二千戸ノ町ニ於テハ約一萬圓ニシカナラナイ、アトハ政府ノ配付稅ニ於テ賄フヨリ外方法ガナイノデアリマスカラ、教育ニ對シテ深イ御理解ト御信念ヲ持タシテ居ル文部大臣ニ於カレマシテハ、現在ノ補助法ト云フモノハ成程町村ニ對シテエライ財政上ノ迷惑ヲ掛ケテ居ル、又青年教育ヲ理想的ニ完成スル所以デハナイト云フ此ノ御信念ヲ以テ、速カニ國庫負擔法ヲ御提出アラシテコトヲ要望シテ已マナイ次第デアリマス

以上三、四ノ點ニ付テ簡單デ宜シウゴザイマスカラ、御答辯アラシテコトヲ御願ヒ申上ゲマス

○橋田國務大臣 青年學校教育充實刷新ニ付キマシテノ色々御意見、洵ニ御同感ニ存ズルノデアリマス、國定教科書ノ編纂ハ既ニ一部行ツテ居リマスガ、是ハ漸次擴充致シマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト思フノデアリマス、又卒業生ノ資格ニ付キマシテモ目下考究ヲ致シテ居リマシテ、青年學校ノ内容等ニ付テノ刷新ヲ致シマシテ、兎ニ角大多數ノ日本ノ青年ヲ教育致シマスル青年學校ノ建前ニ於テモ、青年學校ノ卒業生ガ國家ニ對シテ重要ナルモノデアアルコトノ意味ガ具體的ニ現ハレルヤウニ一ツ考慮シタイト思ツテ居ルノデアリマス、又專任教員、專任教員ノ増加ヲ念願トシテ居ルコトモ、是亦御說ノ通りデアリマスガ、

同時ニ教育養成所ノ改善ヲ行フコトモ必要デアリマシテ、是ハ既ニ今年度中ニハ案ヲ得テ、十九年度ヨリハ青年學校教員養成所ノ刷新向上ヲ是非トモ實現シタイト固ク決心シテ居リマス、青年學校ノ國庫補助法ノ問題ニ付キマシテハ、是亦出來ルダケ早ク義務教育費ノ國庫負擔法ト同様ナ趣旨ノモノニ致シタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマスルガ、マダ義務教育完成ト云フ點ニ達シナイ所ニ色々事務上ノ難點ガアルヤウデゴザイマスルガ、併シ明年年度ニ於キマシテ青年學校教員ノ養成ノ問題モ解決ヲシ、又青年學校自體ノ内容ノ刷新向上ト云フヤウナコトヲ圖リマス際ニハ、是ハ是非トモ考ヘナケレバナラヌ問題デアアルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ十分私ノ力ヲ致シタイト考ヘテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○菊池(豐)政府委員 第一ノ點ニ付キマシテ御質疑ノ國民學校職員賞與ノコトニ付テ御答ヲ申上ゲマス、是ハ昭和十七年度ノ推定デゴザイマスガ、大凡十一割ノ見當ニナツテ居リマス、是ハ十八年度ニ於キマシテハ凡ソ二十割ノ程度ニ致シタイト云フ考ヘテ持ツテ居リマス

○仲井間委員長代理 ソレデハ午前中ハ此ノ程度デ済マセマシテ、午後一時カラ開會スルコトニシ、ソレマデ休憩致シマス

午後零時二分休憩

午後一時十五分開議

○松岡委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ續行致シマス——中村君

○中村(梅)委員 私ハ國民指導ト教育トノ關係ニ付テ、文部大臣ト情報局長トノ所感ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、先ヅ極ク簡單ニ

私ノ感想ヲ述ベマシテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、實ハ先達テ戰力増強議員奉公隊デ各工場ナドヲ廻ツタノデゴザイマスガ、其ノ時ニ某工場ニ參リマシタ所ガ、其ノ工場ノ工場長ガ本當ニ實感ヲ話サレル所ニ依リマス、新タニ入ツタ青年職工ナドハ、是ハ徵用工デアルト否トニ拘ラズ何トカ鍊成ヲシテ、サウシテ國家意識ヲ十分ニ持タシテ生産ニ專念從事サセルノニ比較的樂デア、所ガ其ノ工場ノ中堅トモ言フベキ班長トカ職長トカ、ズツト古クカラ居ルヤウナ人達ノ頭ノ根本的ニ變ヘサセルト云フコトハ實ニ困難デア、ソコデ工場經營全體ヲ通ジテ見ルト、若イ入リタテノ下ノ方面ハ徹底的ニ國家意識ヲ十分ニ持タシテヤラサレルガ、其ノ上ノ指導ノ立場ニ立ツ班長、職長トノ調整ヲ圖ツテ、工場全體ノ運営ヲシナケレバイカス、茲ニ私共ノ惱ミガアリマスト云フコトヲ熱申サレマシタ、私ハ見方ニ依ツテハ是ハ一ツノ社會ノ縮圖デア、カノ如キ感ジテ實ハ抱イタノデアリマス、隨テ目下情報局ニ於カレマシテ國民指導ノ任ニ當ラレテ居ル上ニ、如何ニ御苦心ガアルカト云フコトハ御察シ出來ルノデアリマス、所謂既成ノ人物、吾々ノ年輩、或ハソレ以上ノ人達、斯ウ云フ全體ノ國民ニ向ツテ完全ナ國民指導ヲシテ行クト云フコトニ付テハ、非常ナ御苦心ガアル、是等ノ指導方針ニ付テモ伺ヒタイノデアリマスガ、同時ニ私共ノ自分ノ體驗カラ言ヒマス、子供ノ時代、又學窓ニ學ンデ居ル時代ニ印象ツケラレタ事柄ト云フモノハ、是ハ一生拔ケナイ、ソコデ私ハ國民指導ノ上カラ見マシテ、國民學校ニ、中等學校ニ、專門學校ニ、是等ノ學窓ニ學ンデ居ル青年、少年ノ國民ニ向ツテ

ノ國民指導ノ徹底ヲ期スル必要ガアルト思フノデアリマス、情報局デハ隨分面部廣ク大童ニナツテ御骨折ヲサレテ居ツテ、殊ニ奧村次長ノ大童ヲ御奮闘ニ對シテハ吾々感謝シテ居ルノデアリマスガ、動モスレバ私ノ感ジカラ言ヒマス、國民指導ノ上ニ出版物ナドニ付テモ、是ハイケナイ、アレハイケナイト云フ、建設ノ方面ニ相當力ガ——大部分ノ力ト云ツテ宜シイガ——入り過ぎテ、積極的ニ此處ヘ力入ラシラ宜イト思フ方面ニ、缺ケテ居ルヤウナ感ジガ致スノデアリマス、其ノ一事例ト致シマシテハ、今申シマシタ學窓ニ學ンデ居ル少年、青年ニ對スル國民指導ノ徹底デアリマス、是等ノ點カラ考ヘマス、私ハ教科書編纂ノ上ニ於テモ文部當局ニ於カレテ、教科書ニ盛込シテ差支ナイ程度ニ於テハ、十分生キタ事實ヲ織込シテ行クト云フコトガ必要デアラウ、現ニオヤリニナツテ居リマセウガ、モツト此ノ點ニ付テハ十分力入ラレテオヤリニナル必要ガアルト云フ考ヘテ持ツテ居リマス、ト同時ニ教科書ニハ露骨ト云フカ、生キタ事實ノ織込ミ方ト云フモノハ非常ニ難カシイト思ヒマス、ソコデ教鞭ヲ執ル國民學校ノ教員、或ハ中等學校ノ教員、或ハ專門學校ノ教員、是等ノ教職ニ在ル人達ニ對シテ私ハ情報局トシテ國民思想ヲ徹底セシムベキ生キタ事實、生キタ事例ヲ收録シ、或ハ又斯クノ如キ決戰連續ノ大戰爭ヲ續ケテ居ル今日ニ於キマシテハ、米英ニ對スル敵愾心ト云ヒマスガ、本當ニ心ノ底カラ全身ノ血ガ湧キ立ツテ、ドウシテモ叩キ潰サナケレバイカス、ドウシテモ聖戰ノ目的ヲ完遂セネバ已マスト云フヤウナ敵愾心ヲ湧キ立タセルヤウニ、然ルベク生キタ事

實ヲ幾多收録シテ、或ハ第一線ノ將兵ノ戰鬪ノ涙グマシイ、現ニ「ソロモン」ニ於テ「ガダルカナル」ニ於テ御奮闘サレテ居ルヤウナ點、戰鬪ノ關係デモ宜シウゴザイマスガ、其ノ他凡ユル生キタ事實ヲ十分力ヲ注イデ收録ヲサレテ、其ノ程度ノモノハ經費モ掛リマセウガ、情報局カラ教職ニ在ル人ノ手許ニ送届ケテヤル、其ノ人達ハ常時ソレニ眼ヲ通シテ居ツテ、斷片的デ宜シイカラ何カノ言葉ノ序ニハ、子供ノ前、生徒ノ前、此ノ學窓ニ在ル人達ノ頭ノ中ニソレヲ注込シテ行ク、之ヲ徹底サシタナラバ、私ハ他ノ事ヲヤルヨリモ餘程國民思想ノ上ニ裨益スル所大ナルモノガアルト信ズルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テ文部大臣及ビ情報局長カラ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○橋田國務大臣 國民指導ガ教育ニ及ボス影響ノ重大ナルコトハ申スマデモナイ所デアリマス、尙又社會機構、殊ニ今例ヲ以テ御示シナリマシタ工場内ノ機構等、或ハ狀況等ガ青少年ニ及ボス教育ノ效果ト云フモノハ實ニ重大ナルモノガアルト思フノデアリマスガ、單ニ教育ノ面カラ考ヘマス、折角學校デ巧ク育ツタ者ガサウ云フ所ニ入ツテ來ルト早速ニ惡化サレルト云フヤウナ憂ガアリハシナイカト云フコトスラ心配シテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテ從來ノ從業員、殊ニ勞働階級ノ如キ人ニ對シテ眞ノ國民的立場ヲ會得サセルト云フコトガ必要デアリマス、同時ニ、又只今御話ニアリマシタ通り非常ニ困難デア、ルコトモ推察スルニ難クナイノデアリマス、ソレト同様ナ意味ニ於キマシテ學校教育ニ於テ最モ重要ナルコトハ教員自身ノ眞ニ時局下ニ於ケル教育ト云フモノニ付テノ認識ガ全キヤ否ヤト云フコトニ問題ガ展開シテ來ルノデアリマス、幸ヒニ國民學校ノ教員諸君ニ於キマシテハ、此ノ點ハ最モ吾々ノ關心ヲ持ツ所デアリマスガ、最モ都合好ク來テ居ル部面ダト思ヒマス、併シナガラ是ガ無論十分デアルト云フコトニハ行カナ、何處マデモ其ノ上ノト良キ方ヘ進シテ行クコトヲ無論吾々ハ希望スルノデアリマス、先程モ申シタノデアリマスガ、此ノ時局下コソハ眞ニ國體ノ本義ニ徹シ、肇國ノ大精神ヲ體得シテ、東亞ノ指導者タルベキ者ヲ育成スル氣持ヲ少クトモ體現ヲスルコトガ出來ル重大ナル時機デアリマスカラ、此ノ時機ニ學校教員自身ガ眞ニ將來ノ國家ヲ擔フベキ青少年ヲ如何ニ訓練スベキカト云フコトヲ、自己ノ心身ニ十分ニ體得シテ欲シイノデアリマス、十分ト云フ譯ニハ參ラヌカモ知レマセウガ、既ニ此ノ事變以來殊ニ大東亞戰爭勃發以來其ノ點ハ餘程吾々ノ望シテ居ル方ニ近付イテ來テ居ルト思ヒマス、ケレドモ、マダ——眞ニ時局ノ認識ト云フ事柄ハ唯職員ナドガ自ら爲サント欲セズ爲セナイノデハナクシテ、只今仰セニナリマシタヤウ十分ナル材料ヲ持タナイ、又或ル意味ニ於テハ與ヘラレナイ材料モアルト云フヤウナ點カラ、時局ノ認識ニ缺クル所アル事柄ハ否ミ難イ點デハナカラウカト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ出來ルダケ材料ヲ彼等ニ與ヘマシテ、而モ自分ノ直接ナル體驗ト兼加ヘテ教育者自ラガ眞ニ時局ノ要請ニ即應スル、自己ノ體得、又實踐力ヲ把握スルヤウニ致サセタイト云フコトハ御説ノ通りデアリマシテ、將來ニ向ヒマシテ十分ニ力ヲ致シタイト思フ

テ居ルノデアリマス、殊ニ最近編纂致シマ
スル教科書等ニ就キマシテハ、出來ルダケ
其ノ點ヲ考慮致シテ居ルノデアリマシテ、
無論教科書ノ編纂モ完璧ヲ期スル譯ニ參リ
マセスケレドモ、例ヘバ青年學校等ノ修身
公民ト云フヤウナ書物ナドニ於キマシテモ
從來トハ面目ヲ一新シタ、現時局下ノ認識
ヲ與ヘル上ニ相當ナカク致シテ居ルヤウナ
次第デアリマス、無論教科書ノ編纂等ニ於
キマシテハ教科書ノ性質ト致シマシテ、例
ヘバ新シキ生キタ事實ヲ盛ルニシマシテモ、
絶エズ時世カラ遅レルト云レ憾ミガアルノデ
アリマスカラ、一面ニ於キマシテ其ノ點モ
只今御話ノヤウナコトヲ行ヒマシテ、教科
書ト相俟ツテ時局認識ガ出來ルダケ確實ニ
又出來ルダケ深刻ニ出來ルヤウナ方途ヲ講
ジタイト考ヘマス

○農村政府委員 文部大臣カラ御答辯ニナ
リマシタコトデ一應盡キテ居リマスガ、御
指名デアリマスカラ情報局ノ所管ト致シマ
シテ申上ゲマス、中村サンノ御意見ノヤウ
ニ戰爭下ニ於キマシテ一億國民ガ國ノ爲ニ
殉ズルノ決意ヲ以テ其ノ職域ニ奉公スルコ
トガ極メテ重大デアルコトハ言フマデモナ
イノデゴザイマス、ソレニ付キマシテ國策
遂行ノ基礎タルベキ情報、宣傳、啓發ノ任
ニ當ツテ居リマス情報局ト致シマシテハ、
御指摘ノヤウナ責任ヲ持ツテ居リマスコト
ハ、重々常ニ痛感致シテ微力ヲ盡シテ居ル
ノデアリマス、日本ノ政治、經濟、文化、
娛樂、總テガ戰爭完遂ト云フコトヲ中心ト
シテヤラナケレバナラス、又ヤラレテ居ル
コトガ當然デゴザイマスガ、左様ナ意味ニ
於キマシテ、御指摘ノヤウニ、情報局ノ擔當ス
ル所謂輿論指導カラ始マツテ新聞、「ラジオ」、

映畫、紙芝居、文學、評論、其ノ他凡ユル文化
的、思想的、精神的方面ヲ管掌スル事業ニ於
キマシテ最モ活潑ニヤラナケレバナラスコト
ハ御指摘ノ通りデアリマスシ、特ニ又其ノ中
デモ役所ガ從來ノヤウナ御指摘ノ所謂檢閲
方面ニ力ヲ入レ過ギテ居ヤシナイカ、モット
積極的方面ニ力ヲ入レルベキデハナイカト
云フコトニ付キマシテモ全ク同感デゴザイマ
ス、又此ノ機會ニ諒解ヲ得タイト思ヒマス
コトハ、從來政府ハ内務省ニ於テ警察權ニ依
ツテ公安ニ害アルモノ、風俗ニ害アルモノ
ハ取締ルト云フコトデゴザイマシタガ、積
極的ニ政府ノ意圖、國策ヲ遂行ニ協力スル
ヤウナ指導ハ支那事變前マデハ御案内ノヤ
ウニ殆ドナカツタノデアリマス、ソレガサウ
云フコトデハイケナイ、消極的ニ害ガナイ
ト云フヤウナコトデハイケナイ、積極的デ
ナケレバナラスト云フヤウナ、御意見ノヤ
ウナ方途ニ基キマシテ情報局モ出來タ譯デ
アリマス、實ハ聊カ微力ヲ盡シテ居ルノデ
アリマス、ソコデ此ノ積極面ノ協カト云フ
モノモ中々一般ニハ分リニクク、御認メガ
得ラレニクイノデアリマス、又役所ト致シ
マシテ、情報局デ斯ウ云フ思想指導ヲヤツ
テ居ルノダト云フコトヲ言ヒマスコト自身
ハ、又其ノ目的トスル所トモ反スル譯デゴ
ザイマスノデ、主トシテサウ云フコトガ分
ラズニヤツテ居ル所ニ非常ナ苦心ガアル譯
デアリマス、ソコデ御指摘ニナリマシタ産
業戰士ニ致シマシテモ、非常ナ勤勞ヲシテ、慰
安ト云フモノモ亦勤勞ノ糧トシテ必要デゴ
ザイマス、働イテ歸ツテ來タ職工ニ又説教
ヲ始メテモ、職工必ズシモ歡迎致シマセ
ヌ、併シ其ノ敢闘精神ナリ職域奉公ノ精神
ヲ盛リ上ラセル爲ニハ、御説ノヤウニムヅ

カシイ論説ヲ講演以外ニ、所謂慰安ト云フ
面カラモ之ヲ考ヘナケレバナラスト云フ點
ニ着眼致シマシテ、色々努メテ居ルノデゴ
ザイマス、其ノ一ツハ、特ニサウ云フコト
ニ御關心ノアル中村サンデゴザイマスカラ
能ク御承知デアリマセウガ、所謂産業戰士
ナリ農村ノ人々、或ハ又教職ニアル方々ニ
本當ノ意味ノ慰安ヲ與ヘル、或ハ娛樂ヲ與
ヘルト云フコトモ亦必要ダト云フ點カラ、
情報局デ斡旋致シマシテ、最近移動演劇團
ヲ作ツテ居ルノデアリマス、是ハ從來演劇
ガ都會ニ集中シテ居ル、或ハ富裕階級ノ專
有物デアツタト云フ點ヲ開放シテ、農村ニ
於テモ、又貧シイ人々ニ於テモ、此ノ演劇
ト云フモノヲ所有セシメルト云フ點カラ色
色ト役所デ協力ヲ求メ、又劇團カラモ非常
ニ協力ヲ得テヤツテ居ルノデアリマス、即
チ幸四郎トカ水谷トカ、斯ウ云フ人々ガ自
分ノ仕事トシテヤツテ居ル以外ニ、役所ト
シテト言ヒマスガ、一週間ナリ二週間ヲ國
家ニ提供スルノデアリマス、サウシテ情報
局ノ計畫ニ基キマシテ各方面、各職場或ハ
各地方ニ演劇ニ行ツテ呉レルノデアリマス、
非常ニ獻身的ニヤツテ貫ツテ居リマス、又
其ノ時ニドウ云フモノヲヤルカト云フ出シ
物ガ非常ニ問題デゴザイマスガ、其ノ點モ
單ナル享樂ニ墮スルト云フコトハ全然避ケ
テ、本當ノ御奉公、緣ノ下ノ力持ト云フコ
トガ如何ニ國家ニ寄與シテ居ルカト云フコ
トヲ分ラセル意味ニ於テ非常ニ努力致シマ
シテ、昨年ノ——十七年一箇年間ニ於テ約
二千回、方々サウ云フ演劇ヲ致シマシ
タ、サウシテ三百万ノ人間ガソレヲ觀タノ
デアリマス、此ノ職工ナリ田舎ノ人々ハ非
常ニ感激ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、一

ツノ例ヲ申上ゲマス、日立ノ鐵工所ニ羽
左衛門其ノ他ガ演劇ニ參リマシタ時ハ、皆
國民服デ規律ヲ以テ「トラック」ニ乗ツテ行
キマスガサウ云フ所デ職工ノ幹部ト、職工
ト皆デ舞臺ヲ作ツテヤルト云フヤウナ非常
ニ美ハシイ光景ガアルノデアリマス、ソレ
デ出シ物ガ今申上ゲマシタヤウナモノデア
リマスカラ、非常ニ感激シテ居ル、而モ國
ガソコマデ面倒ヲ見テ呉レルト云フコトニ
非常ニ感謝シテ居ルト云フコトモアリマシ
テ、御指摘ノヤウナコトガ一部實現致シテ
居ルノデアリマス、尙ホ此ノ點ハ非常ニ效
果ガ舉リマシタノデ、最近約二週間前ニ之
ヲ社團法人ニ致シマシテ、サウシテ數十方
圓ノ經費、國家的計畫ノ下ニ凡ユル準備ヲ
進メテ居ル譯デアリマス、之ニ付キマシテ
ハ御意見ノヤウナ點ヲ十分取入レマシテ、
犧牲的精神ナリ緣ノ下ノ力持ト云フモノガ
自然ニ認メラレルヤウナ意味ニ於テ努力シ
タイト思ヒマス

尙ホ積極的指導ニ付テデゴザイマスガ、
例ヘバ日本人ノ二億ノ人間ガ——一億ノ人
口デ二億ノ人間ガ毎年映畫ヲ見ルノデアリ
マス、其ノ二億人ノ見ル所ノ映畫ノ内容ト
云フモノガ、是亦御指摘ノヤウニ非常ニ重
大ナ關係ヲ及ボシマスノデ、從來ノヤウニ唯
風俗上面白クナイトカト云フコトタケデハ
不十分デゴザイマスノデ、餘リ露骨デナイ
ヤウニ、自然ニ愛國心ガ起ルヤウニ、又犧
牲心ガ起ルヤウナ方向ニ相當指導ヲ致シテ
居ルノデアリマス、ソレガ爲ニハ其ノ筋書
ヲ書替ヘルト云フコトモ好マシクゴザイマ
セヌノデ、能ク定例的ニ情報局ト會見シテ
今デハ敵愾心ヲ起サセルニハ斯ウ云フ材料
ガアルト云フコトモ教ヘテヤリ、又色々希

望ヲ述べ、向フノ意見ヲ聽イテ話合ツテヤ
ツテ居リマス、ソレガ最近色々現ハレテ居
ルノデアリマス、最近日本人ガ非常ナ興味ヲ
持ツテ觀タ「ハワイマレー沖海戦」ニ致シマ
シテモ、其ノ他最近色々出ル映画ハ、必ズシモ
所謂國策ト銘ヲ打タナイ、マデモ、色々影
響ヲ與ヘテ居ルノデアリマシテ、是ハヤハ
リ陸海軍モ同様デゴザイマスガ、政府ノ相
當ナ指導ノ結果デアルコトモ御諒解ヲ願ヒ
タイト思フノデアリマス、尙又サウシタ映
畫トカ演劇ヲ獎勵致シマスル爲ニ、情報局
總裁賞ト云フモノヲ設定致シマシテ、サウ
云フ立派ナ、只藝術的デナクテ、國家的國
策的ニ立派ナ映画ニ付テハ推獎スルト云フ
方法ヲ執ツテ、相當積極的ニ致シテ居ルコ
トモ、御諒解願ヒタイト思ヒマス、尙ホ文
學其ノ他モヤハリ非常ナ影響ガゴザイマス
ノデ、是モ從來ノ個人的自由主義的ナ文
學デナクテ、本當ニ國家的文學タルベク文
學報國會ト云フモノヲ、是亦色々斡旋致シ
マシテ、文部省内務省ナドトモ連絡ヲ致シ
テ、國策ニ役立テルヤウニ致シテ居リマス
尙ホ最後ノ御意見ノ教職ニ在ル人々ニ對
スル生キタ事例ノ集録ヲ配ツタラドウカ、
敵愾心ヲ旺盛ナラシムル爲ニモ、出征兵士
ノ非常ニ立派ナ犧牲的行爲ニ付テ御紹介シ
タラドウカ、全く御同感デゴザイマシテ、
今後モ一層其ノ點ニ重點ヲ置イテ参リタイ
ト存ジマス、確ニ斯ウシタ具體的ナ事例ヲ
紹介スルコトガ何ヨリデゴザイマシテ、其
ノ點ニ於キマシテ一層活潑ニ御希望ニ副フ
ヤウニ努メタイト存ジマス

○中村(梅)委員 情報局ニ對シテハ是デ宜
シウゴザイマス

○松岡委員長 ソレデハ此ノ機會ニ委員長

トシテ情報局長ニ尋ネタイコトガアリマス、
私ノ實驗ニ依リマスレバ、從軍シテ出征シ
テ居ル兵隊ノ心理ト云フモノハ、實戰ニ從
ハナイ人ハ分ラナイ點ガ非常ニ多イノデア
リマス、滞在ガ長キニ互ツテ居ル間ニ、ド
ウ云フ書物ヲ見タイカト云フコトハ、連モ
想像ノ出來ナイモノガアリマス、此ノ點
ニ付テ銃後ノ人々ニ讀マセル本ト、出征シ
テ居ル人々ニ讀マセル本ト、之ヲ取締ル上ニ
於テ二重ニ考ヘナケレバ、本當ノ心理ヲ捉
マヘルコトハ出來ナイ、私ハ一年十箇月出
征、第一線ニ居ツタノデアリマスルカラ、
之ヲ本當ニ痛感スルノデアリマス、銃後ニ
於ケルヤウナ取締ノ方法ヲ以テ檢閲シタル
本ハ、決シテ明日ノ命ヲ知ラナイ人々ノ前
ニハ空念佛デアアル、何等ノ娛樂ニモナラ
ナイト思ヒマス、是等ノ點ニ付テ銃後ニ歸還
シタル者ノ思想方面ニ及ボス影響ナドモ篤
ト考慮シテ掛カラネバナラヌコトデアリマ
スケレドモ、情報局トシテ内務省、文部省、
是等ノ方面ト親シク熟議ヲ凝ラシテ、本當
ニ出征シテ居ル人々ノ心理ヲ捉マヘテ、見
セシムル所ノ本ヲドノ程度ニマデ計畫シ與
ヘテ居ルカト云フ點ヲ承リタイト思ヒマス
○奧村政府委員 委員長ノ今ノ御意見ハ、
委員長ガ日露戰爭ニ御出征サレタト云フ貴
重ナ御體驗ニ基キ御意見非常ニ敬意ヲ以テ
拜承致シマシタ、今御述べニナリマシタ御
意見ニ付テデゴザイマスルガ、出征兵士ニ對
スル直接ノ指導ハ陸海軍ガ責任ヲ以テヤル
ノデゴザイマシテ、御案内ノヤウニ吾々ガ
ソレヲ兎ヤ角言フコトハ出來ナイノデゴザ
イマス、併シナガラ又御述べニナリマシタ
ヤウニ、日本デ印刷サレタモノガ、或ハ慰問
袋ニ依リ、或ハ軍ノ手ヲ經テ到達スル譯デ

アリマシテ、其ノ意味ニ於テ色々關係ガ出
テ参リマス、ソレガ最近現地ノ色々ナ情報
竝ニ陸海軍ノ話ヲ聞イテ見マス、御述べ
ニナリマシタヤウニ、出征兵士トシテハ非
常ニ活字ニ飢エテ居ル、本ガ讀ミタイ、併
シ必ズシモ本ガ十分來ナイト云フ點ノ訴ヘ
ガ現地軍カラモ参リマスノデ、聊カ陸海軍
トモ打合せテ之ヲ斡旋シテ居ルノデゴザイ
マス、併シナガラ唯出征兵士用ノモノヲ特
ニ情報局デハ作ツテ居リマセヌガ、陸海軍
デハ例ノ「ツハモノ」トカ其ノ他陸海軍ノ出
征兵士用ノモノヲ陸海軍ノ責任デ作ツテ居
ルモノガゴザイマス、ソレ等ニ對シテハ或
程度ノ連絡ヲ致シ、又陸海軍獨自デ御心配
ニナツテ居ルコトヲ承ツテ居ルノデアリマ
ス、尙ホソレニ付ケ加ヘテ申シマス、最
近ヤハリ御述べニナリマシタヤウナ御意見
ニ依リマシテ、郷土ノ新聞ガ讀ミタイト云
フヤウナ要求ガ多イト云フコトデゴザイマ
スノデ、例ヘバ金澤トカ北海道ノ或ル新聞
ノ申出デガゴザイマシテ、其ノ部隊ノ出テ
居ル所ニ、特色々情報局デモ心配ヲシテ
差上ゲマシテ、郷土ノ新聞紙ヲ、而モ出征
兵士用ノ新聞ヲ作ツテ運ンデ、非常ニ歡迎
ヲ受ケタト云フコトモゴザイマス、サウ云
フ例ガアル程度デ、直接的ニハ、陸海軍ノ
コトデゴザイマスノデ、其ノ點位ノ範圍デ
ゴザイマス

○松岡委員長 モウ一點御尋ネ致シマス、
私ノ耳ニシテ居ル所ニ依リマスレバ、餘リ
ニ固イモノガ戰地ニ行クノデ、殆ンド行ツ
タモノガ讀マレナイト云フヤウナ點ヲ多ク
耳ニシテ居リマス、アチラニ行ツテハ、戰
ノナイ間、休戦中ノアノ一時ヲドシナニ忘
レテ愉快ニシタイカト云フ其ノモノニピツ

タリト行クヤウナ、極メテ柔カナ本當ニ神
經ニ來ルヤウナモノデナケレバ難カシイデ
ス、然ルニ、大政翼贊會其ノ他デ一生懸命
デ本ヲ集メテ盛シニ送ツテヤツテ居ルヤウ
デアリマスケレドモ、是等ハ勞多クシテ、
而モ交通運輸關係其ノ他ヲ相當ニ煩ハシテ
居ルケレドモ、其ノ效果タルヤ實ニ微々タ
ルモノデアリハセヌカト私ハ體驗カラ見テ
思ヒマス、斯様ナ無駄ナコトヲサナイデ
最モ有效ニ活用スル、印刷物ニ付テハ、思
想ノ方面ニ特ニ關心ヲ持ツ情報局トシテハ、
之ヲ戰地及ビ銃後國民ヲ睨合ヘセタ氣持
ノ好イ柔カナモノヲ作ツテヤラウト云フヤ
ウナ親切心ガ當然アラネバナラヌト思フ、
單ナル陸海軍ニノミ之ヲ任シテ居ルト云フ
ヤウナコトデハ、私ハ戰地カラ歸ツテ來タ
銃後ノ人トナルベキ其ノ人ノ思想ヲ考ヘテ、
ソコニ矛盾スルヤウナコトガアリハセヌカ
ト思ハレルモノデスカラ、ソコヲ注意シテ、
親切ニ考ヘテ、戰地ニアル人々ヲ心カラ喜
バシムルヤウニ、明日ノ命ヲ知ラナイデ、
其ノ時ニ感激スルヤウナモノヲ作ツテヤル
ト云フコトハ努メテ親切ニ考ヘテヤルベキ
ダト思ヒマス、只今ノ御答辯ニ満足シナイ
譯デハアリマセヌケレドモ、ソレデハ私ハ
少シク親切ガ足ラヌト思ヒマス、陸海軍ニ
ノミ依ラズシテ、ソコマデ情報局ガ眞劍ニ
考ヘテヤツテ戴クヤウニ、私ハ體驗カラ照
シ合ハセテ之ヲ御願ヒ申シテ置キマス

○奧村政府委員 今ノ御體驗ニ基ク御希望
ニ付キマシテハ襟ヲ正シテ拜聽シマスシ、
又御希望ニ副フヤウニ努力致シマス、唯是
ハ何モ陸海軍ニ任セ切ルト云フコトデナク
テ、出征兵士ニ付テノ思想指導ハ、御述べ
ニナリマシタヤウニ柔カイモノガ必要ナコ

トモ想像モ付キマスガ、軍紀軍律ノ範圍内ニ於テデアリマスノデ、何モ怠ケテ情報局ガヤラス譯デナクテ、事實上サウ云フコトハ中々困難デアリ、又御趣旨ハ必ズシモサウ云フ所ニハゴザイマセヌノデ、戦地向ニ付テハ、御希望ノヤウナ思ヒヤリノアラレル御意見ニ付キマシテハ、大イニ御希望ニ副フヤウニ努メタイト存ジマス

○仲井間委員 情報局總裁が見エテ居リマスカラ、此ノ機會ニ一二點御願ヒヲ兼ネマシテ御伺ヒヲ申上ガタイト思ヒマスガ、私ハ豫ネテ現地ノ寫眞畫報ト云フモノヲ見タコトガアリマス、百枚バカリ綴ラレテ居リマシタモノデソコニハ戦争ノ畫報モアルシ、色々アリマシタガ、其ノ中デ一番感激ニ堪ヘナカツタノハ、草ムス屍水漬ク屍大君ノ邊ニコソ死ナメ願ミハセジ、命ヲ捨テテ君國ノ爲ニ 陛下ノ爲ニ働イテ居ル、其ノ際ニハ何事モ志レテ唯勝抜クト云フ感じ以外ニハ何物ノ心境モナイ、所ガ何カノ暇ヲ得テ静カニ考ヘル餘裕ノアル際ニ先ヅ思ヒ浮ブノハ、銃後ニ於ケル國民ガ、今日吾々が命ヲ捨テテ戦ツテ居ル此ノ大戦争ニ際シテ國民ハドウ云フ心構ヘヲ持ツテ居ルカト云フコトノミヲ考ヘル、是ガ一番私ハ感激シタ、アノ百枚ノ戦況ノ畫報ノ中デ一番考ヘタノハ、之ニ私ハシムト胸ヲ打タレ

タ、第一線ノ將兵ガ考ヘテ居ルコトガ、吾々ノ命ヲ捨テテヤツテ居ル此ノ大戦争ヲ國民ハドウ考ヘテ居ラウカ、國民ハ如何ニ此ノ大戦争ヲ勝抜ク決意ヲ持ツテ居ルデアラウカト云フコトノミヲ考ヘルノダト云フ畫報デアリマス、何トカシデ——私ノヤウナ氣持ヲ全國民ガ持ツテ居ルト云フコトハ想像ニ難クナイノデアリマス、サウ云ツタ

意味ヲ含メタ映畫、演劇デモ普及サレタラ結構デハナイカ、斯ウ思ヒ付イタ譯デアリマス、モウ一點ハ、此ノ大戦争ヲ勝抜ク皇軍ノ犠牲心、國家ノ爲ニ盡サレテ居ル點ニ付テハ何ト申シテモ感謝感激ニ堪ヘマセヌガ、一度歸還シテ參リマス、第一線ニ立ツテ居ル當時ニ銃後カラ感謝シテ居ル皇軍ガ、一タビ銃後ニ歸ツテ來テ、本當ニ第一線ニ立ツテ皇國ノ爲ニ盡シテ居ツタ人物デアアルカドウカト云フコトガ疑ハシイ行動ガ時々アルト云フコトヲ聞カサレテ居ル、銃後ニ歸ツテ來テモ、第一線ニ立ツテ國家ノ犠牲ヲ一身ニ擔ツテ挺身シテ行クト云フ行動ヲ何トカシテ持續セシメテ行クト云フ一般ノ皇軍ニ對スル信頼、皇軍ノ勇戦奮闘ノミデナクシテ、皇軍ノ人物、人格ニ對シテ國民ガ信頼スルノダト云フ點ヲ何トカ指導シテ行ケル工夫ハナイモノカ、之ニ對シテ御所見ナリ、何カ今日指導サレテ居ル御方針ガアリマスレバ承リ、又今後トモ善處シテ戴クヤウニ御願ヒシタイトデアリマス

○奥村政府委員 出征兵士ノ身ヲ御思ヒ下サツテノ御意見全然同感デゴザイマス、確カニ出征シテ居ル澤山ノ吾々ノ同胞ハ、戦ノ間ニ氣ニ掛ルコトハ妻子ノコトデアリ故郷ノコトデアアルコトハ言フマデモナイノデアリマス、隨テ吾々ガ、アナタ方ガ御感じニナツタヤウニ、戦地ノ寫眞ニ付テ非常ナ感銘ヲ受ケル寫眞ガアルト同様ニ、戦地ニ於テモ亦銃後ノサウシタ一層戦フ精神ヲ起サヤウナモノヲ送ルベキデアリマシテ、微力ナガラサウ云フコトノ御希望ニ副ヒタイト存ジマス、現在ヤツテ居ルコトハドウ云フコトカト云フコトニ付キマシテ申上ゲマスト、例ヘバ「ラジオ」ノ如キモ、戦ガ濟ミマスト兵

ハ、部隊ハ大抵短波ノ「ラジオ」ヲ持ツテ居リマスノデ、内地ノ「ニュース」ガ聴キタイ、内地ノ演劇ガ聴キタイ、又内地デ今日今ドウ云フ「ラジオ」ヲ聴イテ居ルカト云フコトガ知リタイノダサウデアリマス、是ハ無理モナイコトデ、吾々チヨツト旅行シテ見テモサウ感じマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、日本ノ「ラジオ」ハヤハリ戦地ノ人モ聴イテ居ルト云フ點カラ、番組ノ編成ニ心掛ケテ居リマス、最近ハ又戦地向ノ「ラジオ」モ考ヘテ居ルノデアリマス、例ヘバ國技館ノ相撲放送ノ如キ、戦地デ考ヘレバ今頃内地デハ相撲ヲヤツテ居ルノカト憤慨シサウナモノデアリマスガ、日本ノ勇士ハ必ズシモサウデハナイノデアリマシテ、自分等ハ斯ウシテ働イテ居ル、斯ウシテ國ヲ思ツテ居ル、其ノ一面ニ於テ、昔ナガラノ國技ヲ東京ニ於テヤツテ居ルト云フコトハ、彼等ハ安心スルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、或ル時間ハサウ云フモノモ送ルト云フコトヲ致シテ居リマスルシ、又出征兵士ノ希望ヲ募リマシテ、色々ト其ノ希望ニ應ジタモノヲ送ルト云フコトデ、相當陸海軍トモ打合ハセテ、御心配ノ點ヲ或ル程度解決致シテ居リマス、尙又最近ハ専門ノ新聞ガナクナリマシタコトニ件ヒマシテ、現地デ新聞ヲ發行シテ居リマス、日本ノ出來事ハ其ノ日ニ分ルヤウニ、日本語ノ新聞ヲ、内地ノ各新聞社ヲ進出セシメテ、「ジャカルタ」、「昭南島」、「マニラ」、「ラングーン」其ノ他デ發行シテ居リマスノデ、割合ニサウシタコトガ近頃ハ分リ易クナツテ居リマス、又御案内ノ映畫ニ付キマシテモ、成ルベクサウシタモノガ結構デゴザイマスノデ、情報局デ幹旋シテ澤山ノ寫眞ヲ送ツテ居リマス、唯

茲ニ日本で見ラレル映畫ガ必ズシモ其ノ儘送レナイ、即チ單ニ兵士ダケノコトヲ考ヘラレナイノデアリマシテ、例ヘバ支那事變後出征兵士ノ慰問ノ爲メ、其ノ希望ニ應ジマシテ日本ノ映畫ヲ送リマシタ、日本ノ兵士ハ舊劇ノチャンバラ劇ガ好キデゴザイマス、ソレヲ相當送リマシタ所ガ、兵士ハ喜ビマシタガ、ソレヲ見テ居ル支那人ハ——ドウシテモ一緒ニ見ル譯デアリマス、ソレガ時ノ觀念、歴史ヲ知ラスモノデアリマスカラ、日本内地デハ今デモコンナ斬合ヲシテ居ルノカ、ソレデヤ日本ハ強イ筈ダト思ツテシマフ、是ハ大失敗ヲ致シタノデアリマス、サウ云フ譯デ非常ニ「デリケート」ナ關係ガゴザイマス、最近内地人ヲシテ非常ニ感奮セシメタ「ハワイ」爆撃ノ實寫、是ハ素晴シイ世界的ノ映畫デアリマス、所ガ之ヲ滿洲ニ持ツテ參リマスト何等ノ感銘モ與ヘナカツタ、軍艦、船、海ト云フモノヲ知ラナイ四千万ノ中ノ九割ノ民衆相手ニハ何ニモナラナイ、サウ云フヤウナ色々ナ「デリケート」ナ關係ガゴザイマスガ、最近ニ於キマシテハサウ云フ點ニ付テ相手ノ心理、傳統ヲ調ベマシテ、注意ヲ致シマシテ、兵士ニモ、又現地人ニモ惡イ影響ヲ與ヘナイヤウニ配慮ヲ致シテ居リマス、即チ「ハワイ」、マレー沖海戦」ニ出テ來マス所ノ少年航空兵ノ出身ノ家ガ、マルデ少年航空兵ガ出サウモナイヤウナ大キナ豪華ナ家デアル、是ハ誰デモチヨツト氣ガ付ク、ソレデヨク質問ヲ受ケマスガ、アレハ現地、支那、滿洲、世界各地ニ持ツテ行ク、「ドイッ」ヘモ持ツテ行クノデスガ、ソレデコンナ小サイ家カト云フヤウナ印象ヲ與ヘナイト云フ含ミデアリマシテ、最近ハ色々ト宣傳ハ致シマ

セヌガ、サウ云フアナタノ御心配ノ點ニ付
キマシテモ、色々ト細カイ氣ヲ配ツテ努力致
シテ居リマス、今後モ一層努力スル積リデ
アリマス、尙ホ歸還兵ノ問題ニ付キマシテ
ハ、是ハ陸海軍ノ直接ノコトデゴザイマシ
テ、私カラ兎ヤ角申上ゲルコトデハゴザイマ
セヌガ、御心配ノ點ハ洵ニ御尤モデゴザイ
マシテ、歸還兵コソ日本ノ國民トシテ、戰
場ニ於テ模範デアツタキウニ歸還後モ模範デ
ナケレバナラナイノデ、陸海軍デハ十分御
配慮ノコトト存ジテ居リマスガ、情報局ト
致シマシテモ、サウシタ一般國民ノ——歸
還スレバ一般國民デアリマスガ、サウシタ
人ノ指導ニ付キマシテハ、特ニ配慮致シマ
シテ、御意見、御希望ノ點ヲ重々加ヘテ、
施策致シテ行キタイト申思ツテ居リマス

○中村(梅)委員 前提トシテ一寸簡單ニ文
部省ニ伺ヒマスガ、ツイ數日前ニ官立ノ各
大學ノ研究所ノ擴充ガ發表ニナリマシタガ、
アレハ今度ノ大學院ノ擴充ト云フモノト關
係ガアリマスカ

○橋田國務大臣 アレハ關係アリマセヌ
○中村(梅)委員 大學院ノ擴充ニ付テ文部
當局ト企畫院當局ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、
今度ノ學制改革ニ依リマシテ、中學校モ、
高等學校モ年限ガ短縮サレマシテ、色々之
ニ付テハ議論モアリマセウガ、兎ニ角既ニ
政府トシテ御發表ニナリ、實施スルコトニナ
ツタノデアリマスルガ、之ニ伴フ大學院ノ組
織ト云フコトニ付テハ、相當當局デ御考ヘ
ニナリ、目下色々其ノ實現ノ具體化ニ付テ
ハ御研究ニナツテ居ルコトト思ヒマス、先
日モ庄司君カラ此ノ點ニ付テハ御尋ネガア
ツタヤウデアリマスガ、私ハ大學院ノ擴充
ニ付テ平素考ヘテ居リマスコトハ、一應今

出來マシタ學制ニ依ル大學ヲ卒業シタ者之
ヲ大學院ニ收容シテ、眞ニ國家必要ノ要員
ヲ養成スルト云フ使命カラ考ヘマス、大學
院ノ組織内容ト云フモノハ餘程私ハ思ヒ切
ツタ權威アルモノニスル必要ガアルト思フ
ノデアリマス、設備ノ上カラモ、ソレカラ
ソレヲ指導スル人ノ上カラモ、總テノ點カ
ラ見テ、權威アルモノニスル必要ガアル、同
時ニ其ノ大學院ニ收容スベキ人ノ問題デア
リマス、是ハ大學ヲ出タカラ入リタイ人ヲ入
レル是デハ何ニモナラヌト思ヒマス、寧ロ
大學ヲ出テカラ、官廳ナリ民間ナリソレ
ゾレノ職場ニ就イテ、一通り實務ニ就イタ
人ノ中カラ極メテ嚴選ヲシテ、サウシテ將
來國家トシテ必要缺クベカラザル要員ヲ養
成スルト云フ建前デ、一タビ實務ニ就イタ
人ノ中カラ凡ニル角度カラ——ドウ云フ方
法デアルカト云フコトハ非常ニ難カシイト
思ヒマスガ、併シ相當嚴選ノ制度ヲ設ケテ、
其ノ嚴選サレタ人ヲ收容シテ、國家ノ要員
ヲ養成スルト云フ建前デ行カナケレバナラ
ヌト私ハ固ク信ズルノデアリマスガ、此ノ
點ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマス、同
時ニ大學院ノ研究ニ關スル經費デアリマス、
私ハ是ハ國家ガ全部負擔シテ、本當ニ國家
ノ爲ニ必要缺クベカラザル、其ノ人ノ榮達
トカ何トカ云フコトデハナイ、モウ國家存
立上缺クベカラザル人物ヲ養成スルト云フ、
恰モ陸海軍大學ノヤウナ建前デ行クノデア
リマスカラ、私ハ國家ガ全部ノ經費ヲ負擔
シテ、サウシテ思ヒ切ツタ大規模ナ組織デア
ツテ行ク、權威アルモノニスル必要ガアル
必要ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ
付テ文部當局トシテハ相當ノ意氣込ミヲ持
ツテ居ラレト思ヒマス、學制改革ニ伴フ

大學院ノ組織ニ付テハ、昨年ノ豫算總會ニ
於テモ、私文部當局ニ希望ヲ述べ、且ツ御
尋ネヲ致シタノデアリマスガ、今日學制改
革ヲ致シ、大學院ヲ擴充スルト云フ肚ガ決
マツテ居ル以上ハ、相當私ハ思ヒ切ツタ方
向ニ文部當局トシテハ進ンデ行カレルモノ
ト内心思ツテ居リマスガ、之ニ付テハ企畫
院ノ當局ニ於テモ其ノ點ニ付テ十分ノ御理
解ガナケレバナラス、斯様ニ思ヒマスノデ、
此ノ機會ニ企畫院當局ノ御所見ヲ伺ヒタ
イ、大學院ノ擴充ニ付テ、固ヨリ具體的ノ
事柄ハ、文部當局ニ於テモ、企畫院ニ於テ
モ御研究中ノコトト思ヒマスカラ、其ノ考
ヘニ付テ、御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 昨日モ庄司委員カラ大學
院ト云フ問題デ御質問ガゴザイマシタ、其
ノ際ニモ御答ヘ申シタ通り、今回政府デ考
ヘテ居リマスル研究者、又ハ研究者ノ後繼
者、或ハ教授ノ後繼者ト云フモノノ養成ト
云フ機構ハ、必ズシモ大學院トハ申スカ申
サナイカ分ラナイノデアリマス、兎ニ角ア
ノ發表ノ仕方ガ拙カツタト存ジマスガ、現
在ノ大學院ヲソレニ向ツテ利用スル場合モ
アルカモ知レマセヌ、又別ナ機構トシテ構
成スル場合モアルカモ知レマセヌ、唯單ニ
大學院ノ擴充ト云フ趣旨デ今回計畫ヲシタ
ノデハゴザイマセヌ、場合ニ依リマス、ト、
從來ノ大學院ヲ其ノ儘從來ノ大學院トシテ
又適當ナ利用ノ途ガ十分アリマスノデ、ソ
レハ適當ニ利用スルコトト致シマシテ、別個
ニ國家ノ手ニ依ル研究者ノ養成所トシテ、
何等カノ施設 機構ヲ設ケルコトニ相成ル
カモ知レマセヌ、其ノ邊ノ所ハ目下考究シ
テ居ル次第デアリマス、今回ノ計畫ハ只今

御話ガアリマシタガ、全ク國家ニ於テ必要ナ
ル研究者ヲ國家ノ手ニ於テ養成シヨウト云
フ計畫ナノデアリマシテ、ソレニ付キマシ
テハ無論ソレニ收容スベキ人々ノ嚴選ヲ必
要トスルコトハ、是ハ申スマデモナイコト
デアリマス、併シ其ノ人ヲ選ビマスニ付テ
モ、單ニ帝國大學ノ卒業生デアルトカ、何
處ノ大學ノ卒業生デナケレバナラヌト云フ
制限ハ無論アリマセヌ、何處デモ適當ナ人
ガアレバ宜シイト云フコトニ今一應考ヘテ
居リマス、又一應實務ニ從事シタ後ニ
研鑽ニ從事スルコトヲ適當トスル學問ナド
ニ付キマシテハ從事シタ者ヲモ採用致シマ
ス、又學問ノ種類ニ依リマシテハ、現在ノ
大學ヲ經タ其ノ儘連續スルコトヲ最モ適當
トスルモノモアリマスノデ、ソレニ付テハ
其ノ儘致スト云フヤウナ趣旨ニ於キマシテ、
十分ニ適當ナ機構ヲ設ケテ人ヲ選フ致シタイ
ト思フノデアリマス、隨ヒマシテ又其ノ研
究ノ費用、又或ル極メテ限定サレタ範圍デ
ハアリマスルガ、生活ノ費用等モ國家カラ
支給スルト云フコトニ是非トモ致シタイト
考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレニ付キマ
シテハ、サウ云フ研究機構、研究者養成ノ
機構ニ向ヒマシテハ新シク指導者ノ陣容ヲ
建直サナケレバナラヌノデアリマスルガ、
目下ノ所デハ先ツ最高ノ指導者ハ今ノ大學
ノ教授ト或ハ其ノ他ノ研究指導者デアリマ
セウガ、其ノ手傳ヒヨスル助教教授級ノ人ト
云フヤウナモノヲ相當擴充シナケレバナラ
ヌノデ、其ノ點ニ付テハ十分ニ今留意ヲシ
テ居ル次第デアリマス、又ソレト同時ニ施
設ノ擴充ト云フ事柄モ當然來ルベキコトデ
アリマスガ、先ツ差當リハ只今大學ノ方面
ニアリマスル研究施設ヲ重點的ニ集中スル

ト云フコトニ於テ一應ハ間ニ合フ點ガ多クアリマスノデ、直グサマ大擴張ト云フヤウナ運ビニハ參リマセスケレドモ、漸次此ノ養成機構ノ整備シマス間ニ於テハ、十分只今御話ノアリマシヤウニ權威アル研究者養成所トシテ又研究機關トシテノ實ヲ擧ガルヤウニ内部ノ設備其ノ他ニ付テモ擴張ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○龜山政府委員 只今中村サンカラ大學院制度ニ關シテ企畫院ガ如何ナル協力ヲスルカト云フヤウナ御趣旨ノ御質問デアツタト思ヒマス、其ノ意味デ御答ヘ致シマス、只今文部大臣モ御話ニナリマシタ通り我ガ國ノ學術文化ノ高度ノ進展ヲ圖リマスルニ、大學院制度ト云フモノノ擴充整備ヲ圖ルト云フコトハ洵ニ現下ノ時局ニ鑑ミ最モ緊要ナコトデアルト存ジマス、デアリマス以上ハ、企畫院ニ於キマシテモ、此ノ大學院制度ノ爲ニハ十分ニ研究ヲ致シ、又之ニ對シマシテモ文部省ト一緒ニナリマシテ十分是ガ推進ニ付テ努力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中村(梅)委員 色々文部大臣カラモ企畫院當局カラモ伺フコトガ出來マシテ仕合セデアリマスガ、尙ホ此ノ大學院ト云フ名前ヲ使フカ、使ハヌカハ別問題ト致シマシテ、最高研究機關ノ方法トシマシテハ、綜合研究ノヤウナ行キ方ト、分科研究ノ行キ方トアルヤウニ思ヒマスガ、例ヘバ東京ノ帝國大學内ニ設置セラレル最高研究機關ガ凡ユルモノノ研究ヲソコデアルト云フコトハ事實不可能デアリ、且ツ又サウ云フコトニナリマスト非常ニ私ハ此ノ目的ヲ眞ニ達シ得ル深イ掘下ダ十分ノ研究ヲ遂ゲルコトガ困難ナヤウニ思ヒマス、隨テ各大學ノ中ニ

此ノ最高研究機關ヲ設ケルトスラバ、ソレノ部門ヲ別ケテ部門別ニ徹底セル行キ方ヲスルト云フコトガ必要ダト思ヒマスルコトト、ソレカラ先年豫算總會デ砂田重政サンガ頻リト其ノ議論ニナリマシタガ、大學院ノ助手ノ待遇ナドハ非常ニ低イラシイ、八十圓カ九十圓ノ待遇デ甘シテ助手ヲヤツテ研究ニ從事シテ居ル、斯ウ云フノデスガ、今度ノ最高研究機關ノ組織ニ付テハ私ハ指導スル指導ノ擔當者及ビソレニ協力ヲスル助手ナドノ人件費ナドニ付テモ、是ハ思ヒ切ツタ行キ方ヲシテ本當ニ身ヲ捧ゲテ指導研究ニ當リ得ル建前ヲ採リマセヌト、他ニ著述ヲシナケレバ其ノ教授ハ食ツテ行ケナイ、出版ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトデナシニ、本當ニモウサウシタヤウナコトハ完成サレタ研究ヲ發表スル目的デアルモノニ付テハ格別デアリマスガ、モウ専心ソレニ没頭シテヤツテ行ケルヤウナ、待遇ノ上ニ於テモ、ヤハリ設備ト同様ニ思ヒ切ツタ豫算ヲ取り得ルト云フコトデナケレバ、眞ニ此ノ使命ヲ達シテ國家ノ必要ヲ滿タシテ行クト云フコトハ困難デアルト思ヒマスカラ、希望のニ之ヲ申述ベテ、尙ホ御所見ガアレバ承リタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 大學院ノ構成ヲ部門制ニ致スベシト云フ御意見、是ハ十分ニ考慮シナケレバナラヌ問題ト存ジマス、何レ機構ノ考究ニ當ツテハ十分注意ヲ致シマス、又研究者自身、少クトモ研究指導者ニ對シテノ優遇ト云フ問題ハ、是ハ十分考究シナケレバナラヌ、又多年熱望シテ居リナガラマダ今日マデ色々事情カラ致シマシテ十分ニ實現シテ居ナイ點デゴザイマシテ、將來十分ニ出來ルダケノ力ヲ盡シタイト考ヘテ

居リマス、唯此ノ際、私個人ノ體驗ヲ申上ゲマスドフカシイ御答辯ニナルカモ知レマセヌガ、大學ノ教授ハ洵ニ薄給デゴザイマス、是ハ國家トシテ適當ニ面倒ヲ見テヤラナケレバナラヌト思ヒマスケレドモ、一面ニ於テ大學ノ教授ガ國家カラ任サレタ研究施設ヲ自由ニ使ツテ居ルト云フ點ハ如何ニ惠マレテ居ルモノデアアルカト云フコトハ大學教授自身能ク考ヘテ賞ハナケレバナラヌ點デアリマシテ、私共其ノ點ニ付テハ研究ヲヤリマス際ニ始終感謝ヲシテ居ツタノデアリマス、サレバト申シテ何モ大學ノ教授ヲ優遇シナクテ宜イト申スノデアアリマセヌケレドモ、假ニ大學教授ガ二百圓シカ俸給ヲ貰ツテ居ナイトシテ二百圓デ研究シテ居ルノデハナイ、月給ハ二百圓デモ一年ニ數千圓、數万圓ノ金ヲ使ツテ、自分ノ好ム道ニ携ハツテ居ルノデアリマス、一面ニ於テハ無論國家トシテ唯清貧ニ甘シジロト云ツテ放ツテ置クコトハ出來マセヌ、十分ニ優遇ノ途ヲ講ジナケレバナリマセヌケレドモ、大學教授ガ専心研究ニ從事シヨウト云フナラバ其ノ點ニ付テハ又大イニ感謝スル氣持デアツテ賞ヒタイト考ヘルノデアリマス、其ノ點大學教授ガ一般ノ俸給ヨリ少イト云フコトト絡ミ合ヒマシテ動モスルト認識ヲ脱却スル點ガアルノデヤナイカト云フコトヲ私カニ懸念シテ居ルノデアリマシテ、此ノ際サウ云フ考ヘヲ持ツテ、私自ラハ研究ニ從事シテ居ツタト云フコトダケヲ申上ガテ置キタイト存ジマス

○中村(梅)委員 先程庄司君カラ青年學校ノ問題ニ付テ色々御質問ガアリマシタ、私モ少シ御尋ネ致シタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、大分盡サレマシタノデ一點ダケ文部當局ニ伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ私立青年學校ノ指導ニ付テデアリマスガ、私立青年學校ニ付テハ隨分優秀ノ成績ヲ擧ゲテ居ル所ト、全ク問題ニナラヌヤウナ所アリマス、ソコデ何トカ、生産ニ從事シテ居ル産業戰士タル青少年ヲ鍊成スル此ノ私立青年學校ガ、唯認可ヲ受ケテ作ツテサヘ置ケバ言ヒ譯ハ通ルト云フヤウナ放任ノ状態ニ置クト云フノハ非常ニ間違ツタコトデアアル、國家的ニ此ノ點ハ十分力ヲ添ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハモウ工場側ト云フカ、サウシタ人達ノ認識如何ニ依ツテ非常ニ差ガアルノデアリマス、徵用工等ニ付キマシテモ先般モ議員奉公隊デ各工場ヲ見マス、其ノ工場ノ勞務係ナリ擔當者ナリノ指導如何ニ依ツテハ立派ニ成績ヲ擧ゲテ居ル所モアルシ、ソレカラ其ノ擔當者ガ自分ノ工場ハ管理工場デアツテ徵用工ヲ權力ニ依ツテ使ヘルノダト云フヤウナ認識ノ不十分ナ所ニ於テハ非常ニ成績ガ惡イ、評判モ惡イ、不平モ多イ、斯ウ云フ現狀ヲ具サニ私共見タノデアリマスガ、青年學校ニ於テモ同ジ感ジヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、之ニ付テハ現學制度カ如何カ、指導監督ニ關スルシツカリシタ機關ヲ設ケテ、大事ナ年齢ト大事ナ立場ニ居ル是等ノ産業戰士ノ鍊成ヲスル青年學校ニ付テ、何等カ私ハ考ヘルベキデアルト斯様ニ存ズルノデアリマスガ、文部大臣ニ於テ何カ御計畫ニナツテ居リマスカドウカ、若シ御計畫ガナイトスラバ此ノ點ニ付テ、一ツシツカリ文部大臣ニハ力ヲ注イデ戴キタイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ一應承リタイト思ヒマス

○藤野政府委員 只今私立ノ青年學校ノ實情トシテ非常ニ良イモノガアルガ、一面ニ於テ甚ダ申譯ノナ學校モナイコトハナイ、是ガ指導監督ニ付テ一層強力ナラシメ、眞ニ産業青年ノ指導上遺憾ナキヲ期スル上ノ意圖ガナイカドウカト云フ御質問デアリマシタ、洵ニ私共御趣意ヲ承リマシテ、今日ノ戰時下ニ於キマス殊ニ産業戰士ノ青年指導鍊成ノ上ニ大事ナ點デアルト考ヘルノデアリマス、御述ベノゴザイマシタヤウニ此ノ點ハ全ク工場經營ノ責任者、或ハ管理

者ト云フヤウナ向キ、ガ青年教育ニ認識ヲ十分ニ持ツテ戴クト云フコトガ最モ大事ナ點デアルト考ヘマシテ、機會アル毎ニ是等ノ方面ニ付キマシテハ其ノ理解ヲ求ムベキ方策ハ隨分内面的ト申シマセウカ、或ハ研究會、或ハ協議會等モ屢、地方ニ於テ開イテ居リ、時ニハ「ブロック」式ナ會議モ開クト云フヤウナコトモ致シテ居ルノデアリマス、同時ニ御承知ノヤウニ此ノ青年學校ノ指導監督ニ當リマスル機關トシテ、地方ニ青年教育官ノ外ソレ、機關ヲ設ケマシテ、ソレニ當ツテ居リマスルガ、最近府縣ニ於テ是等ノ青年教育官等ヲ以テ致シマシテハ不十分デアルト考ヘマシテ、新タニ青年學校ノ視學委員ト云フ制度ヲ設ケマシテ、縣下ノサウシタ方面ノ有識ノ方々ニ御參加ヲ願ヒ青年教育官ノミナラズ、是等ノ視學委員ノ方々カラモ青年學校ヲ御視察ヲ願ツテ、現地ニ付テ其ノ指導教育ノ狀況ヲ視テ戴キマシテ、其ノ結果ヲ又縣廳ノ方ニ申出テ指導上ノ一ツノ據リ所トシテヤツテ行ク、斯ウ云フ方法モ實ハ致シテ居リマス、是ハ當面ノコトゴザイマシテ、御指摘ノ問題

ハ非常ニ重要ナ青年教育ノ根本ニ觸レタ問題ダト思フノデアリマス、此ノ點午前ニモ大臣カラ一應御説明ガゴザイマシタヤウニ、文部當局ト致シマシテハ青年學校教員養成所等ノ將來ノ擴充計畫ト相伴ヒマシテ、青年學校教育全般ニ付テ十分檢討モ致シ、御所論ノヤウナ點ニ付テハ遺漏ナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○中村(梅)委員 此ノ問題ハ此ノ程度ニ致シマシテ、次ニ私伺ツテ置キタイト思ヒマスルコトハ新制度ノ師範學校ガ創設サレマシテ、舊制度ノ師範學校卒業生ニ對シテハ各師範學校ニ研究科ト云フモノヲ併置シテ再教育ヲ施ス、此ノコトハ豫テカラ文部當局ノ明カニセラレテ居ル所デアリマスガ、私共ノ伺ヒマス所ニ依ルト、此ノ研究科ノ組織ヲ以テ一體何時マデノ間ニ再教育ガ完了スルノデアラウカト云フ點ガ一般教育者ノ間ニモ非常ニ不安ニ思ハレテ居ル所デアリマス、ダラ、長ク非常ナ長期ニ互ルノデハナイダラウカト云フ點ガ懸念サレテ居ルノデアリマシテ、現在文部當局ハ此ノ舊制度ニ依ル師範學校卒業生ノ再教育ヲ各師範學校ニ併設シタ研究科ニ依ツテドノ位ノ期間ニ完了スルト云フ御見込ニナツテ居リマスカ、其ノ點ヲ事務當局カラデ結構デアリマスカラ御伺ヒシタイト思ヒマス

○藤野政府委員 既ニ師範學校終了、若シクハ其ノ他ノ學歷ヲ經マシテ現ニ國民學校教員トナツテ居ル人々ニ付キマシテハ再教育ヲ行フノデアリマスルガ、是等ハ實ハ新制師範學校卒業生トノ俸給ノ鈞合等モ考慮致シマシテ、大體最近年度ニ於ケル卒業生カラ再教育ヲヤツテ行ク、詰リ具體的ニ碎イテ申シマス、十七年度卒業生ト云フモノ

ハ直グニヤラナケレバナラス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、只今ノ計畫ト致シマシテハ、五箇年計畫ヲ立テテ居リマス、五箇年計畫ニ毎年約一万二千程度ヲ再教育致シマシテ、總數約六万程度ノ人々ニ再教育ヲ施シテ行ク、是デ以テ一ハ學力ノ強化ヲ圖リ、指導力ヲ高メテ參リ、一方ニハ俸給支給上ノ權衡ヲ保ツヤウニ致シタイ、斯ウ云フ計畫ヲシテ居リマス

○中村(梅)委員 ソコデ私ノ御尋ネシタイト思フコトハ、先程モ庄司君カラデシタカ御質問ガアツタコトニ關聯ヲ致スノデアリマスガ、師範大學ノ新タナ制度ヲ創設サレマスルニ付テ、此ノ師範大學ノ計畫内容ト言ヒマスカ、是ガ或ル程度具體化シテ御發表出來ルノデアリマシタナラバ承リタイ、ソレカラ師範大學ニ收容スベキ人ノ問題、是ハ私ハヤハリ教育者トシテ幼少ノ際ヨリ志望ヲ持ツテ發足ヲ致シタ、「スタート」ヲ切ツタ人、即チ今度ノ新制度ニ依ル或ハ舊制度ニ依ル師範學校ノ卒業生デアツテ、國民學校ニ現ニ教鞭ヲ執ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ人ノ中カラ優秀ナ者ヲ師範大學ニ收容シテ、更ニ中等、高等ノ教育者ヲ養成スルト云フ建前ヲ取ルコトガ最モ適切デアルト思フノデアリマス、併シ是ノミニ依ルト云フコトハ固ヨリ不可能ノコトデアラウト思ヒマスシ、一般カラノ門戸ヲ閉ザス必要モナイコトデアリマスカラ、一般カラ募集スルコトモ併用セラルベキデアリマシセウケレドモ、併シ主トシテ教育者タラントスル希望ニ燃エテ「スタート」ヲ切ツタ師範學校卒業生ノ中カラ出來ルダケ多ク、寧ロ大部分ハ其ノ方面カラ收容スベク師範大學制度ヲ採用スルノガ私ハ教育ヲ一貫セシムル、

初等教育カラ中等教育、高等教育ト一貫セシムルニ於テ指導者ノ精神の一貫ヲ期スルト云フ目的ヲ果ス上ニ於テ必要デアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハドウ云フヤウニ目下御考ヘニナツテ居ラレドデアリマセウカ

○橋田國務大臣 最高ナル教育者養成ノ機關ノ機構ニ付キマシテハ、マダ此處デ十分御話ヲスルマデニ至ツテ居ナイコトヲ遺憾ト致シマスガ、兎ニ角ハ昨年デアリマシタカ豫算總會カデ御質問ノ時ニモ御答ヘ致シマシタ通り、教育者ノ養成ト云フ體制ハ普通ノ學校體制トハ別ニ組織致シタイト云フコトダケハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ殊ニ此ノ專門學校程度ニナリマシタ新制師範學校ノ卒業生ト云フモノハ最高教育機關ニ入學セシムベキ者ノ重要ナルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、又ソレダケノ資格ハ十分出來ルヤウニ教育モ致シタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、唯其ノ際ニモ御話ガアリマシタ通りニ、全然他ノ方カラノ者ヲ入レナイデ済ムカ濟マナイカト云フコトニナリ、又場合ニ依リマスト他ノ方面カラ入レルコトヲ必要トスル學科ナドモアラウカト思ヒマス、其ノ邊ノ所ハ十分ニ考慮致シタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、兎ニ角國民學校教員ト云フモノガ從來ノ如ク唯國民學校教員トシテノミ一生涯居ナケレバナラナイト云フヤウニ考ヘラレルヤウナコトハ、此ノ際教員養成ノ組織ト云フコトヲ考ヘル際ニ併セテ打破シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○松岡委員長 樋口君

○樋口委員 私ハ青年學校ノ教育振興ニ關シ、尙ホ其ノ他二、三ノ點ニ付テ御質問致

シタイト思ヒマス、先程庄司君カラ色々御述
ベニナリマシタ通り、現在ノ青年ハ第二ノ
國民ト云フヨリハ寧ロ第一ノ國民トシテ此
ノ戦力増強ノ上ニモ又生産倍加ノ上ニモ最
モ此ノ青年ニ期待セラレル所ガ多イデアリ
マシテ、是ハ恐ラクハ此ノ戦時下ニ於ケル趨
勢カラ見マシレバ、世界中サウデアルト思フ
ノデアリマス、ドイツハ青年ノ教育ニ對シテ
戰前ニ於テ既ニ一億五千万圓ノ豫算ヲ計上
シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルデアリマス、
ソレガアツテコソアノ戦敗「ドイツ」ガ今ヤ
世界ノ勝利者タラントスル優越ナル戦闘力ヲ
以テ國力ヲ維持シテ居ルノデゴザイマス、
此ノ戦闘力ハ何レモ戰前ニ於ケル青年ノ教
育、指導ノ結果ニ外ナラヌコトハ論ヲ俟タ
ヌト思フデアリマス、是アツテ此ノ青年
ニ望ム所實ニ大ナル所以デアリマス、先般
全國青年學校長會議ニ於ケル東條首相ノ激
勵ノ御演説ヲ新聞ヲ拜見スルニ、青年學校
ノ職員諸君ハ之ヲ吉田松陰先生ノ例ニ御取
リニナリ、サウシテ又生徒ニ對シマシテハ第二
ノ豫備軍、豫備兵團デアルト云フ風ニ激勵
ヲ致サレテ居リ、又其ノ必要性ヲ説カレテ、
學校長等ハ固ヨリ全國幾百万ノ青年ハ、最
モ信賴ヲスル總理大臣カラ自分等ノ使命ニ
對シテ斯クモ重大ニ看做サレテ居ルト云フ
コトヲ非常ナル感激ヲ以テ迎ヘテ、其ノ使
命完遂ヲセントスル彼等ノ氣持ハ、全クア
ノ新聞ヲ見タ時ニ如何ニモ我が國ノ將來ニ
新シキ旺盛ナル力ガ展開セラレルカノヤウ
ナ風ニ察セラレタノデアリマス、此ノ職員
ヲ初メ幾百万全國ノ青年ノ感激ヲ一時ノ感
激ニ止メズシテ、此ノ感激ヲ活カシテ、ソ
シテ茲ニ戰時下ニ於ケル豫備兵團ノ青年ヲ
シテ、宜ク其ノ使命ヲ完遂スベク之ヲ指導、

教育スルコトガ、激勵ヲ致シマシタ所ノ政
府ノ責任デハナイカト私ハ思フノデアリマ
ス、又ソレアル意味ニ於テ私ハ御激勵ニナ
ツタト思フノデアリマス、然ルニ本年ノ豫
算ヲ眺メマシテモ、先程庄司君ハ青年教育
費ガ少イ、數百萬圓ノ計上ノ外ナイデヤナ
イカト言ハレタガ、併シソレハ前年カラノ
コトデゴザイマシテ、本年ノ豫算面カラ
私共ガ見マスルト、僅ニ五万五六千圓ノ新
シキ豫算ガ計上ヲ見タノデゴザイマス、一
方デ第二ノ豫備軍デアルト何百万ノ青年ヲ
激勵セラレ、サウシテ此ノ感激ヲ旨ク收拾
シテ、青年ノ指導、教育ヲシテ其ノ使命完
遂ノ爲ニ資セントスル教育ガ政府ノ此ノ貧
弱ナル豫算ヲ以テ果シテ出來ル御信念ガア
ルカドウカ、口ニハ青年ヨ立テ、奮起セヨ、
颯起セヨ、斯様ニ激勵セラレテ居リ、況
ンヤ政府首腦ノ總理大臣カラ言ハレタル本
年ノ豫算ハ、之ニ對シテ相當劃期的ナモノ
ガ現ハレルコトヲ期待シテ臨ンダノデアリ
マスルガ、如何ニモ此ノ豫算ヲ見テ、聊カ
ドコロデアリマセヌ、大イニ失望ヲ致シタ感
ガアリマスルガ、之ニ付キマスル文部大臣ノ御
意見果シテ是デヤリ得ルヤ否ヤ、御信念アル
御答辯ヲ願ヒタイト存ズルノデゴザイマス
尙ホ只今庄司君ノ質問セラレタルコトニ
關聯致シマシタコトヲ先ニ御尋ネ致シマス
ガ、青年學校教員俸給ノ國庫負擔ノ件デゴ
ザイマス、是ハ既ニ義務制ニナツタ當時ヨ
リ毎議會本會及ビ各委員會ニ於テ政府トノ
間ニ色々心配ヲシテ來タノデ、曩ニ御答ヘ
ニナリマシタヤウニ、青年學校ガ義務制ニ
ナツテ居ラスカラ云々ト云フ御言葉ガゴザ
イマシタガ、私共ハサウ云フコトニ信ジテ
居ツタノデゴザイマス、又御尤モダト思ツテ

居ツタノデアリマスルガ、國民學校ノ方ノ
高等科ハ義務制デアリマセヌケレドモ、之
ニハ昨年カラ國庫負擔デ縣費支辨ニナツテ
居ルノデアリマス、是ハドウ云フ譯デ國民學
校ノ教育費ト青年學校ノ教育費トガ斯ウ云
フ扱ヒヲ受ケテ居リマスカ、之ニ付テ今少シ
ク詳細ナル御答ヘガ願ヒタイノデアリマス
ソレカラ次ニ青年學校教員養成所ノ昇格
ノ問題デアリマスガ、先程庄司君ノ質問
ニ對シテノ御答ヘハ、今調査ヲシテ明年
度上程スルト云フヤウナ御答ヘデアリマ
シタ、昨年國民學校ノ教育上師範學校ノ
專門學校昇格ノ當時ニ此ノ質問ガ各方面
デ當局トノ間ニ交ハサレタ記憶ハアリマ
スガ、同時ニヤルヨリモ寧ロ先ニヤラネバ
ナラヌ事情ノアルモノニ對シテ、師範學校
ハ各府縣ニ一校ツツアルケレドモ、此ノ養
成所ハ府縣毎ニ置クト云フコトハ數ノ上カ
ラ考慮ヲ要スルカラ、是ハドウシテモ今一
年調査ヲスルト言ハレマシタガ、是モ尤モ
ナリトシテ居ル、其ノ調査ハ私ハ十七年度
ニ出來テ居ラネバナラスト思フノデアリマ
スガ、ソレガ今申上ゲタ調査ト言ハレル
コトニ付テ、果シテ只今ノ御答辯通り十九
年ニ實現出來ルヤ否ヤ、昨年ノ御答辯カラ
見ルト聊カ之ニ不安ヲ持ツモノデアリマス
ガ、此ノ點ヲ明確ニ御答ヘヲ願ヒタイト存ズ
ルノデゴザイマス

ソレカラ青年學校ノ専任校長、専任職員ト
云フコトヲ庄司君ノ質問ニ御答ヘニナリマ
シタガ、是ハ何時モ質問ニ上ルノデアリマ
スガ、私ハ此ノ青年學校ト云フモノニ付テ、
文部省ガ果シテ教育上最モ重要ナリト考
ヘテ居ルカドウカト云フコトヲ私ハ疑ハザ
ルヲ得ナイ、先程庄司君カラモ、青年學校
教員ノ養成所ガ一師範學校ノ片隅ニ置カレ
テ居ルト云フヤウナ、居候扱ヒヲ受ケテ居
ルト言ハレマシタガ、教員養成所ニ於テサ
ウデアリマスガ、青年學校ノ現狀ト云フモ
ノハ、名ハ青年學校デアリマスカレドモ、
全國ニ約一萬六千アルト思ヒマスガ、其ノ
中大部分ハ何レモ以前ノ小學校デアル國民
學校ニ併置セラレテ居リマシテ、其ノ校
長、其處ノ訓導ガ許サレタル資格ノ上デ校
長タリ訓導タリ得テ教ヘテ居ルト云フヤウ
ナ次第デ、一面ニハ青年ヨノト云フ傍ラ、其
ノナサレル所ヲ見マスルト、全ク繼子扱ヒ
ナリ、ドウデモ宜シト云ツタヤウニ見エ
ル場合ガ多イノデアリマス、何トナレバ此ノ
教ヘル所ノ先生ハ固ヨリ師範學校ヲ出テ來
タル先生デ、今日專門學校ニ昇格セネバナ
ラストマデ此ノ師範學校ノ程度ヲ見テ居ラ
レ、畫一、形式的ナル教育ヲ本旨トシテ教
ヘラレタル師範學校カラ出タノデアリマス、
之ニ青年教育——元氣發刺タル國家ノ中心ヲ
擔フ青年ヲ教ヘルダケノ勇氣ト覇氣ト信念
ガアルカ、私ハ疑ハザルヲ得ヌノデアリマ
ス、隨テ其ノ教授ノ仕方タルヤ、殆ド尋常
小學校ノ子供ヲ教ヘルヤウナ、柔弱ニシテ
且ツ形式的、其ノ場逃レノ教育ヲ致シテ居
ルガ爲ニ、其ノ青年教育ノ成績タルヤ極メ
テ擧ラヌ、只今中村君カラモ善イ所モアル
ガ、惡イ所モアルト云フ御心配ガアリマシタ
ガ、果シテ文部省ハ之ヲ監督シテ居ルヤ否ヤ、
私ハ此ノ點ニ付テ甚ダ疑ヒヲ存スルノデアリマ
ス、デアリマスカラ、此ノ専任校長、専任
職員ノ問題モアルガ、更ニ之ニ續イテ國民
學校ノ普通科ノ兒童ト共ニ教育ヲスルト云
フヤウナヤリ方ハ、青年教育ノ本旨デハナ
イ、然ルニ其ノ兒童ノ机ト腰掛ヲ借リテ、

其ノ兒童ノ教室デ之ヲ教ヘテ居ルト云フ現
狀ガ多イノデアリマス、是等ハ何レモ、青
年ニ青年ヲシキ教育ヲスル爲ニハ、其ノ學校
タルヤ又ソレニ相應シクナケレバナラヌ、
之ニ依リマシテ一町村一校ノ獨立校ヲ置イ
テ、サウシテ郷土ニ留マル彼等青年ヲシテ
一學窓ノ下ニ學バセテ置クト云フコトガ、
又將來其ノ町村ノ自治ヲ運行スル上ニ於テ
非常ナル效果ノアルコトハ經驗ニ徴シテ明
カデゴザイマス、仍テ此ノ校長及ビ專任教
師、獨立校舎ト云フヤウオモノニ付テ、今
文部省ガ見テ居ラレル所ノ御意見ヲ私ハ承
リタイト思フ、ドウシテ行クノカ、又如何
ナル方法ヲ以テ之ニ臨ンデ居ラレルノカト
云フコトヲ承ツテ置キタイト存ズルノデア
リマス、以上ハ庄司君ノ御質問ニ關聯シタ
質問デアリマス

○橋田國務大臣 青年學校ガ、其ノ成立ノ
歴史的事情カラ致シマシテ、今日尙ホ不十
分ナル點ガ多方面ニアルコトニ付テハ洵ニ
遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、斯様ナル
點カラ致シマシテ、掛聲バカリデ豫算其ノ
他ニ於テモ甚ダ少イ、文部省ニ於テハ果シ
テ青年教育ト云フコトヲドウ考メテ居ルノ
デアラウカト云フ御疑ヒノ出テ居リマスコ
トニ對シテハ、洵ニ申譯ナイト存ジマスガ、
青年教育ヲ重視スル點ニ付キマシテハ、他
ノ學校、殊ニ國民學校ニ次イデ一ト申シ
テハ又御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、
國民學校同様ニ此ノ青年學校ガ如何ニ重大
ナルモノデアるかト云フコトニ付テハ深く
考ヘ、出來ルダケ早ク青年學校ヲアルベキ
姿ニ立直シタイト考ヘテ居ルノデアリマス
ガ、色々ナ事情カラシテ今日マデ其ノ點ニ手
ガ廻リ兼ネマス——ト言ツテモ、是モ亦申譯

ガアリマセヌガ、廻リ兼ネテ居ル點ハ甚ダ
遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマシテ、國民學
校ノ問題カラ師範學校ノ問題ガ一應片付キ
マシタ此ノ際、十八年度ニ於キマシテハ專
ラ青年學校ニ主力ヲ注イデ、改善ノ方途ヲ
講ジタイト固ク決心ヲシテ居ルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ教員養成所ノ改善等ニ付テ
モ、實ハ師範學校改善ト同時ニ實行シタイ
ト云フ企圖ヲ以テ色々調査モ致シマシタシ、
又畫策モ致シタノデアリマスガ、種々ノ事
情カラソレヲ本年同時ニ實行スル運ビニ相
成リマセヌデシタノデ、是モ甚ダ遺憾ニ存
ジテ居ルノデアリマスガ、是ハ青年學校教
育ノ刷新振興ヲ畫策致シマスル際ニ、是非
トモ實行致サナケレバナラヌ問題トシテ、十
八年度中ニハ單ニ調査ヲ終ルト云フノミナ
ラズ、必ズ計畫ヲ齎シテ、其ノ次ノ年度カ
ラハ是非實現ヲスルヤウニ致シタイト云フ
コトヲ固ク決心シテ居ルノデアリマス、其
ノヤウナ點カラナリ色々ナ點カラ致シマシ
テ、青年學校ト云フモノニ對シテノ監督ガ、
或ハ十分ニ行届イテ居ナイ點モアリマセウ
シ、又此ノ青年學校ノ獨立性ニ對シテノ實
現ガ甚ダ不十分デアルヤウナ點ノ多クアリ
マスコトハ、深く關心ヲ拂ツテ居ル點デ
アリマシテ、出來ルダケ速カニ青年學校教
育ノ體制ヲ整ヘマシテ、此ノ重要ナル青年
教育ヲ一日モ速カニ其ノアルベキ姿ニ持チ
返シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、
事務上ノ事柄ニ付キマシテハ政府委員ヨリ
御答ヘ致サセマス

○藤野政府委員 只今ノ樋口サンノ御尋ネ
ノ青年學校教員ノ俸給費ニ對スル國庫負擔
ハ殆ド每議會要望ル所デアルガ、未ダニ實
現セズ、其ノ點國民學校教員ノ俸給ニ於テ、現

ニ高等科ハ未ダ義務制實施ニ至ラズトモ、高
等科教員俸給ハ府縣費ニ移管サレテ居ル、
彼レ此レノ間ニ取扱上差異ヲ生ズベキ如何
ナル理由ガアルカト云フ御尋ネデゴザイマ
スガ、此ノ點ハ實ハ私共モ根本トシテハ樋
口委員ト全ク同様ノ感ヲ持ツテ居ルノデア
リマシテ、一日モ速カニ此ノ青年學校教員
ノ俸給ノ經費移管竝ニ國庫負擔ノ實現ヲ要
望スル氣持ニ於テ變リガナイ次第デアリマ
スルガ、御承知ノ如ク國民學校教員俸給費
ニ付テハ高等科教員ハ府縣費支辨ニハ相成
ツテ居リマスルガ、併シナガラ高等科ノ教育
ニ專ラ携リマスル教員俸給ニ付キマシテハ
國庫補助ノ對象ト致シテ居リマセヌ、除イ
テ居ルノデアリマス、併シ御尋ネノ點ハ國
庫負擔ノ對象トナルカナラヌカデハナクシ
テ寧ロ府縣費移管ノ關係ニゴザイマスルガ、
此ノ點ハ實際上事務的ニ此ノ高等科教員ノ
俸給費ヲ初等科教員ノ俸給費ト分別致シマ
シテ初等科教員ハ府縣費ヲ以テ支辨シ、高
等科教員ハ町村費ヲ以テ支辨スルト云フガ
如キ體制ヲ執リマスルコトハ事務上到底出
來難イノデアリマス、此ノ關係ハ恰モ青年
學校ノ教員ノ中義務制ニナツタ部分ダケノ
教員俸給ヲ府縣費ニ移シテ義務制ニアラザ
ル部分ヲ町村ニ殘スト云フコトガ出來難イ
ノト實ハ同様ノ關係ニアルノデアリマス、
全ク是ハ事務上ノ關係カラ致シマシテ、取
扱上ノ困難ノ爲ニ、國民學校教員ニ付テハ
一應國民學校高等科ノ教員モ同様ニ府縣費
移管ト相成ツテ居ル次第デアリマス、併シ
ナガラ此ノ點ニ付キマシテハ午前中文部大
臣カラモ一應御答ガゴザイマシタヤウニ出
來得ル限り速カニ青年學校教員ノ府縣費移
管、國庫負擔ト云フコトノ實現ヲ期シタイ

ト云フ考ヘテ文部省ト致シマシテモ何
處マデモ努力ヲ致スト云フ考ヘデ居リマス、
此ノ點御諒承置キテ願ヒマス

○樋口委員 只今御答辯ヲ戴キマシタガ、
職員ノ俸給ノ國庫負擔ノ件デアリマスガ、
御同情ヲ願ヒタイト思ヒマスコトハ、マダ
學校長ガ國民學校長ヲ兼ネテ居ル所ハ國民
學校ノ方デ支給セラレルカラシテ苦痛ハナ
イノデスガ、此ノ一何千ト云フ中デ獨立
專任教長ヲ持チ、專任教員ヲ持ツテ居ル所
ハ町村負擔トナツテ居ルノデアリマス、專
任ノ校長、或ハ專任ノ職員、是コソ青年教
育上ニ於テ最モ大切ナル所ノ人ダト思フノ
デアリマス、國民學校ヲ兼任シテ青年學校
ヲヤツテ居ル所ハ、青年教育ニ對スル熱意ノ
程度ガ全ク違フノデハナイカト思フノデア
リマス、殊ニ連日通年ノ通學ヲヤツテ居ル
所ノモノハ國民學校ノ高等科ニ匹敵スルノ
デアリマスガ、隣村ハ高等科ダカラ縣費デ
來ル、青年學校ノ普通科ヲ以テ連日通年ヲ
ヤツテ居ル町村ニ付テハ其ノ町村ノ負擔ニ
ナツテ來ル、今日本省デモ分ツテ居ルト思
ヒマスガ、青年學校ニ於テ連日通年ノ普通
科ヲヤツテ居ル所程青年教育ニ熱意ヲ持ツ
テ居ルノデアリマス、青年ニ直チニ社會人
トシテ活動ノ出來ル教育ヲ致シタイガ爲ニ、
ソレノ工面ヲシテ獨立校舎モ造リ適當ナ
ル校長、職員モ選ンデ益、青年教育ニ力ヲ致
シテ居ルノデアリマス、然ルニソレニ對シテ
ハ町村負擔トナリ、片方ニハ縣費負擔トナ
ツテ居ル、私ノ縣デモ四十幾ツカノ獨立校
舎ヲ持チ普通科ヲヤツテ居ル所ガアリマス
ガ、經濟上悲シイカナ教育ニ理解ノナイ議
員ガ多ク縣費ガ貴ヘルナラバソチラノ方ガ
良イデハナイカ、教育ハ金デハ買ヘナイト

ト云フ考ヘテ文部省ト致シマシテモ何
處マデモ努力ヲ致スト云フ考ヘデ居リマス、
此ノ點御諒承置キテ願ヒマス

云フ理解ガアルナラバ宜シイガ、理事者ハ
縣費支給ノ方ヘ轉向シテ會ツテハ各學校ニ
併置セラレテ居ツタモノヲ一ツニ纏メル爲
ニ一町村一校ノ原則ニ基キテ其ノ當時ノ當
局ハ教育上理解ノナイ所ノ人ヲ説キツケテ
幾ツカノ學校ヲ一ツニ寄セタ、所ガソレニ
ハ縣費ノ補助ガ來ナイ、サウシテ再ビ各
國民學校ニ併置ヲセヨト云フコトガ國民
學校令ノ原則ニナツテ居ル、其ノ前ニハ
青年ノ教育ヲヤカマシク言ハレ、ソレニ
從ツテヤツタ所デハ今日町村支給ニナツテ
居ルノデ、ソレ見ヨト言ハレル、何デモ國
ノ言ハレルコト、縣ノ言ハレルコトニ從ツ
テ行クカラサウ云フコトニナル、是デハ國
及ビ縣ノ權威ニモ係ハルト思ヒマスシ、再
ビ元ニ戻サネバナラヌ理事者ノ悲シキ心情
ニ御同情願ヒタイ、庄司君ハ來年カラト云
フヤウナコトヲ言ハレルケレドモ、實際ハ
連日通年ノ普通科ヲ持ツテ居ル所ハ錢ガ貴
ヘヌデ、隣ノ一般ノ國民學校ノ方ハ錢ヲ貴
フト云フ形ニナツテ居ル、仍テ縣廳ニ於テ
モ出來ルダケ是ノ補助ヲ殖ヤシテ鈞合ノ取
レルヤウニハサレルヤウデアルガ、町村ノ
理事者トスレバ縣廳ヘオ百度參リヲシテ、
サウシテ補助ノ増額ヲ御願ヒスル狀態デア
ル、國家ノ要請スル剛健ナ青年教育ニ全力
ヲ舉ゲテ居ル町村ガ補助金ノ額増ニオ百度
ヲ踏ムト云フコトハ如何ニモ不見識ノコト
デアリ、青年教育上精神的ニモ重大ナル影
響ガアルト思ヒマス、今日青年學校ノ必要
ナコトハ申スマデモナイ、先程大臣モ是カ
ラハ一ツト云フ御話デアリマシタガ、私共
ハ此ノ大戦争下ニ於テ青年ノ使命ヲ考ヘル
時、寧ろ國民學校ノ方ナドハ一年ヤ二年遅
レテモ、直グニ役立タセナケレバナラヌモ

ノ方カラ先ニヤルコトガ順序デハナイカ
ト思ヒマス、今第一線ニ血ト肉トヲ拂ツテ
居リマスル青年ハ、義務教育ニナリマシタ
當時ノ青年デゴザイマス、何レモ是ガ適齡
デアリ、皆一線ニ立ツテヤツテ居ルガ、ドウ
カシテ彼等ニ十分ナトハ言ハヌデモ、出來
ルダケ完全ナ知識ヲ與ヘ、完全ナ技能ヲ與
ヘ、サウシテ心身共ニ健全ナル訓練ヲ與ヘテ
ヤツテ、遺憾ナク私ハ御國ノ爲ニ彼等ガ全
力ヲ捧ゲルコトノ出來ルヤウニシタイト思
ツテ居ル、ソレアルガ故ニ今日私共ハ青年
ノ教育ト云フコトハ、國民學校ノ後カラ來
ル者ヨリモ、先ヅ以テ之ヲヤラネバイカス、
中學校教師範學校ダト云フモノニ莫大ナ金
ヲ掛ケナガラ、青年學校ニ對シテ何ト云フ
貧弱ナ情ナイコトヲスルノカ、實際文部省
ハ繼子扱ヒニシテ居ルト一般ハ言ツテ居ル
ノデゴザイマス、洵ニ是等上級學校ヘモ行カ
ズ、小學校ヲ出ルヤ直チニ彼等ハ「ハンマー」
ヲ揮ヒ、職場ニ全力ヲ上ゲテ、サウシテ全
ク今日ノ戦力増強ノ中心ニナツテ役立ツテ
居ルノデアリマス、私ハ斯様ナ意味ニ於キ
マシテ、庄司君ハ來年カラデ宜イヤウナコ
トヲ言ハレマスケレドモ、庄司君ノ方ノ實
情ハソレデ宜イカモ知ラヌガ、全ク青年教
育ニ熱意ヲ持ツテ居ル所カラ見マスルト、
私ハ本年ト言ハズ、同時ニ之ヲヤツテ職キ
タイ、是ガ私ハ本當ダト思フノデゴザイマ
スルカラ、出來ルナラバドウカ本年度ニ於
キマシテ、如何ナル方法デモ宜シイガ、國
家ガ之ヲ認メテ國民學校同様ノ扱ヒヲ受ケ
タト云フコトダケデモ、其ノ精神狀態ニ及
ボス效果ハ非常ニ大ナルモノガアルコトト
思フノデゴザイマス、只今ノ大臣ノ御説デ
ハ御心配ニナツテ居ルヤウデゴザイマスケ

レドモ、其ノ額タルヤ國家ノ上カラ見レバ尊
イ錢デアリマスルケレドモ、洵ニ微々タルモ
ノデアルト私ハ思フノデゴザイマス、併シ
其ノ微々タルモノノ及ボス效果ヲ考ヘマス
ル時ニハ、私ハ又實ニ大ナルモノガアルト
存ズルガ故ニ、ドウカ町村ノ爲デハナク、
國家青年教育ニ付テ御心配ヲ願ヒタイト存
ズルノデゴザイマス

ソレカラ只今大臣ガ愈々國民學校、師範學
校等ノ整備ノ見透シガ付イタカラト云フノ
デ、青年教育ニ付テ熱意ノアル御答辯ヲ得マ
シタガ、ソレニ付キマシテハ此ノ大東亞戰、
所謂事變前ニ青年學校令ト云フモノガ出
來テ居リマシテ、此ノ大東亞戰争下ニ於キ
マシテハ、曩ノ青年學校令並ニ青年學校ノ制
度ト云フモノハ戰時下ニ於テ不適當デアリ、
又大東亞共榮圈ノ導指者タル所ノ意味カラ
見マシテモ、今少シク學校令並ニ制度ノ改
正ヲシテ貰フ必要ガアルト思ヒマスルガ、
是等ニ付キマシテ今日マデ何カ御研究ニナツ
テ居ル點ガアリ、御意思ノアル所ガアレバ、承
ハリタイト存ズルノデゴザイマス

尚ホ次ニモウ一點伺ヒマスガ、青年學校ノ
校舍ヲ建築致シマス時ニ起債ヲ願ヒマス、
是ハ許サレヌノデゴザイマス、國民學校
ノ方ハ許サレマスガ、青年學校ノ建築ノ方
ハ起債ヲシテマデ造ラヌデモ宜イト云フコ
トニナツテ居リマスガ、是ハ本省カラ指示
セラレタモノカ、地方廳ニ依ツテノ手加減
デアルカ、之ヲ一ツ承リタイ

ソレカラモウ一ツハ此ノ青年教育ノ重大
性ニ鑑ミマシテ、青年教育官ト云フノガ特別
任用デ定メラレテ、先程大臣カラモ御話ガ
アリマシタガ、此ノ青年學校ノ青年教育官、
此ノ人ガ唯大學ヲ出タ位デ——關係ノナキ

課長ガナツタリ、又地方事務所長ガ其ノ役
ヲ指導ナドシテ居ル縣ガアルト云フコトヲ
聞キマスガ、是等ハドウカ大學卒業生ノ踏
臺ニナラヌヤウニシテ職キタイ、全ク青年
教育位ムヅカシイモノハナイノデアリマス、
ソレデ一向關係ノナイ所ノ課長ナドガ來テ
指揮ノ立場ニ立ツテ貰フ位ナラバ、寧ろナ
イ方ガ宜イ場合モ多イノデアリマス、是等
ニ付キマシテ無論本省ト雖モソレ、御檢
討ノ上デアラウト思ヒマスガ、サウ云フコ
トガ若シアリト致シマスレバ、私ハ此ノ際
青年教育官ト云フモノノ任命ニ當ツテハ、
一層御檢討ヲ願ハネバナラヌト存ズルノデ
ゴザイマス、ドウカ一ツ宜シク御願ヒ致シ
タイモノデアリマス

○橋田國務大臣 明年度ヲ期シテ青年學校
教育ノ改善刷新ヲ試ミヨウトシテ居ルコト
ハ申上ゲタ通りデアリマスガ、ソレニ付キ
マシテハ無論青年學校令ト云フモノノ根本
的ナ見直シハ是非トモ必要デアルト存ジテ
居リマス、ドウヤウニト云フコトハ今申上
ガ兼ネマスガ、學校令ヲ能ク改正致シマシ
テ、眞ニ青年學校教育ノ目的ノ達成ニ遺憾
ナキヲ期シタイト思ツテ居リマス、其ノ他
ノ點ニ付テハ政府委員ヨリ申上ゲマス

○藤野政府委員 先程青年學校校舍建築ニ
關シテ、起債ノ許サレナイコトハ甚ダ遺憾
デアリ、右ハ本省ノ方針ニ基クカ、或ハ地
方廳ノ手心デヤツテ居ルノデアルカト云フ
御尋ネデアリマシタガ、仰セノ通り青年學
校ノ校舍建築ニ説スル地方起債ハ只今許サ
レテ居リマセヌノハ事實デアリマス、此ノ
點ハ當局トシテモ樋口委員ト同様ニ考ヘマ
シテ、青年教育ノ必要ノ上カラ、又青年ノ
保健上ノ關係其ノ他凡ニル點カラ考ヘテ見

マシテ、校舎建築等ニセメテ起債許可ノ途ヲ開キタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ通り之ニハ本省ダケノ關係係ゴザイマセズ、寧ろ内務省等ノ關係ガゴザイマシテ、是マデトモ實ハ本省ト致シマシテハ、出來得ル限り此ノコトノ實現ヲ期シタク存ジマシテ、内務省ト數次協議ヲ致シテ居リマス、然ルニ一方ニハ現在資金ノ統制關係等モゴザイマシテ、又一面資材等ノ關係モ考慮セネバナラズ、ソレノ事情モゴザイマシテ、未ダニ實現ヲ見テ居リマセヌコトヲ甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマスガ、尙ホ今後トモ此ノ點ニ付キマシテハ、出來得ル限り御趣旨ニ副フヤウニ、當局ト致シマシテ努力ヲ致ス考ヘデゴザイマス

ソレカラ最後ニ御述ベノゴザイマシタ青年教育官ニ、經歷其ノ他カラ見テ適當ナラザル——適當ナラザルトハ言葉ガ餘リ強過ギマスガ、稍、關係ノ稀薄ナル者ガ任用セラレテ居ルヤウデアルト云フ點ニ付テノ注意ヲ戴キマシタ、洵ニ有難ウゴザイマシタ、此ノ點ハ實ハ先頃御承知ノヤウニ、行政簡素化ノ結果、中央地方ニ於テ相當官職ノ整理統合並ニ之ニ伴フ人事ガ行ハレマシタ結果、左様ナ關係カラ生ジテ居ル事情モ若干アルカノヤウニ吾々ノ方ハ承知ヲ致シテ居リマス、併シハ極メテ經過ノ事情デモゴザイマスノデ、御注意ヲ戴キマシタ點ハ十分心得マシテ、今後御示シノヤウナ遺憾ナ點ノナイヤウニ、關係省トモ協議致シ、青年教育官ノ適材ヲ得ルコトニ十分努力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○編口委員 只今ノ御言葉ハ甚ダ恐縮デアリマスガ、實ハ今申シマスヤウニ教員ノ俸

給ハ町村デ拂ハネバナラズ、ソレデ町村經濟工面シテ學校ヲ造ラウト云フ場合ニモ、青年學校ノ方ハ建築ヲ先ヅ見合セロ、ナント云フ實際問題ニ直面致シマス、果シテ青年教育ト云フコトヲ、縣廳デモ何處デモ認識シテ居ラレカドウカ、掛聲ダケ其ノ運ビニ至ラヌモノデヤナイカ、是ハ青年教育上ニ於テ非常ナ危惧ノ念ヲ私ハ持ツト同時ニ、其ノ向上發達ヲ萎縮セシメル虞ガアルト思ヒマスノデ、事ハ僅カノコトノヤウデアリマスケレドモ、ソレ等ノ及ボス影響ヲ御考慮願ヒマシテ、今後何卒適正ナ方法ヲ採ツテ戴キタイト思ヒマス

ソレカラ青年教育官デアリマスガ、實際青年ノ教育ニ當ル者ハ、身先シテ範ヲ示スト云フ行キ方テナケレバ青年ハ躓イテ來ナイノデアリマス、靛ヲヤルナラバ其ノ教育官ガ眞先ニ寒水ニ飛込ム所ニ於テ、青年ハ勇氣百倍シテ之ニ躓イテ行クノデアリマス、講演ヲシテ貰ツタリ青年ラシカラザルヤウナ行動ヲ取ツテ貰フト、青年ト云フモノハ眠ツテシマツテ、寧ろソレハ柔弱ナヤウナ感ジニ引キ戻サレテ來ル虞ガアリマス、此ノ教育官タル人ハ勿論種々ノ方面ニ御心配ヲ願フケレドモ、何ニシテモ今戰ツテ居ル現在ゴザイマスカラ、理想ハ抛ツテデモ、兎ニモ角ニモ青年ヲ元氣ニ導イテ行クト云フコトノ信念カラ言フト、一番偉イトシテ敬意ヲ表スル人デアリマスカラ、是ガ陣頭ニ立ツテ實行スルト云フコトガ、何ヲ言ヒ、何ヲ教ヘルヨリモ一番青年ニ效キ目ガ良イノデ、地方事務所長ニモ適當ナ人ガアリマセウガ、ドウカ元氣ト覇氣ノアル人間ヲ第一條件ニシナケレバナラヌト存ズルノデゴザイマス、御參考マデニ申上ダ

テ置キマス 尙ホ一寸伺ヒタイノデスガ、國民學校令ノ方デゴザイマス、國民學校ノ義務制ハ八年制ニナツタノデアリマス、是ハ民國ノ基礎的教育ヲセヨト云フノデ、二箇年ノ延長ヲセラレタコトニ見マス、此ノ民國ノ基礎的教育タル八年ヲ終ツテカラ中等學校ヘ行クノガ順序ダト思ヒマスガ、ヤハリ初等科ノ六年ヲ終ヘレバ中學校ヘ行クト云フ事柄デアアル、ソレデ此ノ二箇年ト云フモノ、俗ニ袋教育ト謂フヤウナコトデゴザイマス、私共ノ最初二年延ビタト云フ感ジハ、八年ズツト小學校デヤツテ、ソレカラ中學校ヘ入ツテ、中學ノ方ノ年ガ縮マルヤウニ思ツテ居ツタノデアリマス、ソレデ此ノ先生ハ八年ヲ教ヘル先生ダカラ、專門學校程度ニ昇格シナケレバイカヌ、斯ウ云フコトヲ感ジタノデアリマスガ、從來通り六年カラ入レルト云フコトデハ、國民ノ基礎的教育ト云フコトニ付テ、ソコニ矛盾ガアリハセヌカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リタイト存ジマス

ソレカラ近頃話ニ聞キマス勤勞奉仕ト云フコトガ學校デヤカマシクヤラシテ居ル、心身鍛鍊トシ、又時局下努力不足對策トシテ、全國的ニ各學校デヤツテ居ル、ソコデ勤勞奉仕ニ先ヅ時間ヲ取ラレル、一日トカ二日トカ、各會社工場、其ノ他農村デ心身鍛鍊ト云ヒマスガ、修養上ニ於ケル道場訓練ナドガヤカマシク言ハレルコトハ結構デアリマスガ、一面カラ之ヲ見マス、先程松浦君カラ言ハレタノト私ノハチヨツト逆ニナルカモ知レヌガ、餘リ勤勞奉仕トカサウ云フコトヲ、最高學府ト言ハレルヤウナ人ガヤツテ居ツテ、智能教育ノ方ヲ怠ツテ

居リハシナイカ、聞ク所ニ依リマス卒業者ハ給料ハ決マツテ居ル、行先モ決マツテ居ル、事變前ノヤウニ就職難ト云フコトモナイ、又優秀デモ我が希望ノ所ヘ行クコトモナラナイ、勤勞奉仕ト心身ノ鍛鍊ニ合格シテ、右向ケ右、左向ケ左ノ教練ガ巧ク出來レバ卒業證書ハ樂ニ貰ヘルト言ハレテ居ルノデアリマス、是等ニ對スル可否ハ私共分リマセヌガ、文部當局ノ見ラレル御意見ヲ伺ヒタイト思フノデゴザイマス

ソレカラ東亞共榮圈ノ指導ト云フ大キイコトデゴザイマスガ、私共ノ考ヘルノニ、東亞共榮圈内ノ被指導國ニ對シテ指導スル者ハ、學術技藝勿論必要デアリマスガ、何ヲ措イテモ先ヅ國民精神ガ指導ノ本トナラネバナラヌト思フノデゴザイマス、其ノ國民精神タル、所謂我が日本精神ハ何レニシテモ國ノ本タル農ニアル、ソコデ假令向フニ必要ガアラウガナカラウガ、農業ヲ先ニ移シテ行ク、其ノ者ニ對シテハ、例ハバ滿洲、支那デアリマスナラバ、之ニ大陸的教育ヲ與ヘル、ソシテ其ノ土地ノ者ハ右ヘ習ヘ、此ノ模範村ヲ見ヨト云フコトニスル、又南方ニ對シテモ農ヲ先ニ進メテ、同ジヤウニ仕向ケテ行ク、サウ云フコトニ於テ初メテ精神ガ移ツテ行クノデハナイカト思ツテ居リマス、ソレニ付テ先立ツモノハ何デアルカト言ヘバ、農業ト雖モ大陸ニ出デ、又外國ニ行クニ付テハ相當高等ナ技術ヲ必要トスル、ソレニハ農科大學ノ増設ガ必要デハナイカ、是ハ戰前ニハ一時餘リ思ハシカラザル話ガアリマシタガ、斯ウナツテ見ルト、ヤハリ農科大學ヲ増設シテ、ソコニ於テ大陸南洋ニ農村移住ヲスル者ニ技術的訓練ト國民的精神ヲ十分植付ケルコトガ、

東亞共榮圈指導ノ上ニ於テ一番必要デハナイカ、滿洲デモ何處デモ、向フノ人ニ學術技藝ヲ教ヘテ、向フノ人ハ日本語ガ幾ラデモ出來ルガ、コナラノ者ハ滿語モ露語モ出來スト云フコトデハドウカ、是ハ見方ニ依ツテハ、日本語ヲ廣メルト云フコトハ、英國全盛ノ因ガ英語ヲ廣メタト云フコトニアツタト云フ事實ニ當ルコトカモ知レマセヌガ、私ハ世界ヲ指導スルト云フ上カラ言ツテ問題ガアルト思ヒマス、向フノ事情ガコナラニ分ラヌデ、指導ナド云フコトハ出來ヌ、ヤハリ學術技術ヲ向フノ者ニ教ヘルヨリモ、コナラノ者ヲ大陸的ナリ南洋的ニ教育シテ、ソコニ植付ケ、十年、五十年、百年經ツコトニ依ツテ初メテ日本精神ガ向フニ移ツテ行クノデハナイカ、サウ云フヤウニ考ヘル時ニドウシテモ農ヲ以テ先ニヤラナケレバナラヌ、南洋開拓ヲ政府ハ試ミテ居ラレマスガ、ソレニハ農業ノ最高學府ヲ出タ者ガ必要デアル、固ヨリ私共ノ考ヘハ間違ツテ居ルデアリマセウガ、其ノ點ニ付テ御造詣アル大臣ノ御教示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 國民學校ニ於テ國民ノ基礎的訓練、鍊成ヲ致シマスノニ八年ヲ要スルト云フコトニ相成リマシタノハ、從來ノ六年間デ國民學校ヲ卒業シテ社會ニ出ルト云フコトデハドウシテモ國家ノ中堅ヲ形作ル國民トシテハ其ノ教育的基礎ガ不十分デアルト認メタカラデアリマス、併シナガラ其ノ中ノ上級學校ヘ進ンデ尙ホ學問ヲスル者ニ於テハ、上級學校ヘ進マセルノニ少年ノ心理或ハ身體ノ發育狀況等カラ見テヤハリ六年カラ上級ノ學校ヘ進マセル方ガ適當デアルト云フ教育的ナ立場カラ六年カラ連

續スルコトニシテ居ルノデアリマス、此ノ國民的ナ基礎教育ハ八年デアルカラ、其ノ上ニ更ニ上級學校ヲ造リ上ダタラト云フ御趣旨ハ、是ハ一面ノ考ヘ方トハ存ジマスケレドモ、單ニ國民學校ヲ以テ終ルノデナクシテ、更ニ進ンデ長時ニ互ツテ教育ヲサレヨウトスル者ニ取ツテハ、ヤハリ六年カラ連續シタ方ガ適當デアルト云フ考ヘノ下ニ、依然六年ヲ以テ中等學校ヘノ連續ト致シテ居ルノデアリマス、又勤勞奉仕、道場訓練ニ付キマシテハ、一部ニハ勤勞モスレバ其ノ本旨ヲ誤解シテ居ル向キモアリマスガ、勤勞奉仕ヲヤラセル學校側ニ於テモ、又勤勞奉仕等ヲ實行スル學生生徒等ニ於テモ、其ノ趣旨ガマダ十分徹シナイ點ガアルコトハ甚ダ遺憾デゴザイマス、併シ最近ニ至リマシテハ此ノ勤勞奉仕ヲ學生ニヤラセマス場合ニ、單ニ勞働力ヲ社會ニ提供スルト云フ意味デナク、勤勞ヲ通ジテ心身ヲ鍊磨スルト云フコトノ趣旨ハ段々徹底シテ來タト思フノデアリマス、然ル所只今御話ノ如ク、一部ノ學生等ニ唯ソレサヘヤツテ居レバ學業ノ方ハ疎カニシテモ別ニ差支ナイト云フヤウナコトヲ口ニスル考ガアルコトヲ私モ聞イテ居リマスガ、ソレハ甚ダ間違ツタ考ヘデゴザイマシテ、其ノヤウナコトノナイヤウニ是カラ十分ニ學校ヲ指導シ、又學生生徒等ノ誤解ヲ解キタイト思ツテ居ルノデアリマス

次ニ東亞共榮圈ノ指導者トシテノ日本國民ノ立場、先ツ精神のナ體得ヲ基ニスルト云フコトハ全く御同感デゴザイマス、然ル所南方諸地域ニ差當リ何ヲ持ツテ行ツテ指導の立場ヲ確保スベキカニ付キマシテハ、是ハ種々事情モ幅濶シテ居リ、事態又現ニ戰爭ヲ遂行シテ居ルト云フ現實ノ段階ニ於

キマシテハ、直チニ農ダケヲ以テ之ヲ實行スルト云フ段取ニ相成ルカナラヌカト云フ事柄ハ容易ニ此處ニ斷定シテ申上ダ兼ネル點デゴザイマス、併シナガラドウノ方面ニ於キマシテモ、又各方面ノ者ガ出掛ケナケレバナラヌコトデモアリマスシ、又各方面ノ者ガ何レモ唯單ニ所謂日本人デアルカタト云フノ出掛ケルノデハナク、眞ニ日本精神ノ體得者デアリ又一面ニ於テハ學術技藝ニ堪能ナ者デアルコトヲ必要トスルコトハ御説ノ通りデゴザイマシテ、其ノヤウナ方向ニ於テ農業教育ノ最高學府ガ現ニアラダケデハ甚ダ不足デアルト云フ事態ノ見透シガ若シ付キマシタラバ、是ハ例ヘバ農學部ヲ増設スルト云フヤウナ事柄ニ付テハ、十分考慮スベキデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ今尙ホ諸種ノ戰爭狀態等ニ於キマシテ、主トシテ技術方面トシテ考ヘラレテ居リマスモノハ、工業方面ノ技術デゴザイマスノデ、其ノ方ノ擴張ハ凡ユル方面ニ向ツテ今既ニ實現サレ、又將來モ致サント致シテ居ルノデアリマス、併シ左様ナ際ニ能ク其ノコトヲ考ヘテ參リマセヌト、手落ちニナルモノガアリ勝チナモノデゴザイマスノデ、其ノヤウナ事柄ヲ考ヘマ

○樋口委員 私ハ之ヲ以テ終リマス
○加藤(弘)委員 關聯シテ居リマスノデ、御許シテ願ツテ質問致シタイト思ヒマス、先程樋口サンカラ、師範學校ヲ先ニシテ青年學校教員養成所ノ方ヲ後ニシタノハイケナイト云フ御話ガアリマシタガ、私モ全くサウ思ツテ居ルノデアリマス、青年學校卒業生ハ直ダニ今日ノ生死ノ問題ニブツカルノ

デアツテ、學制改革ノ方面ノ學校卒業生ハ、直チニ生死ニブツカルト云フコトハ考ヘラレナイノデアリマス、ナゼカト云ヒマスト、青年學校卒業生ノ青年ハ直チニ戰場ニ行ク場合ガ多イノデ、其ノ青年ガ訓練ガ行届イテ居ルカ居ラナイカト云フコトハ、是ハ命掛ケノ問題デアリマス、今度ノ事變デハ私モ應召兵ノ一人デアリマシテ、補充隊デ教育方面ノコトヲヤツテ居リマシタガ、其ノ時ニ訓練ノナイ青年ヲ率キテ行ク其ノ指揮官ノ後姿ヲ見ルト、泣カザルヲ得ナイノデアリマス、死ナヌデモ宜イ所ヘ行ツテ死ンデ居ルノデアリマス、ソレデスカラ、青年學校ノ充實ト云フコトハ今日ノ問題デアツテ私ハ來年ノ問題デハナイト思ヒマス、隨テ師範學校ハ後ニナツテモ、青年學校教員養成所ハドウシテモ先ニヤナケレバナラナイ問題ト始終思ツテ居リマス、ソレガ一日遅レバ、一日ダケ日本ノ兵力ヲ削減スルノデヤナイカ、私ハサウ思ヒマス、戦力ノ増強ガ叫バレテ居リマスガ、戦力増強ニ付テハ物的ナ方面モアリマスシ、人的ナ問題モアリマス、特ニ東條首相ハ人ト云フコトヲ強ク言ハレテ居リマスノデ、此ノ人ノ教育問題ガ私ハ戦力増強ニハ一番必要ナモノダト思ヒマス、隨テ青年學校ヲ充實スルシナイト云フ問題ハ、戦力増強ノ今日ノ問題ニ非常ニ關聯シテ居ルノデアリマシテ、此ノ青年學校ノ教育ニ關聯スル青年學校教員養成所ト云フヤウナモノハ、是ハ當然師範學校ヨリモ先ニ考ヘナケレバナラヌ問題ダト思フノデアリマス、所ガ青年ノ教育ト云フコトニ對シテハ、マダ外ニ色々ノ方法ガアルノデヤナイカト云フコトモアリマスガ、庄司委員ノ御

生ハ直ダニ今日ノ生死ノ問題ニブツカルノ

話ニ依ルト、青年學校方面デモ一人當リ三圓ダト云フコトヲ言ツテ居リマス、樋口サシハ「ドイツ」ノ「ヒットラー・ユーゲント」ニハ、總計一億五千万圓位出シテ居ルト云フ話デアリマスガ、日本ノ現狀ニ比ベマスト、日本ノ青少年團方面ノ關係カラ行キマス「ドイツ」ノ一億五千万圓ニ對シテタツタ八十万圓、而モ十七年度ニ於テハ五分引ニナツタヤウデアリマス、「ドイツ」ノ一人頭十五圓ニ比較スルト、日本ノ青少年ハ補助金一人頭六錢五厘ニナリマス、ソレガ經費ノ問題カラ行キマス、大日本青少年團デ大半ノ件費其ノ他ニ使ヒマシテ、アトノ殘部ガ約二十万圓デアツテ、ソレヲ割振リマスト一人頭一錢六厘ニナル、青年學校方面ガタツタ三圓デアリ、青少年團ノ方ハ大日本青少年團ヲ入レテ僅カニ六錢五厘、是デ何ノ訓練ヲヤリ得ルカ、何ノ教育ヲヤリ得ルカ、戰力増強ヲ叫バレテ居ル折柄、是ハ全ク何トモ言ヒ様ガナイノデアリマス、兵ヲシテ喜ンデ死地ニ入レルナラバ宜イノデアリマスケレドモ、訓練モ何モナイ兵ヲ指揮スル指揮官ノ身ニモナツテ戴キタイト私ハ思フノデアリマス、一人頭ノ青少年團ノ六錢五厘ト云フコトハ、是ハ一年六錢五厘デアリマス、青少年團ノ方デ何カ射撃演習ヲスレバ、一發ノ實彈モ今日ハ六錢五厘デハ私ハ出來ナイト思ヒマス、事變前ニ於テ一發四錢五、六厘デアリマシタカラ、恐ラク今日ハサウ云フコトデハ出來ナイト思ヒマス、一發ノ實彈射撃モ出來ナイ所ノ兵ヲ連レテ營門ヲ出テ行ク指揮官ノ姿、私ハ一年六箇月其ノ姿ヲ見セ付ケラレマシタ、ドウシテモ是ハ樋口サンノ仰シヤルヤウニ、私ハ青年學校教員養成所ト云フモノハ、師範學校

ヨリモドウシテモ先ニ考ヘナケレバナラス問題デハナカツタカト思フノデアリマス、隨テ青年學校ノ充實ト云フコトハ、ソレハ當然ヤリ得ル問題ダト思フノデアリマス、私ハ經費ノ點バカリ言フ譯デハアリマセヌガ、ヤハリ經費ト云フコトニ關係スルモノデハナイカト思ヒマス、竹槍ダケデ戰爭ハ出來得ナイト思ヒマス、内原ノ青少年義勇軍ノ訓練所ニ於テハ、十七年度ニ於テ千七十圓ヲ一人ノ子供ニ使フノデアリマス、千七十圓ヲ一人ノ子供ニ使フヤウナ内原ノ青少年義勇軍ノ訓練所ノアルト云フ日本デ、青少年教育ノ爲ニ學校ノ方ハ三圓デアリ、團ノ方ハ六錢五厘ダト云フヤウナコトハ、如何ニモ私ニハ考ヘラレナイノデアリマス、ドウカ文部當局ニ於テ眞劍ニ此ノ問題ハ採上ゲラレテ、來年ト言ハズ本年ニ何トカナラスモノデセウカ、サウ云フコトヲ眞劍ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、大臣ノ御所信ヲ承リタイト存ジマス

○橋田國務大臣 先程費用ノ問題等ニ付テノ御意見ガアリマシタガ、是ハ又色々計算ノ仕方ナドモアリマセウシ、其ノ邊ニ付テ彼此レ御議論ヲシヨウトハ思ヒマセヌ、併シ青年學校ニ付テ教育ノ振興ガ手遅レニナツテ居ルコトガ遺憾ニ思ハレマスコトハ、先程カラ度々申上ゲテ居ル通りデアリマス、唯師範學校ヲ先ニスベキカ、青年學校教員養成所ヲ先ニスベキカト云フコトニ付テモ、色々意見ハアラウカト思ヒマスガ、兎ニ角同時ニ行ヒタイト思ツテ居リナガラ、同時ニ行ヘナカツタコトノ遺憾デアツタコトモ、先程申上ゲテ置イタ所デアリマス、又青年學校ノ教育ガ一日モ忽セニスベカラザルモノデアルト云フモノハ、皆サンノ御話

ノ通りデアリマシテ、ソレヲ疎カニシテ居ルモノデハナイノデゴザイマス、出來ルダケ速カニ充實ヲシタイト云フコトヲ考ヘマシテ、明年度ヲ期シテ是非トモ實行シタイト思ツテ居ルノデアリマス、併シ能ク考ヘテ見レバ、明年度中ニデモ直々ニ着手スベキ點、一年間ヲ放置スル必要モナイ問題ガ多々アラウカト思ヒマス、其ノヤウナ點ニ向ヒマシテハ極力力ヲ致シマシテ、青年學校教育ガ一日モ速カニ振興サレルヤウニ、眞ニ骨ヲ折リタイト思ツテ居リマス

○松岡委員長 加藤宗平君

○加藤宗平委員 文相ノ樋口君ニ對スル答辯ニ依リマシテ、昭和十八年度カラ青年學校教育ノ振興ノ爲ニ力ヲ致ス旨ノ非常ニ自信ニ滿チ答辯ヲ聽キマシテ、私共ハ非常ニ意ヲ強ウスルノデアリマス、他ノ學校關係ノ改善ト比ベマシテ遅レマシタコトニ付テノ文部省ノ青年學校教育觀ニ付テハ、私共亦一個ノ見解ヲ持ツテ居リマスガ、兎ニ角遅レテモ十八年度カラ心ヲ致シテヤルト云フ決意ガ出來タト云フコトハ、非常ニ喜ブベキコトデアリマス、ソレニ付キマシテ私モ此ノ際青年學校教育ニ付テ二三御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、青年學校ノ問題ニ付テハ大分先輩各位ガ御質察ニ相成リマシタカラ、其ノ點ハ重複スル所モアリマスノデ、サウ云フ所ハ省キマシテ、質問等ニ付キマシテモ同一觀點カラテ進メテ行キタイト思フノデアリマス、一ツハ今後日本ノ國防國家體制ヲ確立シテ行クト云フヤウナ點カラ考ヘマスト、今後ノ教育ノアリ方ト云フモノガ、教育ノ爲ニ教育ヲシテ行ク教育ノ純粹性ヲ保ツテ行クト云フコトガ相當困難ニナツテ來マシテ、寧ロ從來ノ考

ヘカラ言ヘバ、教育トハ異質性ノモノデアツタ詰リ勞働トカ勤勞トカ、サウ云フヤウナ異質性ノ方面ト教育ト云フモノガ一體ニナリマシテ進ムノデナケレバ、教育其ノモノノ理念ガ貫徹サレナイノデハナイカ、今後ノ教育ノアリ方ハサウ云フ異質性ノモノト一體ニナツテ進メテ行クト云フコトニシテ行カナケレバナラナイノデハナイカ、斯ウ云フ私ハ根本ノ見透シヲ持ツテ居ル、此ノ觀點ニ立チマシテ、私ハ勤勞ヲ通シテ教育ノ成果ヲ獲得スルト云フ建前ニ立ツテ居ル青年學校ノ教育ト云フモノハ、今日ノ姿ニノミ留マツテ居ルコトハ許サレナイト考ヘルノデアリマス、所ガ今日ノ青年學校教育ハ完成教育デアルト云フコトカラ致シテ、ソレ以上ノヨリ高次ナ教育トノ關係ガ茲ニ斷絶セラレテ居ルノデアリマス、例ヘバ青年學校ヲ卒業致シマシテモ、青年學校ノ卒業生ニ與ヘラレル待遇ナリ資格ナリガヨリ高次ナ學校ニ入ルニハ聊カノ用モ足シテ居ナイ、是ハ甚ダ遺憾ナコトデアリマシテ、私共ハドウシテモ、此ノ點ニ付テ文部省ノ新タナル觀點ニ立ツタ御心配ヲ戴キタイト、新タナル觀點ニ立ツタト云フコトハ、從來ノ教育ノ因襲的ナ考ヘカラ言ヘバ、兎モスレバ青年學校ノ卒業生ニ中學校卒業ト同等ノ待遇ヲ與ヘテ上ノ學校ト繋グ、斯ウ云フヤウナ見方ヲシ易イノデアリマシテ、現ニサウ云フ要求モ相當ノ青年學校教育ニ從事シテ居ル人々ノ方面カラ出テ居ルヤウデアリマス、併シシナガラ私ハ新シイ立場トシテ考ヘラレルコトハ、ヤハリ勤勞ヲ通シタ教育ト云フモノガ青年學校ヲ卒業スレバ、其ノ上ニ又サウ云フ形ノ專門ノ學校教育ガアツテ宜イノデハナイカ、詰リ勤勞ヲ通シタル

教育ノ一ツノ組織體系ヲ國家自身ノ手ニ依ツテ作り上ゲルト云フ一ツノ考ヘ方ヲ持ツテ欲シ、ソレヲ實踐シテ欲シト思フノデアリマス、固ヨリ今日勤勞青年ノ向學心ニ應ヘル爲ニ、私立ノ各種ノ學校方何レモ各、相當ノ役割ヲ果シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シテナガラ私ハ今後勤勞ヲシテ青年ノ教育ヲスルト云フコトガ教育ノ面ニ進ンデ行ク、是デ行カナレバイカンゾト云フコトヲ國家ノ指導力ナリ意思ヲ通シテ青年ニ示スト云フ所ニ一ツノ大キナ使命ガアルノデアリマシテ、之ヲ單ニ民間ノ私立ノ人々ノ恣意的ナ考ヘノ儘ニ委セルコトハイケンナイノデアリマス、私共ハ此ノ意味合ニ於キマシテ、再度言フコトデアリマスガ、勤勞ヲ通シテ教育ノ成果ヲ獲得シヨウトスル者ニ對シテ、燃エルガ如キ希望ヲ與ヘテヤルト云フコトヲ國家ガ自ら指シ示スト云フコトヲ私ハシナケレバナラヌト思ヒマス、ト云フコトハ、今日ノ學制改革ガ他ノ面カラ見レバ、學年ノ短縮デアリマス、是ハ詰リ國家ガソレダケニ勞働力ヲ欲シイ、ソレカラ早ク業ニ就イテ貫ヒタイト云フヤウナ要請ガ現戰爭ノ段階ニ於テ強イカラ、サウ云フ教育以外ノ面カラ教育ト云フモノガ一ツノ壓縮ヲ受ケテ居ルコトハ事實デアリマス、ダカラ此ノ際ニ於テ私ハ業ニ身ヲ置ク者、勞働ヲ致ス者ノ尙ホ學問ヲスル、教育ニ精進スルト云フ氣持ヲ忘レナイヤウニスルコトニ依ツテ、私ハ初メテ教育ノ教育ト云フ方面ハ學年ヲ短縮サレテモ、ソコニ教育ノ一般のナ「レベル」ガ下ラナイヤウニナルノデハナイカ、斯ウ云フ氣持ヲ青少年ニ起サセナケレバ、私ハ學年ノ短縮ハ直チニ國家全體ノ文教ノ水準ヲ下ラシメルモノデ

ハナイカト思ヒマス、併シ少數者ノ大學院ノ設置ノミニ私ハ一國ノ文化ノ水準ノ低クナルコトヲ妨ゲル力ヲ期待スルコトハ無理デハナイカ、私ハ斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、向學心ニ燃エ、而モ働イテ居ル青少年ニ一ツノ燈火ヲ與ヘルト云フ役割ヲ國家自ラガヤツテ欲シ、ダカラ私ハ此ノ點ニ於テ青年學校教育ニ付テハモツト高次ナ青年學校教育ノ性格ヲ持ツタモノヲ作ツテ貫ヒタイ、「ドイト」「ロシア」等ニ於キマシテハ、既ニ幾多ノ事例ヲ吾々ハ持ツテ居リマス、我が國ニ於キマシテモ之ニ劣ラザル施設ヲシテ欲シト思ヒマス、愈、來年カラ心ヲ其ノ方面ニ致サントスル文相ニ對シマシテ、新ナル構想ノ下ニ此ノ體系ヲ考ヘテ欲シイト思フノデアリマス

ソレカラ只今ノ御話ノ前提ヲ、直チニ此ノ次ノ問題ノ理由ノ一ツニスルノデアリマスガ、今後私立ノ青年學校ト云フモノハ益々盛シニナツテ來ルモノダト考ヘマス、此ノ私立青年學校教育ノ成果ガドウデアアルカト云フコトハ、單ニ是ハ教養ノ面ニ於ケル成果ノ問題デハナクシテ、直チニソレハ一國ノ生産力ノ上ニ繋ガリヲ持ツモノデアリマス、斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ、私ハ私立青年學校ノ教育ト云フモノニヨリ以上ノ重點ヲ置イテ戴キタイ、此ノ點ニ付テ現狀ノ私立青年學校ノ姿ト云フモノハ、或ル點ニ於テハ非常ニ喜ブベキ姿デアリマスガ、或ル點ニ於テハ餘リ喜ブベキ姿ヲ呈シテ居リマセヌ、是ハ一面ニ於テハ其ノ私立青年學校ノ基礎ニナリマス所ノ、會社ヤ工場ノ經營ノ影響力ト云フモノガ強ク影響スルノデハナイカ、公益ハ私益ニ優先スルト云フヤウナ氣持ガマダ會社ナリ工場ナリノ經營

者ニ徹底シテ居ナイト云フコトガ、絶エズ此ノ教育ノ上ニ薄暗イ影ヲ投ゲテ居ルノデハナイカト思ツテ居リマス、ソコデ、私共ハドウシテモ此ノ私立青年學校ノ教育ノ主體性ヲ奪還シ、會社ヤ工場ノ利潤追求ノ觀念カラ明白ニ切離シテ、青年ノ教育ヲ護ツテ行クト云フコトヲシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、ソレニ付テハ斯ウ云フコトモ其ノ一ツノ方法デナイカト思ハレルコトガアリマス、ソレハ其ノ會社ヤ工場ノ私立青年學校ノ校長ニ、其ノ會社ヤ工場ノ重役ノ待遇ヲ與ヘ、サウシテ會社ヤ工場ニ於ケル勞務管理ト云フモノガ今日ノ段階ニ於テ非常ナル重要性ヲ持ツト同様ニ、教育管理ト申シマスガ、サウ云フ面ガ非常ニ戰時生産力ヲ増大スル上ニ於テ大キナ役割ヲ持ツモノデアルト云フコトヲ、會社、工場ノ經營、教育ノ面ニ強烈ニ滲透セシメテ行ク、斯ウ云フ方法ヲ何トカシテ執ル方法ハナイガラウカ、固ヨリ法律上ノ重役ト云フコトニナリマス、商法ノ關係ヤ其ノ他色々ト法律的關係ガアルカモ知レマセヌガ、此ノ點ニ付テ私極メテ知ル所ガ少イノデアリマスガ、兎ニ角目的ヲサウ云フ所ニ置イテ、今日以後ニ於ケル會社ヤ工場ノ生産力ヲ増強スル上ニ於ケル教育ノ偉大ナル効果ト云フモノヲ信ジテ、ソレヲ其ノ會社、工場ノ經營ノ中ニ何等カ織込ンデ行クヤウニシタイ、サウ云フ方面カラ今言ツタ勞務管理ト同様ナ重要サヲ以テ教育管理ト云フヤウナ役割ヲ果スベキ人ヲ其ノ方ニ置クヤウニシタラドウカ、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテ、文相ノ御考ヘヲ御聽キ致シタイトソレカラ私ハ翼政會ノ文部委員ノ青年學

校振興ノ小委員ノ一人トシテ地方ニ調査ニ參ツタコトガアルノデアリマスガ、其ノ時青少年ノ鍊成ニ付テ、其ノ鍊成ノ第一線ニ立ツテ居ル學校ノ先生方カラ斯ウ云フ惱ミナリ歎キナリヲ聞イタノデアリマス、ソレハ今日ノ青少年ノ鍊成ノ方法、鍊成ノ形ガ非常ニ多様デアアル、非常ニ多過ギル、青少年鍊成ヲ目指ス各種ノ團體ナリ會ナリガ各、自分ノ方ノ青少年鍊成ノやり方ガ最上ノモノナリト信ジテ、色々青少年ニ呼び掛ケラヌル、非常ニ是ハ困ルト云フコトデアツタノデアリマス、私共ハソレヲ聞キマシテ、實ハソレマデ氣ガ付カナカツタノデアリマスガ、若シモサウ云フノガ青少年鍊成ノ現實デアルト致シマスナラバ、速カニ私ハ之ヲ國家ノ手ニ依リマシテ一元化スルノ必要ガアラウト思フノデアリマス、青少年ノ年齢ヲ超エタ人々デアリマスナラバ、色々特殊ナル鍊成ノ形デ其ノ各ノ趣味ニ依ツテヤツテ行クト云フコトモ私共ハ決シテマヅイコトデハナイト考ヘマス、併シテナガラ青少年ナドノ如キ、若イ、鍊成ノ「ベスト・シーズン」ニ於キマシテハ、私ハ此ノ形式ノ紛淆複雑化ト云フモノハ、決シテ青少年ニ純一ナル氣持ヲ與ヘルモノデアリ、ダカラ私ハ速カニ此ノ青少年ノ鍊成ノ方法ナリ形式ヲ強力ニ一元化シテ欲シイ、サウデナケレバ、色々團體カラ青少年、青年學校ナリ國民學校ノ生徒ガ色々ニ變ツタモノヲ教ヘラレテ非常ニ困ツテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、又學校ノ先生達モ色々名前前デ催サレル鍊成ノ講習會ニ行クト、大分違ツタモノガアリ、非常ニ困ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、ドウゾ一ツサウ云フ紛淆ノナイヤウニ是正シテ欲

シイト思フノデアリマス

ツレカラ青年學校ノ教育、特ニ私ガココ
デ言フノハ、地方ノ町村ノ青年學校ニ付テ
デアリマスガ、結論ヲ申上ゲルト、青年學
校ハ現在ノ凡ユル教育ノ上ニ於テ最モ郷土
的ナ色彩ノ強イ學校デアリマス、所ガ私ハ、
青年學校ノ運営ニ當ツテ居ル校長ナリ先生
ナリガ決シテ思ヒヲ郷土ノ振興ニ致サナイ
ト云フノデアリマス、又郷土ノ色々
ナ産業ト連絡ヲ持ツテ居ナイト申スノデア
ナイノデアリマスガ、モツト其ノ町ナリ村
ナリノ産業ト聯繫ヲ緊密ニスル必要ガアル
ノデアリマス、申スコトハ、私ハ今日ノ教
育ノ面ニ於ケル一ツノ行ナリ練成ナリト云
フモノハ、固ヨリ行ナリ練成ナリ、ソレ自
身モ心身ノ訓練ノ上ニ於テ一ツノ大キナ意
義ヲ持ツコトヲ決シテ否定スルモノデア
リマセヌ、併シナガラ現在ノ激シイ戦争ノ
段階ニ於テ、凡ユル部面カラ戰時生産力ノ
増強ト云フコトヲ叫バレテ居ル時ニ當ツテ
ハ、凡ユル行ナリ練成ナリハ、絶エズ出來
ルダケ一國ノ生産性ヲ高メルト云フ點ニ繫
ガリヲ持ツコトニ心ヲ配ル必要ガアルノデ
ハナイカ、一國ノ生産性ニ何等ノ關聯モナ
イヤウナ、單純ナ行、單純ナ練成ト云フモ
ノハ一應現段階ニ於テハ後退シテ宜イノデ
ハナイカ、斯ウ云フヤウナ意味カラ考ヘマ
シテ、町村ノ青年學校ノ農業ナリ商業ナリ
ノ指導實踐ト云フ方面ニ於テ、其ノ町ナリ
村ナリニハヨク其ノ町村ノ更生計畫ト云フ
モノガアリマス、ツレカラ現在ニ於テハ國
策ニ順應スル爲ニ、其ノ村ナリ町ナリノ一
箇年ノ生産計畫ト云フモノガ立テラレテ居
リマス、私ハ青年學校ノ生徒モ、其ノ一村一
町ノ一箇年ノ生産計畫ノ、小ナリト雖モ一

部分ヲ擔當セシメルト云フ所マデ、郷土ノ
産業トノ關聯ヲ強メテ欲シイト思フノデア
リマス、固ヨリ教育ノ面カラ携ハル所ノ生
産面デアリマスカラ、必ズシモ生産ニ専心
シテ居ル人ノ如ク效果ヲ擧ゲ得ナイト致シ
マシテモ、私ハソレヲ單ニ學校ノ中デノ、
學園ノ中デノモノノミニ止メズ、是ハヤハ
リドウシテモ一國ノ生産性其ノモノニ影響
ヲ持ツヤウナモノヲ持タセルコトニ依ツテ、
青少年生徒ニ現實ノ國家ノ要請ニ對スル責
任ヲ持タセルト云フヤウナ觀念カラモ、是
非必要デアナイカト考ヘルノデアリマス、
斯ウ云フヤウナ私ノ立場カラ見マスト、今
日ノ青年學校ノ授業ノヤリ方ハ必ズシモ滿
足シ得ナイノデアリマス、實ハモツト其ノ
村ナリ町ナリノ農會ナリ、産業組合ナリ、
商業報國青年隊ナリ、サウシタモノトノ關
聯ヲ十分密ニ致シマシテ、青少年ノ勞働ガ
直チニ其ノ村ヤ町ノ一箇年ノ生産性ニ強イ
影響力ヲ持チ、延イテハ國ノ生産力増強ノ
上ニモ影響ヲ持ツト云フ所ニマデ高メテ行
キタイト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付
テノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

ナスモノダト考ヘル、併シナガラソレノミ
ニ追求シテ行キマスト、兎モスレバ是ガ階
級の世界觀ノ上ニ立ツタ「マルキシスト」ノ利
用スル所ニナル處ガ十分ニアルノデアリマ
ス、此ノ生活派綴方ガ全盛ヲ極メテ居ツタ時
ニ、私ノ郷里デ綴方ノ講習會ガ行ハレタ際
ニ、私ハ此ノ點ニ付テ注意ヲ促シタコトガ
アルノデアリマス、今カラ七、八年前デア
リマス、其ノ時ニハマダサウ云フ私ノ注意
ニ對シテ餘リ關心ヲ持ツテ居ナカッタノデ
アリマス、所ガ其ノ後ニ於テ私ノ心配ガ現
實ニ現ハレマシテ、各種ノ綴方教育ヲ通シ
テ「マルキシズム」ノ宣傳ト云フモノガ相當
出テ參ツタヤウデアリマス、所ガ最近ニナ
リマシテ是ガ——實ニ明ケテ昨年ニナリマ
スガ、又此ノ問題ガ擡頭致シテ來タノデア
リマス、私甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス、文
部省ニ於キマシテハ、此ノ問題ニ關シマシ
テ、サウシタ先生ヲ出シタ不幸ナル學校ノ
校長先生サン方ヲ集メマシテ、特殊ナ講習
會ヲ御開キニナツタヤウニ聞イテ居リマス、
遲滞ナガラ大變良イコトデアツタト思ツテ
居リマス、普通ノ校長先生ナンカハ、何等
此ノ綴方教育ニ於ケル生活派の人物ノ觀方
ニ對シテハ教養ガナカツタノデアリマスガ、
一ツノ教養ヲ與ヘマシテ大變宜イト思ヒマ
ス、併シナガラ之ニ依ツテ私ガ憂フルノハ、
更ニ又餘リニサウ云フ方面ヲ恐レ戦イテシ
マツテ、科學的ナ物ノ觀方ニ對シテサヘ面
ヲ背ケルト云フヤウナコトガ綴方指導ノ上
ニ現ハレヤシナイカト云フコトナノデアリ
マス、兎ニ角ニモ生活ト云フモノヲ見詰メ
タリ、自分ノ境遇ナリ或ハ社會ニ於ケル立場
ナリト云フモノニ付テ餘リ考ヘヲサセナイ
方ガ宜イ、危イモノニハ近寄ラナイ方ガ宜イ

ト云フ贈ヲ吹クヤウナ氣持デ、此ノ綴方ノ
教育ニ從ヒマスナラバ、私ハ茲ニ一ツノ誤リガ
生ズルノデアリマス、私ハ茲ニ一ツノ誤リガ
問題ハ純粹ナ意味ニ於ケル生活派の人物ノ
觀方、物ヲ調ベテ行クト云フコトハ、低學
年ノ生徒ハ是ハ天性「ロマンチズム」ノ世
界ニ住ンデ居ルノデアリマスカラシテ、之
ヲ強ヒテ歪メテ、「リアリズム」ノ世界ニ持
ツテ行クト云フコトハ、私ハ餘リ贊成致シ
マセヌガ、相當ノ高學年ノ國民學校ノ生徒
ニ對シマシテハ、「リアリズム」ノ眼ヲ覺マ
サセル、十分ニ現實ノ生活ヲ觀ル眼ヲ向ケ
ルト云フコトハ、私ハ國民トシテ一ツノ啓
蒙ニナルモノダト思フ、斯ウ云フ所カラ科
學的ナ物ノ觀方モ發生スルノデアリマス、
又物ノ觀方バカリデアナイ、觀方ヲ表現スル
コトモソコカラ分ルノデアリマスカラシテ、
私ハ十分此ノ點ハ嘯ミ育テ行ク必要ガア
ルノダト思ツテ居リマス、問題ハソレヲ「マ
ルキシスト」ガ階級の世界觀ノ上ニ立ツテ之
ヲ見タト云フコトガ誤リナノデアリマス、
若シモ其ノ上ニ立ツテ皇國日本ノ世界觀ヲ
以テ、皇國日本ノ「イデオロギー」ヲ以テ進
デ行クナラバ、何等ソコニ弊害ガ生ズルモノ
デアナイ、必ズヤ國民の目覺メノ上ニ十
分ナル役割ヲ果シ得ルモノデアアル、實證的
ナ、科學的ナ、經濟的ナ、現實的ナ分析ノ綜
合ノ力ヲ養フト云フコトガ私ハソコニ庶幾
セラレルモノダト思フノデアリマス、所ガ
今言ツタヤウニ美ニ懲リテ贈ヲ吹クト云フ
ヤウナ態度ニナツテ居ルト云フコトハ甚ダ
遺憾デアリマシテ、私ハ是ハ延イテハ物ノ
觀察ノ仕方ト云フヤウナモノガ非常ニ非科
學的ニナリ易イ點ガアルノデアリマス、思
ヒテ科學ノ振興ニ特ニ

致サレテ居ル一個ノ科學者デアル——文部大臣
トシテヨリ一個ノ科學者トシテ私共ノ尊敬
致シテ居リマス橋田文相ガ斯ウ云フヤウナ
點ニ付テモ決シテ俗事ニ煩ハサレル所ナク、
良イ所ハ採リ惡イ所ハ棄テテ進ンデ行ク
ト云フ氣持ニ出ラレンコトヲ私共ハ期待致
スノデアリマス、此ノ點ニ對スル御所見ヲ
伺ヒタイノデアリマス

最後ニ女子青年學校ノ問題デアリマスガ、
女子青年學校ノ就學ノ義務制ガ今日行ハ
レテ居ナイノデアリマスガ、ナゼ今日行ハ
レテ居ナイノデアアルカ、私共ハ女子青年
學校ノ義務制ヲ速カニ斷行スベキ必要アリ
ト考ヘテ居リマスルガ、之ニ對スル文部當局
ノ將來ノ見透シヲ御伺ヒシタイト思ヒマス
○橋田國務大臣 只今ノ御質問ノ中第一ノ
點、青年學校教育又勤勞ニ即シタ實務ト相
共ニ行フベキ教育ト云フモノノ少シ高級
ナ組織ヲ考ヘタラドウカト云フ御話デゴザ
イマスガ、只今デモ青年學校ハ御承知ノ通
リ研究科專修科ト云フヤウナモノガゴザイ
マシテ、ソレニ依ツテ一應ノ目的ハ果シテ
居ルノデアリマス、併シナガラ從來教育ト
云フ抽象サレタ純粹のナ物ノ觀方ダケカラ
教育ト云フモノノ制度ヲ考ヘテ見マシタ事
柄ハ、單ニ時代ノ動キノミナラズ、現實ノ
問題ト致シマシテハ餘リニ懸ケ離レルコト
ニナルノデアリマシテ、ヤハリ純粹教育カ
ラハ實質のト見ラレルガ、併シ實際ノ教育
ニ於テハ必要ナモノデアルト云フコトハ御
説ノ通りト考ヘルノデアリマス、殊ニ勤勞
ニ即シテ教育スルト云フ事柄ハ、實ニ教育
トシテ最重要視スベキ所デアアルノデゴザ
イマスノデ、所謂勤勞ノミナラズ廣ク實務
ニ從事スル者ガ絶エズ教育ヲ他カラ受ケル

コトモアリ、又自ラガ自ラヲ教育スルト云
フヤウナコトコソガ眞ノ教育デアラウト考
ヘテ居リマスノデ、青年學校教育ノ問題ヲ
考ヘマス場合ニハ、其ノ點等十分ニ考慮致
シタイト存ジテ居リマス
又私立ノ青年學校ニ於キマシテドウモ學
校長ト云フモノノ力ガ實ハ設立者ノ立場ト
非常ニ懸隔ガアリ過ギテ、教育ノ方針ト云
フモノガ會社經營ノ方針ト全ク懸ケ離レル
ト云フヤウナ事柄モ從來事例ニ乏シクナイ
ノデゴザイマス、併シナガラ近來其ノ點ハ
稍、設立者等モ自覺メテ、設立者自ラガ校長
ニナツテ、學校ノ經營ト云フコトト、又其
ノ會社或ハ事業ノ經營ト云フコトト一體ト
シヨウト云フ傾向モ餘程出テ參ツタト存ジ
マスガ、兎ニ角校長ト云フモノノ地位ガ唯
會社カラ離レタ、或ハ會社ニクツ付イテ居
リマシテモ、唯會社ノ雇傭人デアルト云フ
ガ如キ關係ニナイヤウニ、學校ノ組織ヲ持
チ來サナケレバナラヌト云フコトニ付テハ
全ク御同感デゴザイマシテ、何カ適當ナ方
策ヲ考ヘタイト思ツテ居リマス
又青少年鍊成ノ指導面ガ餘リニ多岐ニ互
ツテ居ルト云フ弊害ガアルコトモ、各種ノ
方面カラノ話ヲ承ツテ居リマス、青少年、
殊ニ少年ノ如キ者ヲ指導致シマス場合ニ、
複雑多岐ニ互ルコトハ最モ禁ズベキ事柄デ
アルコトハ御意見ノ通りデアリマス、適當
ニ其ノ方法ト形式トヲ定メルコトニ向ツテ
努力致シタイト存ジマス

又町村ノ青年學校教育ガ、郷土トノ聯關
ニ於テナサルベキデアルト云フ事柄ハ、當
然ノ事柄デアルト思フノデアリマス、又其
ノ教育自體ガ、先程申シマシタヤウナ意味
カラ、教育ノ理想、又教育ノ目的ト云フモノ

ハ飽クマデ保持シナガラ、併シナガラ現實
トノ聯關ニ於テ其ノ實ヲ全クスルモノデア
ルト云フ點カラ考ヘマシテ、町村ニ於ケル
青年學校教育ガ殊ニ勤勞ヲ通ジテノ教育デ
アルノ故ヲ以テ、郷土ノ生産計畫ノ一部分
ヲ負擔スルト云フコトニナルコトハ、洵ニ
結構ナコトデアルト思フノデアリマス、唯
其ノ際ニ於キマシテモ、御説ノ通り、勤勞
奉仕ト云フヤウナ形ヲ取ル場合モアリマセ
ウシ、又實際學校ノ教育計畫ノ中ノ一ツト
シテ生産計畫ト云フモノノ中ニ關與スルト
云フコトモアラウシ、色々アリマセウガ、
郷土のナモノノ現實ニ即シテノ教育ヲ行ハ
セルヤウニスベキコトハ、殊ニ職場、或ハ職
場以外ノ實務ト云フモノヲ通ジテ、青年ヲ
教育スル上ニ於テ重大ナコトト考ヘルノデ
ゴザイマシテ、是亦青年學校ノ問題ヲ考慮
致シマス時ニハ、十分ニ參酌致シタイト思
ヒマス

又國民學校ノ綴方指導、所謂生活綴方教
育ト云フモノガ色々ノ弊害ヲ起シタ事柄ハ
御承知ノ通りデアリマス、併シ最近ズツト
以前カラノモノノ残りダラウト思ハレマス
モノガ取上ダラレテ問題ニナツテ來テ居リ
マスノニ付テ、又御話ノ通り、餘リ反動
的ニ其ノヤウナ面ヲ十分利用スベキモノデ
アルニモ拘ラズ、全然利用シナイデ終ルト
云フコトノアルヤウナ事柄ハ、是亦遺憾ナ
コトデアルト存ズルノデアリマス、殊ニ自
己ノ生活自體ヲ學術的ニ、又科學的ニ取扱
ヒナガラ、科學ト云フモノノ眞諦ニ觸レル
ト云フ事柄ハ最モ重要ナコトデアアルノデア
リマシテ、其ノ邊ノコトハ十分利用シテ行
カナケレバナラナイノデゴザイマス、唯併
シナガラ從來動モスレバ科學ト云フモノガ、

我が國民性ヲ離レタモノデアルト云フヤウ
ナ考ヘノ下カラ、科學的ニ物ヲ見ルト云フ
時ニハ、現實ニ現ハレテ居ル事象ノ底ヲ流
レテ居ル最モ根源のナモノニ觸レルコトヲ
忘レテ居ツタノデアリマス、ソレガ故ニ動
モスレバ科學的ニ研究スルト云フ事柄ガ、
唯物論者ノ利用スル所ト相成ル弊害ヲ醸シ
テ居ツタノデアリマスカラ、無論是等ノモ
ノヲ十分利用致シマシテ、生活ニ即シテ事
物ヲ科學的ニ取扱フト云フ場合ニ、科學的
ナルモノヲ運轉サシテ居ル日本人トシテノ
立場ト云フモノハ、何處ニアルカト云フ事柄
ハ常ニ忘レナイヤウニサセル方針ヲ指導シ
テ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス
又女子ノ青年學校ノ義務制ハ、是非トモ
或ル機會ニ實行シナケレバナラナイ問題デ
ゴザイマスガ、女子ノ勞働問題、勤勞問題
ハ、男子青年ノ勤勞トハ稍、複雑ナ點ガゴザ
イマスノデ、マダ即時義務制ノ實施ト云フ
段取マデニハ至ツテ居リマセヌケレドモ、
十分ニ此ノ勤勞女子青年ト云フ者ノ特殊ナ
性格ヲ考慮致シマシテ、出來ルダケ早イ時期
ニ於キマシテ、女子ノ青年學校ヲモ義務制
ト致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松岡委員長 委員長トシテ或ハ私ノ聽キ
間違ヒカモ知レマセヌガ、サツキ加藤弘造
君ノ御質問ニ對シテ、文部大臣ハ明年ヲ待
タズトモナシ得ルモノガアルカノヤウナ一
寸御答辯ガアツタヤウニ私聽カレタノデス
ガ、此ノ點速記ヲ見ナケレバ分リマセヌガ、
ドウ云フ御氣持ダカ御伺ヒ致シタイト思ヒ
マス

○橋田國務大臣 私ガ申上ダマシタノハ、
青年學校問題ニ付テハ明年度ニ於テ十分ニ
考究シテ、少クトモ改善ト云フ事柄ヲ、十

九年度カラハ實施致シタイ、切ニ其ノ方ニ
向ツテ努力スルト申上ゲタノデアリマス、
其ノ際ニ、研究中ニ、場合ニ依レバ十九年
度ヲ待タズトモ出來ルモノガアルカモ知レ
マセヌ、サウ云フモノハ速カニ實行シタイ
ト思ヒマス、斯ウ云フ話ヲ申上ゲタノデ、
現ニ十八年度中ニ何カ實行出來ルカト云フ
コトヲ具體的ニ擱ンデ居ル譯デハアリマセ
ヌ

○松岡委員長 分リマシタ、本日ハ此ノ程
度ニ質問ヲ打切リマシテ、明日午前十時ヨ
リ開會シテ質問ヲ續行シタイト思ヒマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時十六分散會

昭和十八年二月四日印刷

昭和十八年二月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局